

平成9年度

学生便覧 神田外語大学

平成6年度以前入学者用

平成 9 年度開講科目概要説明（講義概要）

1. 一般教育科目等

1) 人 文

歴 史	A	はり 針	がや 谷	ひろし 寛	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、ヨーロッパ近代社会とその思想の諸問題を検討する。
 前提としてボリス市民社会像、中世都市市民社会像を見た後、近代的国家形成の問題からカントの社会理論までを扱う予定。

<後期>

前期で扱った内容をふまえながら、カントからヘーゲルへの社会理論の変化をとおして、フランス革命、産業革命期以後の社会の問題を検討する。

評 価 方 法：定期試験もしくはレポートによって成績を評価する。

歴 史	B	かつら 桂	よし 芳	き 樹	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

ローマの歴史と文化

カピトリウム、フォルム・ロマーヌム、パラティヌムなどの古代都市、中世の教会や巡礼路、ルネサンスからバロック、ロココに至る宮殿、離宮、別荘、庭園などの建築群、18・19世紀の交・新古典主義時代に永遠の都を訪れた知的旅行者のメッカ・スペイン広場、映画「甘い生活」に見られる現代風俗の最先端ヴィア・ヴェネトなど、ローマは古くて新しく、その奥深さは測り知れない。地域順に話を進める。

評 価 方 法：試験は各学期末に行う。ルネサンス史に関して各自関心の深いテーマを選び自分の言葉で記述する。テキスト持ち込み可。

テキスト名：『地球・街角ガイド④ローマ』同朋会出版

歴	史	C	かつら 桂	よし 芳	き 樹	4 単 位
						1 ～ 4 年
						通 年

ルネサンス史

15、16世紀にわたるイタリア・ルネサンス文化の発展を政治、経済、芸術、思想、風俗、各分野の有機的ななかわりにおいて考える。パライオロゴス・ルネサンス、初期人文主義、ルネサンス都市の発展、メディチ家三代の文化、フィレンツェ・プラトン主義の制覇、フィレンツェ芸術の発展、16世紀ルネサンスの中心としての教皇庁とローマ、フランス・ルネサンスなど。テキストは『ルネサンス史年表』。スライドその他も使用。

評 価 方 法：試験は各学期末に行う。ルネサンス史に関して各自関心の深いテーマを選び自分の言葉で記述する。テキスト持ち込み可。

テキスト名：『ルネサンス史年表』桂 芳樹，朝日出版社

歴	史	D	やま 山	りょう 領	けん 健	じ 二	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

近代日本史概説Ⅰ

19世紀後半の世界における近代国家の形成を主題として日本の歴史を学ぶ。概説ではあるが、政治過程の細部にも立ち入り、過去の史料にも接する機会の多い講義を目指したい。指定したテキストを受講者が自力で読みこなせるようになることを期待する。

<後期>

近代日本史概説Ⅱ

今日の諸問題の起点である20世紀初頭以降の日本の歴史を学ぶ。政治、社会、経済、文化など、さまざまな角度から問題に接近するとともに、その時代を生きた人々の思想や行動の軌跡を今日に伝える諸資料に接する機会を作りたい。

評 価 方 法：レポートと定期試験とで評価する。レポート・定期試験ともに必ず提出・受験することを求める。

歴	史	E	さい 齋	とう 藤	とおる 融	4 単 位
						1 ～ 4 年
						通 年

<前期>

日本の前近代、特に中世から近世にかけての歴史を概観し、日本史に対する理解を深めることを目的とする。
武士の発生から武家政権の成立と展開という観点から主として鎌倉・南北朝時代を扱う。

<後期>

前期に継続し、室町時代以降を扱う。

評 価 方 法：論述試験によって評価する。出席の悪い場合は厳しい評価もある。

テキスト名：『教養の日本史』竹内 誠ほか編，東京大学出版会

歴	史	F	さい 齋	とう 藤	とおる 融	4 単 位
						1 ～ 4 年
						通 年

<前期>

古代日本における国家の形成は、古代中国において発達した律令法典を体系的に受容し、独自の律令を制定することによって行われた。その様相を東アジア世界の中に位置付けて概観してみたい。時期は7世紀半ば～8世紀を扱う。

<後期>

前期に継続して、9世紀以降の時期を扱う。

評 価 方 法：定期試験。平常点もある程度考慮する。

テキスト名：『日本古代史講義』笹山 晴生，東京大学出版会

哲	学	A	ひ 樋	かさ 笠	かつ 勝	し 士	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

《人間と感情Ⅰ》

喜怒哀楽といった「感情」は我々の日常にあふれている。これに対する処方箋的反省も時には求められるであろう。しかし、哲学史を繙くと、感情は常に人間精神の探究の中で重要な位置を占めて來たし、実際様々の思想におけるその探究は切迫した必要性を帯びていたのである。

本講義においては、人間の精神における感情の位置づけをテーマに前期は伝統的な考え方を史的概説的に講義する予定である。

<後期>

《人間と感情Ⅱ》

前期の概論をもとにして、後期は各論として「笑い」について考えたい。何故我々は笑うのだろうか。何の意味があるのだろうか。笑うときの気分（感情）とは如何なるものであろうか。

このような問題意識のもとに、先ず従来の「笑い」の捉え方を通覧し、次に特論としてベルクソンの『笑い』をめぐって考えたいと思う。

テキスト名：『笑い』ベルクソン、岩波文庫

哲	学	B	ひ 樋	かさ 笠	かつ 勝	し 士	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

《哲学とは何かⅠ》

「知恵への愛求(philosophia)」としての哲学は常に人間の活動を中心に反省してきた。つきつめれば、それは「知の吟味」である。既にあると思われているところの「知識」を再検討する時、その知識の拠り所となる「前提」が明らかになる。この時の驚きが、日常における驚きと違って我々の意識を変革するのである。このような意識変革について考えてみたい。

<後期>

《哲学とは何かⅡ》

「知の吟味」は「知に至る過程の吟味」でもある。この過程は「論理学」という、理性・言葉の筋道の形式として、常に哲学と共にあった。後期は哲学と論理学との関わりについて考えてみたい。

「学食はおいしい」と「学食はマズイ」は両立するのか、「神田外大に入れば語学が堪能になる」の成立根拠は何か、事例には事欠かない。

倫 理 学 A ・ B	み 三 やけ 宅 まさ 正 ずみ 純	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

講義では、種々のテーマを手がかりとして、我々の現実のなかで暗黙裡に働いている方向づけ＝倫理について考察する。取り上げられるテーマは、「自然と神」「身内と他人」「アイデンティティ」「競争」などである。

<後期>

前期と同様の考察を、「恩」「時間と自由」などをテーマとして取り上げながら、行なう。尚、前期よりもテキストを参照する機会が増すものと思われる。

評 価 方 法：前、後期それぞれの終了時に、試験を行なう。

テキスト名：『富嶽百景・走れメロス』太宰 治，岩波文庫

倫 理 学 C	くぼ 窪 た 田 こう 高 めい 明	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現代の倫理思想の観点から、近現代社会における倫理学の位置、課題などを中心においた内容とする。古典的な倫理学説史ではない。

まず、はじめに倫理的な知の特質を考える。人間の生き方を考えるという行為が、どのような知の形を取り得るのかを考える（ソクラテス）。

ついで、近代社会を経済的な価値の支配する社会と捉え、その倫理的問題を考える（ヘーゲル・マルクス）。

<後期>

近代における家族と性の問題を考える。なぜ、近代になると性という主題が倫理にとって重要な問題となったかを考える（フロイト）。ついで、道徳観念、倫理思想がいかに形成されるかという問題を取り上げる（ニーチェ）。そして、このような問題が結び付いて存在する現代社会における倫理の可能性について考える（フーコー）。

評 価 方 法：前後期の学期末に試験を行なう。形式は記述式。

テキスト名：未定

文 学 A ・ B	いけ だ こう いち 池 田 弘 一	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

同一の素材を扱った古典と現代作品とを比較しつつ読み味わい、日本文学の特徴を考えることを目的とし、「古事記」の神話群から“須佐能男命・須世理毘売・大国主神”のくだりを取りあげて、芥川龍之介の「素戔鳴尊」と読みくらべる。作品の朗読、説明、意見を求める。また、出欠席・遅刻など受講姿勢について厳しく対処し、欠席5回を数えた者には単位を認めない。

<後期>

“俊寛”をテーマとして古典と現代作品を読みくらべて日本文学の特徴を考える。すなわち、「平家物語」に語られる“俊寛”から始めて、謡曲の“俊寛”、浄瑠璃「平家女護島」の“俊寛”を読み、続いて、倉田百三・菊池寛・芥川龍之介・吉川英治など近代作家の“俊寛”と比較研究する。前期同様に朗読・説明・意見の発表を求め、出欠席・遅刻を厳しく見、5回の欠席を重ねた者には単位を認めない。

評 価 方 法：前後期それぞれの期末に提出の作品の評価に、出席点・平常の学習点を加味して総合評価する。

テキスト名：『日本文学 古典と近代』青木 賢豪他，おうふう

文 学 C ・ D	や しろ かず お 矢 代 和 夫	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

『徒然草』に、信濃の前司行長が平家の物語を作り東国に通じた生仏という者に語らせたが、今の琵琶法師はそれを学んだのだという伝えがみえる。つまり平家の物語といういくさ物語は、琵琶楽器を弾きながら琵琶法師の語りひろめた芸能であったということだ。前期は、導入部に琵琶法師に触れて「蟬丸」伝説をも紹介したい。有名な「祇園精舎の鐘の声」に始まる『平家物語』本文は、平家一門の頂点に立つ清盛の死までを範囲とする。

<後期>

後期は、栄華を誇った平家の滅びの文学を“合戦記”を中心に編集して講義する。和歌と武士（平忠盛と忠度の母：忠度と歌人藤原俊成等）・合戦装束の美的表現（「橋合戦」「実盛最期」等）・その他、老武者と発心、禁じられた愛、怨霊、弓と扇、海底の宮と安德天皇、大原の寂光院（清盛の娘の往生）など、一つ一つの物語に籠められた意味を解説して読んでみたい。そして、必要に応じ前期の範囲にもフィールドバックして論じてゆく。

評 価 方 法：期末ごとに、講義中の重要な問題の理解度を教場リポートの形で提出してもらい、評価する。

テキスト名：『平家物語新抄』今成 元昭他，双文社出版

文 学 E	うち だ しゅん いち 内 田 俊 一	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

ドイツ文化へのユダヤ系知識人の関わりをテーマとして講義する。ナチスによるホロコースト（ユダヤ人皆殺し）の惨劇を経た現代から振り返ると、奇異に聞こえるかもしれないが、ドイツほどユダヤ系知識人が活躍した国は他になかった。むしろドイツの近代文化そのものが、当初からユダヤ的知性との関わりの中で形作られていったという一面を持っている。前期はドイツ精神史へのユダヤ系知識人の登場から、詩人ハインリヒ・ハイネまでを扱う。

<後期>

ドイツ文化に占めるユダヤ系知識人の比重がいかに大きかったかは、マルクス、フロイト、アインシュタインという3つの名前を挙げるだけでも知れよう。後期はカール・マルクスから、ユダヤ的知性のドイツ文化への寄与が頂点に達したとも言える世紀転換期のウィーン、ワイマール時代のドイツを経て、ルーマニアに生まれ、親兄弟を殺した敵の言語であるはずのドイツ語で詩を書き続け、パリで自殺したパウル・ツェランまでを扱う。

評 価 方 法：前期は試験、後期はレポートに、それぞれ出席状況を加味して評価する。

テキスト名：なし。参考文献については随時指示するが、さしあたり次のものを挙げておく。

『ドイツ・ユダヤ精神史』山下 肇，講談社学術文庫

文 学 F ・ G	いの うえ まさ あつ 井 上 正 篤	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

「愛」、「死」、「実存」をキーワードに、内外の小説の名作を鑑賞する。小説の細やかな読み込みと、人生を文学的・哲学的に深く考察することを体得されたい。

評 価 方 法：レポートを課す。詳細は掲示する。

テキスト名：『変身』カフカ，岩波文庫

『ころ』夏目 漱石，岩波文庫

<後期>

前期と同じ主旨にのっとって、別の小説を扱っていく。

評 価 方 法：レポートを課す。詳細は掲示する。

テキスト名：『異邦人』カミュ，新潮文庫

『それから』夏目 漱石，岩波文庫

美術 A ・ B ・ C	よしむらとしこ 吉村稔子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

日本彫刻史〈上〉
飛鳥、奈良時代の仏像彫刻の代表的作品をとりあげ、関連する諸問題について講義する。スライド等使用。
作品例：法隆寺金堂釈迦三尊像／法隆寺救世観音像・百済観音像／中宮寺半跏思惟像／興福寺仏頭／薬師寺金堂薬師三尊像／法隆寺五重塔塑像群／興福寺十大弟子・八部衆像／東大寺法華堂諸像／唐招提寺諸像

<後期>

日本彫刻史〈下〉
平安、鎌倉時代の仏像彫刻の代表的作品をとりあげ、関連する諸問題について講義する。スライド等使用。
作品例：神護寺薬師如来像・新薬師寺薬師如来像／東寺講堂諸像／神護寺五大虚空蔵菩薩像・広隆寺講堂阿弥陀如来像／室生寺金堂本尊像／平等院鳳凰堂阿弥陀如来像／東大寺南大門金剛力士像／興福寺北円堂諸像

評 価 方 法：定期試験。

テキスト名：『岩波ジュニア新書89 奈良・京都の古寺めぐりー仏像の見かたー』水野 敬三郎，岩波書店

言語学入門 A ・ B	かなおかひでろう 金岡秀郎	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

本講は、記号の体系である言語の基本的な特色を解説することを目的とする。言語学の術語の理解を容易にするため、身近な実例を挙げて受講者の関心を喚起したい。誰もが知っているであろう日本語や英語のほか、異文化の言語としてモンゴル語や北アジア文化を考察しつつ講義をすすめていく。

<後期>

前期授業を踏まえ、比較言語学の基礎を講義する。言語学における比較は、比較宗教学や比較神話学にも取り入れられ、19世紀以降の人文科学に多大の影響をもたらした。外国語研究者は同時に異文化研究者でなければならない、そのための意識と技術をも言語学から学んでいきたい。

評 価 方 法：最終日に試験を行なう。出席も勘案する。

テキスト名：『言語学のすすめ』田中 春秀他，大修館書店
『モンゴルは面白い』金岡 秀郎，トラベルジャーナル

言語学入門 C	いづみ 泉	くに 邦	ひさ 寿	4 単 位
				1 ～ 4 年
				通 年

＜前期＞

人間の認知、コミュニケーション活動の重要な能力としての言語をどのようにとらえていくかを考え、その理解の方法としての言語学を、身近な言語現象を取り上げながら説明する。自ら問題を発見し、データをもとにして説明して行く（理論を考えていく）態度を身につけてもらいたい。参考文献は適宜指示していく。

言語とは何か、言語のバラエティー、言語学の考え方、音韻、形態、統語が中心となろう。

＜後期＞

意味、語用を中心とし、隣接領域を含めて認知、文化、社会との関わりをも考えることにしたい。

評 価 方 法：試験。時により提出物あり。

言語学入門 D・E	さかい 堺	かず 和	お 男	4 単 位
				1 ～ 4 年
				通 年

＜前期＞

言語学の成立と発展

現代言語学は19世紀に成立した印欧語比較文法から出発した。本講では印欧諸語の史的発展をたどることを目的とする印欧語比較文法の成立と発展の歴史をふりかえり、さらにそれが現代言語学の諸問題にどのようなつながっていくかを展望する。

目次：19世紀以前の言語研究、19世紀の言語学、20世紀の言語学

＜後期＞

言語・歴史・文化

現代言語学の中心課題のいくつかについて、文化の1形態としての言語を特に史的变化という動的な側面からとらえることによって論じてみる。

目次：文字論・文字学、史的言語学、印欧語比較文法、言語類型論、言語と文化

評 価 方 法：学期末に行なう筆記試験による。

テキスト名：授業中に指示する。

言語学入門 F	ふじ 藤 田 知 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

外国語を学ぶ私たちは絶えず新しい知識の吸収と実践を行っています。それと平行して、言語はどんな仕組みをもち、どう機能しているのか考えてみることも大切です。外国語を学び自らのものにしようとしている私たちにとって、それは言語についての新しい視点を与えてくれるかもしれません。扱う主な項目は次の通りです。

1) 世界の言語 2) 言語の分類 3) 歴史・比較言語学 4) 動物のコミュニケーション 5) 言語の機能 6) 記号としての言語 7) 言語の音声、音声学と音韻論

「入門」なので1－2年次での履修をお勧めします。

<後期>

前期の方針を継続して授業を行います。言語学の分野である形態論、統辞論、意味論、語用論における基本的な問題の組み立て方と観察の仕方を、具体的な言語事実の分析を通して学びます。その問題が自分が知っている言語ではどうなっているのか常に考えていただきたいと思います。授業は講義形式になりますが、学生の方々の参加を期待します。

評価方法：学期末に行なう筆記試験による。

テキスト名：授業中に指示する。

身体運動文化論 A・B	とみ まつ きょう いち 富 裕 京 一	2 単 位
		1～4 年
		前期・後期

スポーツはだれのものか？少なくとも、今日の私たちのスポーツへの参加状況は今世紀の初頭と比較すればかなり異質である。それは単に時間的経過という単純なものではなく、人類の基本的権利としての文化享受という構図が存在する。本講義では体育やスポーツを身体運動文化という広義概念でとらえ、特に運動技術、用具、施設、記録、ルール、マナー、組織等について歴史的に概観し、大衆化への道について考える。

言 語 哲 学	ひ 樋 かし 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

《プラトン『クラテュロス』》

言葉（記号）と事柄（指示対象）との関係についての古典的著作を解説したいと思う。

言葉には、その言葉をもつように至った自然本性的原因（事柄）があるのか、或はないのかといった、言語の本質論的論究を中心に講義する予定である。

<後期>

《ウィトゲンシュタイン》

朝、知人に出会ったら「おはよう」と言う。何故その様な状況において「おはよう」という言葉を発するようになったのだろうか。単なる習慣であるとかたづけただとしても、そもそもこの習慣は我々の言語を用いる生活をどのように支えているのであろうか。このような問題を後期はウィトゲンシュタインを手懸りにして考えたいと思う。

テキスト名：『クラテュロス』プラトン，岩波書店

『青色本』『茶色本』ウィトゲンシュタイン

西 洋 古 典 語 概 論	ひ 樋 かし 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

印欧語の出発点に立つ古典ギリシャ語を学ぶ。初歩的な文法の学習によって、少しでも簡単なものが読める様にしたい。

科目の関係上出席を重視する。

<後期>

近代語のルーツとしての古典ラテン語の初歩を学ぶ。

前期と同様出席を重視する。

テキスト名：前期：『古典ギリシャ語入門』田中・松平，岩波全書

後期：『ラテン語入門』松木 悦治，駿河台出版社

歴 史 学 演 習	はり 針	がや 谷	ひろし 寛	4 単 位
				1 ～ 4 年
				通 年

共通のテキストに関し、分担して報告してもらい、討論を中心にして進める。テキストは未定であるが、できれば古典的なものを、と考えている。履修者の状況によっては、特殊なテーマの諸文献になることもありうる。ちなみに昨年度取りあげた文献は、ヘーゲル『歴史哲学講義』（長谷川宏訳、岩波文庫）と増淵龍夫『歴史家の同時代史的考察について』（岩波書店）である。

評 価 方 法：平常の学習とレポートによって成績を評価する。

哲 学 演 習	ひ 樋	かさ 笠	かつ 勝	し 士	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

《プラトンを読む》

プラトンの『リュシス』を読む。そこに、友愛（philia）や友人という主題を読みとりながら、アポリアに陥る思索の過程そのものをも辿り、哲学的思索のあり方を考えたいと思う。

受講者としては、「哲学」の講義を聴講したことがあり、毎回積極的にディスカッションに参加し、テキストに忠実であろうとする者であることを期待したい。

テキスト名：『リュシス』プラトン、岩波書店（プリントを使用する予定）

比 較 ス ポ ー ツ 文 化 論 演 習	とみ 富	まつ 松	きょう 京	いち 一	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

今日、スポーツは文化・社会指標として重要な役割を果たしていると考えられる。比較スポーツの枠組は、人物、記録、用具、施設、倫理、規範（ルール）、組織、メディア、社会地域、国家等様々である。そこで、前期ではこれらの枠組での文献を読み方法論とスタイルを学ぶ。後期には各自で課題（テーマ）を設定し小論文を作成する。さらに、発表、質疑応答の時間を設定し、各々の課題の相互理解を深める。

評 価 方 法：出席状況、課題へのとり組み方、ディスカッション、課題の完成度（小論文）以上の4点で評価する。

テキスト名：授業の中で指定する。あるいはプリント使用。

2) 社会

社 会 学 A	やまぎしみほ 山 岸 美 穂	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

社会学の課題は、人間、社会、日常生活、人々の世界体験を深く理解することにある。この講義では、社会学の基本的なものの見方、考え方を学習しながら、具体的な日常生活の理解を目指したい。住まうこと、食事をするこ、服を着ること、働くこと、祈ること、遊ぶこと、誕生から死まで、人生のさまざまな場面をクローズ・アップしながら、さまざまな人々との出会いと交わりのなかで、人生を旅することの意味を考察したい。

<後期>

現代はいかなる時代なのか。私たちの日常生活は、時代の移り変わりの中で、どのように変貌しているのか。現代の時代様相、人間の存在様相を理解するために、多角的に〈日常的世界〉へのアプローチを試みる。文学、写真、絵画、音楽などにも注目しながら、人間・社会・日常生活の舞台で人々が展開するドラマから、社会の仕組みを読み解き、これからの時代の人間の生き方を考察する。

評 価 方 法：定期試験で評価する。

テキスト名：『家族／看護／医療の社会学ー人生を旅する人びとー』山岸 健編著，サンワコーポレーション

社 会 学 B	やまぎしみほ 山 岸 美 穂	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

社会学の課題は、人間、社会、日常生活を理解することにある。ここでは、人々の〈時間〉、〈空間〉体験に注目しながら、具体的な、人間理解、社会理解、日常生活の理解を試みたい。人々の出会いと交わり、文化、コミュニケーションを、主要なパースペクティヴとし、人間の生活体験、世界体験を読み解いていく。人生を旅することの意味を、時間、空間体験を手がかりに考察し、さまざまな人々が共に生きることの意義を探究したい。

<後期>

都市とは何か。さまざまな人々が出会い、交わる都市は、私たちの日常生活の舞台であり、人々の時間・空間体験に、大きな変容をもたらした装置でもある。ここでは、変貌する都市、東京を中心に、日本や諸外国の都市を考察しながら、人々の時間・空間体験を探究する。写真・絵画・音楽なども用いながら、日々の平凡な出来事に、社会を読み解くまなざしを育みたい。時代を理解する手がかりが、人々の都市体験に見出されるのである。

評 価 方 法：定期試験で評価する。

テキスト名：『日常生活の社会学』山岸 健，日本放送出版協会，NHKブックス309

社 会 学 C	か とう じょう じ 加 藤 譲 治	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

社会学への入門、社会学の基礎概念、基本理論の講義。

<後期>

今日問題となっている家族、職業、都市、宗教、社会的不平等、マスメディア、高齢化などを、社会学的視点から説明。

評 価 方 法：定期試験。出席状況の加味。

テキスト名：『ソシオロジー事始め』中野 秀一郎，有斐閣

社 会 学 D ・ E	あん どう き く お 安 藤 喜久雄	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

社会の基礎的単位としての人間の行為の分析、検討から始める。次いで人間の行為を規制する規範や価値をはじめ、相互行為、対人関係、コミュニケーション、社会化など社会学における基本的概念の検討を通して社会と個人とのかかわりについて考える。授業ではできるだけ具体的事実在即して説明し、理解を深めるよう努める。

<後期>

社会学の主要な対象である家族、地域、組織（官公庁、企業など）、国家などについてこれまでの研究成果をふまえて社会学的視点より解説する。それとともに上記の各分野において、現在、どのようなことが問題になっているかを明らかにし、それを通して現代社会の当面している課題について理解を深めるよう心掛けるつもりである。

評 価 方 法：期末に試験を行い、出席点と合わせて評価する。試験成績と出席点の比率は概ね8対2である。

テキスト名：『社会学概論』安藤 喜久雄・児玉 幹夫編，学文社

法	学	A	もり 森	した 下	し 史	ろう 郎	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

前期は、法学の基礎を学ぶことを重点に置き、法とは何か、法の発展、法と裁判、裁判の基準、法解釈というテーマに即して、様々な法的問題を取り上げ、法解釈を通じて、実際の問題が、どのように法的に解釈されるかを、具体的判例を通じて紹介、講義する。

<後期>

後期は、主として、憲法、民法、刑法、行政法という実定法の中の諸原則の問題、基本的人権、犯罪と刑罰、家族、契約の自由、財産、損害賠償、生存と環境保護というテーマに即して、その中で生起する様々な法的紛争が、複雑多様化した現代社会の中で展開することを念頭に、具体的判例を紹介しながら、問題を批判的に考察する。

評 価 方 法：定期試験の結果で評価する。

テキスト名：『法学入門』末川編，有斐閣双書

法	学	B	あお 青	やま 山	はる 治	き 城	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

法と聞いて何のイメージも持てない、という人はまずいないであろう。だが、それでは「法とは何か」と問われて適格に答えられる人もいない。この不思議な「法」というものを、それが現われる具体的な場面に即し、諸外国における法概念の異同を検討しながら考えていきたい。ここでは主に国家、憲法の基本原理との関わりを中心にみていく。

<後期>

講義の趣旨は前期と同じ。ただ場面が変わる。所有権とは何か、何故正当化されるのか。また、なぜ約束は守られなければならないのか等々、主に民法において現われる諸問題と、犯罪とは何か、精神病者の行為はなぜ罰せられないのか、刑罰と損害賠償はどこが違うのか、といった刑法の場面で現われる法の問題を考える。

評 価 方 法：前・後期各1回ずつ試験を行う。

テキスト名：『判例法学』西村 健一郎他，有斐閣

政 治 学 A ・ B	いけ 池	や 谷	とも 知	あき 明	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

政治とは何だろうか。政治の仕組みはどうなっているのだろうか。政治に国民の意思が反映されているのだろうか。政治に市民は積極的に参加できないのはどうしてか。政治に関してさまざまな疑問を感じている諸君は多いだろう。前期はこれらの疑問について、選挙、政党、圧力団体、議会、世論とマスコミ、市民の政治参加といったテーマを扱いながら、一緒に考えてみたい。

<後期>

政治はどうあるべきなのだろうか。デモクラシーは国民が主役の政治ではないのか。日本の政治は欧米の政治に比べて問題があるように思われる。後期はこのような疑問に関して、政治思想的側面と比較政治学的側面から、ともに考えてみたい。前者に関しては、近代の政治思想、デモクラシーの歴史的展開、政治権力などをテーマとして、後者に関しては、政治文化、比較政治学のいくつかの理論をテーマとして扱う。

評 価 方 法：試験および任意提出のレポートの結果で評価する。

テキスト名：『現代政治学』（改訂版）堀江・岡沢編，法学書院

経 済 学 A ・ B	なが 長	お 尾	てる 昭	や 哉	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

経済学という学問のなりたち、学び方、主要な学説の基本内容など。

<後期>

現実の日本経済について、データを通じて学ぶにはどうすればよいのか。

評 価 方 法：3回程度のテストを実施する。

テキスト名：『やさしい経済学の本』長尾，同文館

心 理 学 A ・ B	や べ ふ み え 矢 部 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

人間を一種の情報処理システムと見なす認知心理学の観点から、環境の認知、記憶過程について概観する予定である。

評 価 方 法：定期試験（年2回）

テキスト名：『実験心理学』大山 正編，東京大学出版会

心 理 学 C ・ D	や べ ふ み え 矢 部 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

社会心理学入門であるが、社会の中の自己や社会的環境における事物の認知を中心に概観する予定である。

評 価 方 法：定期試験（年2回）

テキスト名：『社会の中の人間理解』大坊 郁夫・安藤 清志編，ナカニシヤ出版

心 理 学 E	た はら しゅん じ 田 原 俊 司	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

発達臨床心理学入門

本講義は子どもの精神発達及び発達障害に対する対応の二側面から子どもの発達を検討することを目的とするものである。前期は精神発達の概論及び発達遅滞・障害における対応をカウンセリングを中心に検討する。

<後期>

発達臨床心理学

前期の知見を深めることを目的とし、精神発達の中で特に言語発達、Theory of Mindなどのトピックをとり上げることとする。

評 価 方 法：レポート試験を実施の予定である。

テキスト名：『いじめ相談室』田原 俊司編著，八千代出版

教 育 学 A ・ B	あずま とし のり 東 敏 徳	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前期・後期

教育ほど人の一生で重要なことは数少ない。その意味で私たちは教育について、学校教育を含めて、より広い範囲で考えなくてはならない。本講義ではまず、人が成長していく中で教育の果たす役割について考える。それはとりもなおさず、「教育とは何か」という問いにつながる。この問いの答えを求めることが本講義の目的であり、このため授業では教育に関する身近なトピックを取り上げ、そのトピックについて質疑応答を通じて分析がなされていく。なお教職課程履修者はこの科目を履修しておくことが望ましい。

評 価 方 法：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：『教育って何だろう 改訂版』東 敏徳，ユージン伝

文化人類学 A ・ B	み た む ら し げ た か 三田村 成 孝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

前期は、文化人類学の主要な理論の紹介とそれらを念頭にアイヌ民族・文化について見てゆく。

明治以降進められたアイヌ民族の日本化政策により、アイヌ文化のほとんどが消滅の危機にひんした。現在かすかに残るアイヌ文化の断片は、一つの文化が一旦壊れると元に戻すことの難しさを示している。このことはまた、日本の伝統文化についても多くの示唆を与えている。

<後期>

後期は、日本社会を例にとって講義を進めてゆく。アメリカの文化人類学者エンブリーにより、昭和10年頃に行われた熊本県須恵村の調査などを紹介しながら、日本人の信仰や死生観と深く関わる行事や儀礼を取り上げて見てゆく予定である。

評価方法：定期試験の結果で評価する。

テキスト名：特になし。授業中に紹介する。

文化人類学 C ・ D	あ べ つ か さ 安 倍 宰	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

ヒトのあらゆる「連帯」をテーマに、文化人類学の基本を講義する。主なテーマは家族、親族、年齢、地縁、身体、世界観、都市などを予定している。何か絶対的なものが社会や価値観を形成してはおらず、相対的な脈絡の中で各種組織が運営されている様子を理解していただきたい。

<後期>

前期の講義を受けて、後期では「彼ら」集団を文化人類学的に考察してみよう。「我々」が存在する以上、同時に「彼ら」が存在する。「我々」は「彼ら」をどのように認識しているのだろうか。交換理論、都市人類学などの“現代的”な問題設定の中から、異なる価値観が接触する様を、数多くの事例を通じて簡潔に講じていきたい。

評価方法：期末に試験を行う。“一発”に不安のある方は“保険”として各自レポートを受け付ける。強制はしない。

テキスト名：『文化人類学を学ぶ』蒲生他編，有斐閣選書
その他の参考書は講義中に指示する。

憲	法	A	もり 森	した 下	し 史	ろう 郎	4 単 位
							1 ～ 4 年
							通 年

<前期>

近代憲法の成立から現代憲法への変容過程で生起する様々な人権問題を考察の対象とする。特に前期では、近代憲法の諸原則、幸福追求権、法の下での平等、表現の自由、プライバシーの権利等の基本的論争を主要な憲法判例を通じて批判的に考察する。

<後期>

現代社会で変容する様々な人権保障の問題の中で、後期は、主として、経済的自由、生存権等の社会権、不当な身体的拘束からの自由としての人身の自由、憲法の基本原則としての平和主義等、できるだけ広く人権論争を紹介しながら講義を進めていきたい。

評 価 方 法：定期試験の結果で評価する。

テキスト名：『法学、憲法』森下他共著，敬文堂

参 考 書：『新版憲法判例』阿部、池田編，有斐閣双書

憲	法	B	・	C	あお 青	やま 山	はる 治	き 城	4 単 位
									1 ～ 4 年
									通 年

<前期>

実例、判例を用いながら憲法の保障する「基本的人権」の意義を考える。フランス人権宣言によって近代憲法の存在条件とされた人権保障であるが、我国においてはかならずしもなお十分に定着したとはいいがたい。人権批判論にも配慮しながら、人権概念ひいては近代的国家概念について考えていく予定。

<後期>

日本国憲法の3大支柱とされるもののうち「国民主権」と「平和主義」について考える。これらは自明の原理のように思われるかも知れないが、その意義について解釈は分かれている。現実の問題として前者は選挙制度や国民投票、天皇制と関連し、後者は国連を中心とした国際関係と密接に関係する。前期で扱う人権同様、この2つの原理も国家の意義、特にその統治構造の問題につながっていく。

評 価 方 法：前・後期各1回ずつ試験を行う。

テキスト名：『憲法の精神：きみたちはどう生きるか』浦田 賢治編，日本評論社

経 営 学 A	お 小 川 まさ ひろ 正 博	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現代企業のしくみや行動を易しく学ぶ経営学入門である。

社会や経済のなかで重要な役割を果たしている企業を、経営学の理論を活用して理解する。前期は企業の形態、産業構造、経営概念、戦略などの側面から企業行動を解明する。

身近な題材を事例に活用して、予備知識がなくとも、企業や経営について理解できるように進める。

<後期>

前期に引き続き、身近な題材から経営理論を活用して企業行動を理解する。

後期は組織や情報の側面から企業の経営について学ぶ。

評 価 方 法：前期末と後期末に試験を行う予定。

テキスト名：講義のなかで参考図書を示す。

経 営 学 B	お 小 川 まさ ひろ 正 博	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

変革期のなかの日本企業の経営の実態と課題について学ぶ。

日本社会の成熟化、グローバル化や情報化のなかで、わが国企業は経営の革新を求められている。前期はどのような課題に直面しているのかマクロ的に、また主要産業ごとに理解する。そして、企業に求められている諸条件を考える。

<後期>

21世紀に向けて、再び躍動力を発揮するための企業経営のあり方を学ぶ。新しい生産・販売システム、グローバル化時代の経営、情報化時代の経営、事業創造などについて理解する。

身近な題材を活用して、企業が親しい存在となるように進める。

評 価 方 法：前期末と後期末に試験を行う。

テキスト名：『創造する日本企業』小川 正博，新評論

統 計 学 I A ・ B	しば 芝	はら 原	のぶ 信	ゆき 幸	2 単 位
					1 ～ 4 年
					前 期

数字の氾濫する現代において、情報の玉手箱としての統計数値を紐解く一つの手法として、「統計学」は、将来どのような仕事に携わる人にとっても必要不可欠なものであろう。

本講義はデータ解析の基本となる、統計データの記述に関する基本事項のマスターを主眼としたものである。必要上、パソコンを使用するが、パソコンの初心者も前提として講義するため、パソコンの予備知識は一切必要としない。また、数学の予備知識も必要としない。

評 価 方 法：定期試験はレポート試験とし、その他1回程度のレポート、及び、平常点（出席点）等によって総合的に評価したい。

テキスト名：テキストは使用せず、必要に応じて参考書を指示する。

統 計 学 II A ・ B	しば 芝	はら 原	のぶ 信	ゆき 幸	2 単 位
					1 ～ 4 年
					後 期

「統計学Ⅰ」で学んだ統計データの記述法を用い統計分析の手法の解説と演習を行うことを主眼とした講座である。種々の統計分析の基本と考えられる、相関分析、回帰分析を中心に講義を進めて行きたい。出来る限り現実のデータを用い実践的な講義を心掛けていくつもりである。

データの語る囁きを味わって頂きたい。

評 価 方 法：定期試験はレポート試験とし、その他1回程度のレポート、及び、平常点（出席点）等によって総合的に評価したい。

テキスト名：テキストは使用せず、必要に応じて参考書を指示する。

3) 自 然

生 物 学 A	寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

今日の国際的な諸問題の解決には、環境問題についての理解が不可欠となってきた。この地球環境の多くのものは、生物と環境のかかわり合いのバランスが、人間活動によってくいが生じたことによって生じている。本講はこうした環境問題の理解の基礎となる生物と環境との間の基本的な関係と、その結果生じる地球上のいくつかの地域の生物と環境条件をビデオ教材や写真スライドを使いながら講義をすすめる。

<後期>

昨今の新聞やテレビのニュースの中で、環境問題に関するものが毎日のように報道されている。本講の目的は、この環境問題を出来るだけ客観的に理解するために、先ず生態系のしくみを深く理解してもらうことにある。先ず、生態系概念、構造と機能等の基礎的な理解を経た後、各種環境問題について生態系のしくみとの関連を考察しながら、ビデオ教材等を使って講義をすすめる。

評 価 方 法：定期試験 9 割、平常点 1 割

テキスト名：特に指定せず、必要に応じてプリントを配付する。

生 物 学 B	寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

本講は生物と環境のかかわりあいについて、主に観察や簡単な実習を通して理解を深めることを目的としている。前期の一つの目標は、①キャンパス周辺の生物を教材にして、身近な生物と環境の観察と調査を中心に授業をすすめる。もうひとつは、②世界のいくつかの地域の典型的な環境条件とそこに生育・生息する動植物相について、ビデオやスライドを教材にして、環境と生物とのかかわりあいについての理解を深める。

<後期>

昨今のニュースの中で常にどこかで問題となっている環境問題の理解には、生物と環境とのかかわりあいについてのひとつの概念である生態系についての理解が欠かせない。後期では、生態系についての基礎的な理解を経た後、生態系のしくみに派生するいくつかの地球環境問題について、ビデオ教材や簡単な観察や実験によって理解をすすめる。

評 価 方 法：前、後期とも観察や実習を中心とするので、出席を重視する。毎回レポート等の提出物を要求する。

テキスト名：特に使用しない。

生 物 学 C	てら だ み な こ 寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現在人類は地球上で空前の繁栄をはこっている生物といえるであろうが、これは生命誕生以来35億年の生物進化の過程でヒトが言語というコミュニケーション手段を獲得したことに多くを負っていることと無関係では無いであろう。本講は動物の進化の過程をコミュニケーションという観点からながめ、講義を中心に動物の行動に関するビデオテープを見ることによって話をすすめる。前期は、動物のコミュニケーションの基礎的な機械装置としての神経系・脳の構造と機能について、動物の進化の過程にそって解説する。

・生物のコミュニケーション概説・神経系、感覚器の生理学

<後期>

具体的な生物のコミュニケーションのあり方を、動物の行動のしくみや動物の社会構造のあり方と関係させて紹介しつつ講義をすすめる。本年度は特に霊長類（サルの仲間）からヒトへの進化の過程に焦点を当てて、NHK人間大学のビデオシリーズを教材にして、ヒトがいかに言語というコミュニケーション手段を獲得したかについて、考察する。

・生物の行動（コミュニケーション）が開発されるしくみ ・動物の社会構造とコミュニケーション
・サルからヒトへ

評 価 方 法：試験を行う。

テキスト名：特に定めない。

自 然 科 学 概 論 A	なか ね み ち よ 中 根 美知代	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

この1、2年、私達は、阪神・淡路大震災・オウム真理教事件・薬害エイズ・O157といった重大な事件に直面した。報道を適切に把握し判断するためには、自然科学の理解が欠かせなくなった。

この講義では、こうした事件の分析に必要な自然科学の知識を再整理し体系的に学ぶ一方、市民としてどのように対応するべきかを考えていく。

<後期>

後期でも前期に引きつづき、時事問題から自然科学を学んでいくが、事件に対する自分の考え方や意見を口頭あるいは文章で表現する機会を多く設ける予定である。

評 価 方 法：出席を重視し、平常点（講義時間中に行なう小テストを含む）で評価する。

自然科学概論 B	なかねみちよ 中根美知代	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

「自然科学概論 A」とほぼ同様の内容であるが、コンピューターの普及を念頭におき、自然科学のなかでも数物系の基礎知識に重点をおいて講義する。

中学・高校時代、数物系科目が苦手で避けてきた学生の受講を優先的に認め、初歩からていねいに説明していく予定である。

<後期>

後期も前期と同じ方針で講義をすすめていく。

卒業後社会に出た時に、あるいは海外に留学する際に支障のない程度の数物系科目の基礎学力の養成を目指していきたい。

評 価 方 法：出席を重視し、平常点（講義時間中に行う小テストを含む）で評価する。

自然科学概論 C ・ D	とくもとことよ 徳元琴代	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

自然科学はとかく難しい暗記や計算ばかりの学問として敬遠されがちであるが、我々の多くは宇宙や生命や物質の神秘さに夢中になった経験をもっているはずである。自然科学とは一体どういうものなのか、いかにして形成されたのか、前期は、地球や人類の誕生から、自然科学が成立するまでの歩みを通して、人類の生きる知恵として生み出した自然科学の本質にせまりたい。自然科学や自然への新たな視点を獲得するとともに、自然科学を身近な、ものとして再認識できよう。

<後期>

現代における自然科学の飛躍的發展は、我々の生活に豊かさをもたらしてきた一方で、科学兵器や環境問題など、負の遺産を形成しつつあることも確かである。自然科学の存在は地球の存亡さえ左右しかねない。21世紀にむけて、もはや我々一人一人が自分と無関係のものとして、遠ざけているわけにはいかないのである。後期は、現代の科学技術の課題、たとえば、原発、脳死、などの分析を通して人類は今後科学技術とどうかわっていけばいいのか、解決の糸口としたい。

評 価 方 法：数回のレポート提出によって評価する。

テキスト名：『科学史概要』渋谷 一夫 その他、ムイスリ出版社

情 報 処 理 A	はし 橋 もと 本 あき 明 ひろ 浩	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

コンピュータとネットワークは我々の実生活をも大きく変革させているだけでなく、社会に大きな影響を与えている。本講義の目的は、パーソナルコンピュータ利用の技能を高めるという観点ではなく、人間とコンピュータ、人間と人間のコミュニケーションという立場からのコンピュータサイエンスの初歩を身につけ、情報倫理というべきモラルをも身につけることを目的としている。

主な講義内容は以下の通りである。（下線部分が重点講義部分である。）

1. 本学の情報環境
2. 情報ネットワーク
3. 情報倫理と法
4. 文書の科学 S G M L
5. 情報伝達の科学
6. データ構造と参照・処理
7. 情報解析の科学とグラフィックス

本コースでは、各種の文書や文献を扱うための文書記述言語であり、文書データの多角的利用と異機種間の文書交換を目的とした文書の表現形式である S G M L について重点的に学ぶ。S G M L は1986年に世界標準化機構（I S O）に I S O 8879、1992年に日本工業規格（J I S）に J I S X 4151として規格承認され、今後一層の幅広い利用が予想されている規格である。

特に基礎知識は必要としない。

評 価 方 法：試験及びレポート提出を行う。

テキスト名：未定

情 報 処 理 B	はし 橋 もと 本 あき 明 ひろ 浩	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

コンピュータとネットワークは我々の実生活をも大きく変革させているだけでなく、社会に大きな影響を与えている。本講義の目的は、パーソナルコンピュータ利用の技能を高めるという観点ではなく、人間とコンピュータ、人間と人間のコミュニケーションという立場からのコンピュータサイエンスの初歩を身につけ、情報倫理というべきモラルをも身につけることを目的としている。特にコンピュータを用いたデータ管理、ネットワーク化は、プライバシーの問題等の様々なことを引き起こすが、多くの人的時間的な労力を削減することは事実である。

本コースでは、様々な情報化の問題を考えた後に、情報解析の科学とグラフィックスを重点として学習し、データ構造と参照についても科学的な見地から言及する。なお、データ解析に必要な調査法についても解説する。主な講義内容は以下の通りである。（下線部分が重点講義部分である。）

1. 本学の情報環境
2. 情報ネットワーク
3. 情報倫理と関連法
4. 文書の科学 S G M L
5. 情報伝達の科学
6. データ構造と参照・処理
7. 情報解析の科学とグラフィックス

特に基礎知識は必要としない。

評 価 方 法：試験及びレポート提出を行う。

テキスト名：未定

情 報 処 理 C	はし 橋 もと あき ひろ 本 明 浩	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

プログラムはコンピュータを動かす上で重要な役割を演じるが、すべての人間に処理手順に着目したプログラムを作成する能力は必要とは言えない。本コースでは、プログラム作成という立場ではなく、人間とコンピュータのコミュニケーションとしての操作原理、言語としてのプログラム及びネットワーク理論について学ぶ。情報科学の初歩としての情報伝達の科学は、実社会で幅広くかつ普遍的に必要な科学でもある。また、従来の法的体系では規制できない情報化、ネットワーク社会についても言及する。主な講義内容は以下の通りである。（下線部分が重点講義部分である。）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 本学の情報環境 | 2. 情報ネットワーク |
| 3. <u>情報倫理と関連法</u> | 4. 文書の科学 S G M L |
| 5. <u>情報伝達の科学</u> | 6. データ構造と参照・処理 |
| 7. 情報解析の科学とグラフィックス | 8. オブジェクト指向とは |
- 特に基礎知識は必要としない。

評 価 方 法：試験及びレポート提出を行う。

テキスト名：未定

情 報 処 理 D ・ E	よこ かわ ひさえ 横 川 ひさえ	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現代社会では、コンピュータを用いた情報処理は不可欠の技能となり、パソコンも日常生活に必要な道具となった。前期は、ワープロ（一太郎）を使用した文書処理と、表計算（Lotus 1－2－3）を使用した計算処理を行ないながら、コンピュータの機能を概説する。

<後期>

前期の内容をふまえ、BASIC 言語による簡単なプログラム作成を通して、コンピュータによる処理の性質を理解することをめざす。

評 価 方 法：学期末に試験を行う。授業時の課題の提出と試験結果で評価する。

テキスト名：授業時にプリントを配付する。

情 報 処 理 F ・ G	ひ　おき　さき　お 日　置　咲　夫	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

理系、文系を問わず企業で歓迎される大卒者の一般的能力は、ワープロ、パソコンを使いこなす能力であると言われております。

本講では、先ず、ワープロソフトを使い文書を作成し、キー操作に馴れることからスタートします。次にBASIC言語を用いプログラム作成の基本的事項を学習します。

<後期>

本講では、表計算ソフトの基本的な事項を学習し、簡単な表計算処理を行えるようにします。次に、前期で学習したBASIC言語によるプログラム作成の基礎を踏まえ、分類等実務的なプログラムの作成を行います。

評 価 方 法：定期試験の結果で評価します。

テキスト名：『PC-9801 & FM16β 対応BASIC の活用テキスト』 米山、三木、オーム社

健 康 科 学 論 A ・ B	よこ　ぜき　とし　こ 横　関　利　子	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前期・後期

高齢化社会を迎えている今日、健康でいることは高齢者だけでなく青年期の人達の重要な課題です。高齢者の寝たきりの原因は、脳血管疾患と骨折であると報告されています。この原因の危険因子を取り除くためには、青年期からの生活習慣の改善が大切です。健康科学論の授業では、各個人の健康に関する食・運動・喫煙などの生活習慣をチェックし、自分自身の健康の問題点を明らかにします。それを踏まえて、生活習慣の改善策を講義していきたいと考えています。

評 価 方 法：レポート提出と授業内で行う小テストで評価します。また、出席状況も考慮に入れて評価します。

環 境 科 学 演 習	てら だ み な こ 寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現在起こっている様々な地球環境問題についての、出来得る限りの正確でかつ最新の情報を理解するための基礎的な文献（英文）を講読する。

<後期>

個人又は小グループで地球環境問題に関する研究テーマを選び、テーマ毎に文献調査、テーマによっては実地調査又は実験を行い、最終的にはレポートにまとめ、さらに発表を行う。

研究テーマ例：水質汚染、大気汚染、土壌汚染、森林破壊、ゴミ問題など。

評 価 方 法：レポートとする。

テキスト名：The Biosphere (A Scientific American Book)、Environmental Science (Turk et al, Saunders Golden Series in Environmental Studies) 国連資料等の中から抜粋してコピーする。

4) 外国語

英 語 I ・ II		4 単位・4 単位
		1 ・ 2 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「英語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」、「英語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

First and Second Year English for Non -English Majors

Non-English majors, i. e., those students majoring in Chinese, Korean, or Spanish, may choose to take English during their first and second years at Kanda University of International Studies. The students have two 90-minute classes of English per week. One of these classes focuses on reading/writing while the other emphasizes speaking/listening.

At KUIS the emphasis in our language classes is on communication. Therefore, in the reading/writing classes we discourage the “read and translate approach” to language teaching. The students will be given as many opportunities as possible to use English in the classroom, for example, by summarizing and discussing the topics in the textbook. Similarly, in the speaking/listening section the emphasis is on using the spoken language for communication in the classroom.

中 国 語 I		4 単 位
		2 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「中国語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

生きた教材を通して、中国語を「耳」で聞いてわかり、「口」から正しい音を発せられるように、できるだけ発音の習得につとめ、このうえに基礎的な語彙、文法、表現などを学習してゆく。本年は中国の現在を写したビデオを活用してみたい。

<後期>

前期に同じ。

評 価 方 法：前期末と後期末に試験を行うほか、中間に適時小テストをする。

テキスト名：開講初日に教室にて指示する。

中 国 語 II	4 単 位
	3 年
	通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「中国語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

初年度の学習を基礎に、講読、作文、会話を通じて、中国の文化、風俗、習慣の理解を深めるとともに、中国語の「聴」、「説」、「写」の総合能力をいっそう高めてゆきたい。

<後期>

前期に引き続き、さらにバランスの取れた中国語学習の完成を目指す。

評 価 方 法：前期と後期の末のほか、中間に適時小テストを実施する。

テキスト名：開講初日に教室にて指示する。

ス ペ イ ン 語 I	4 単 位
	2 年
	通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「スペイン語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

初級用の文法と訳読を兼ねた教科書を使用して、スペイン語の基礎能力を身につけることを目的とする。基礎単語と基礎文法の習得によって、日常のことがらを表現できるようになることが一応の目安である。外国人の先生の授業では、発音と表現に慣れ親しむことが重要であり、積極的な態度で授業に臨むことが望まれる。出席を重視するので注意すること。

<後期>

前期と同じ。

評 価 方 法：各々の先生が個別の試験を行なう。

テキスト名：未定

ス ペ イ ン 語 II		4 単 位
		3 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「スペイン語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

＜前期＞

「スペイン語Ⅰ」を履修した学生を対象とする中級クラスであり、スペイン語の総合的な力をさらに充実させるために講読を通して、表現力と文法知識の拡大を図る。

＜後期＞

前期に同じ。

韓 国 語 I	と 土 羅 と 佐 昌 樹 聖 淑	4 単 位
		2 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「韓国語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

＜前期＞

韓国語と日本語は良く似ていると言われます。確かに、皆さんが英語で苦しんだ語順には、もう苦しまないでしょう。そして韓国で使われる漢字語が日本と同様なので、うれしくなる時もあるでしょう。このような類似点も多いのですが、相違する点も少なくありません。おそらく、当初、韓国語の発音や文法などに、とまどうでしょう。しかし、韓国語を学ぼうちに、発音の美しさや文法体系の見事さに感動するにちがいません。韓国語の面白さを知ることで、隣国である韓国に対する理解が深まることを期待します。

なお、韓国の風土・自然のみならず歴史や文化などにも関心を向けて下されば、もっと韓国語を面白く学べるでしょう。

＜後期＞

「韓国語Ⅰ(a)」を継続し、韓国語の基礎を修得することを目指す。

韓 国 語 II	はま 濱 土 なか 中 佐 まさ 昌 のぼる 昇 樹	4 単 位
		3 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「韓国語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

「韓国語Ⅰ(b)」の続きとして発音と文法の仕上げを行なう。

<後期>

「韓国語Ⅱ(a)」の授業をふまえて、主として読解力の向上をめざす。

評価方法：期末試験を行なう。

テキスト名：プリントを使用する。

フ ラ ン ス 語 I	ふじた 藤田(知) たなへ 田辺 いづみ ・泉(利) なかむら ・中村(要) せんば ・仙波	4 単 位
		2 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「フランス語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

皆さんが新しく始めるフランス語は、伝統あるフランス文化を背景に持つ何よりも生きた言葉です。フランス語は典型的な「はじめ絶壁あとなだらか」式の言語でとくに最初が肝腎です。この1年間は新しい知識をひとつひとつ吸収しこなしていく規則正しい継続力が求められます。授業では日常の平易な対話をテキストとして、発音・語彙・文法を学びます。副教材として、フランス文化の紹介を兼ねたビデオや音声資料等をしばしば使用する予定です。

<後期>

「フランス語Ⅰ(a)」と同じ方針で授業を続けていきます。NHKラジオ・テレビのフランス語講座を活用するとさらに効果が上がるでしょう。秋にはフランス語検定4級に挑戦してみませんか。継続は力なりをモットーに必ず声を出して勉強して下さい。

評価方法：数課終わるごとに、一学期につき2回の筆記試験を行ないます。出席、試験、平常点の総合で評価します。

テキスト名：未定

フ ラ ン ス 語 II	ふじ た 藤田(知)・ いずみ 泉(利)・ せん ば 仙波 たな べ 田辺・ なかむら 中村(要)	4 単 位
		3 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「フランス語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

前半は初級の知識の仕上げを行います。後半は、各授業ごとに傾向の異なる2種類の教材を選び、話す・聞く・読む・書くの4能力の向上をはかります。同時に、さまざまな補助教材を導入しながら、フランス語を通して培われたフランスやフランス語圏の文化の多面性に触れてほしいと思います。NHKラジオ・テレビのフランス語講座を併用するとさらに効果的です。フランス語検定3級に挑戦してみましょう。

<後期>

「フランス語Ⅱ(a)」と同じ方針で授業を続けます。2年間の苦しくも楽しい勉強を通して、皆さんは、日本語、英語に続いて、自分自身を相対化するための3つ目の言葉のチャンネルをまがりなりにも持ったのです。この際、もうひと手間かけて、けっこう使えるレベルまでフランス語をもっていつてはどうでしょうか。NHKラジオ・テレビを活用し、秋にはフランス語検定3級合格を目指しましょう。

評 価 方 法：進度に応じて筆記試験を行います。出席、試験、平常点の総合で評価します。

テキスト名：未定

ド イ ツ 語 I	し が なみ 志賀浪、 あかざわ 赤沢、 うちだ 内田(俊)、 おおき 大木	4 単 位
		2 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「ドイツ語Ⅰ(a)・Ⅰ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

週2回の授業を2名の教員がチームを作って進めます。「習うより慣れよ」という言葉がありますが、私達は「習い、かつ、慣れよ」をモットーに、初級文法の基礎を学びながら応用練習を通して、読み、書き、聞き、話す総合力をつけましょう。

<後期>

「ドイツ語Ⅰ(a)」に続き初級の基礎を学びます。ドイツ人の教員がチームに加わり、実際にドイツ語を使う訓練が始まります。

評 価 方 法：定期試験及び平常点で評価する。

テキスト名：Sprachbrücke I 他

ド イ ツ 語 Ⅱ	あか 赤 ざわ 沢 もと 元 む 務 おおき エレン・ビールフェルト大木	4 単 位
		3 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「ドイツ語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

赤沢元務

<前期>

比較的易しいテキストを用いて、文法事項を復習しながら、ドイツ語の読解力を付けていく。なお、日常よく使われる文例などは、できるだけ多く覚えてもらうことにする。

<後期>

さまざまな文章（小説、エッセイ、論文、新聞等）を読むことで、ドイツ語の読解力をさらに伸ばしていく。時間的余裕があれば、ヒアリング練習などもしたいと考えている。

評 価 方 法：学期末試験及び平常点で評価する。

テキスト名：未定

エレン・ビールフェルト大木

<前期>

ある推理小説の部分部分を読み、テープでその関連する文章のイントネーションや文法的な変化を理解し聞き取る能力を育て会話が出来る様にする。練習帳も平行して使用し、単語力と文法の理解を深める。

<後期>

ドイツ語Ⅱ(a)に同じ。

評 価 方 法：授業出席日数と授業への積極的参加プラステストの結果。

テキスト名：Die Suche Langenscheidt

ロシア語 I	ばん 坂 法	ない 内 木	とも 知 綾	こ 子 子	4 単 位
					2 年
					通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「ロシア語 I(a)・I(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

坂内知子

<前期>

まず最初に、一部ローマ字と似て異なるロシア文字をしっかりと習得します。ここをクリアすれば基本的に一文字一音ですから、ともかくも読めるようになります。音読、ヒアリング、ディクテーションを通して学習します。初等文法の前半修了を目標とします。

<後期>

前期に引き続き同じテキストの学習を発展させてゆきます。英語と異なるロシア語文法になれるための、平素の積み重ねが効果を表わしてくる頃です。初等文法の後半を習得します。

評 価 方 法：期末試験、平常点も考慮。

テキスト名：『ロシア語へのパスポート』中島 由美他，白水社

法木綾子

<前期>

基礎的な文法を学び、いわゆるローマ字とは大分違うロシア語の文字に慣れたら、応用がきくように単語力を徐々につけていきたいと思います。

<後期>

「ロシア語 I(a)」にひき続き、表現力を深め、簡単な会話が操れるようにしていきたいと思います。

評 価 方 法：提出物や授業中に行う小テスト、期末試験。

テキスト名：未定

ロ シ ア 語 Ⅱ	ばん 坂 ほう 法	ない 内 き 木	とも 知 あや 綾	こ 子 し 子	4 単 位
					3 年
					通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「ロシア語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

坂内知子

<前期>

「ロシア語Ⅰ」で習得したロシア語の初等文法を会話を中心としたテキストの音読・暗記の練習を通して定着、発展させてます。また読解力をつけるためのテキスト講読も行います。

<後期>

会話練習とテキスト講読を通して、ロシア語使用の応用力をつけてゆきます。ビデオ教材も活用します。楽しいロシア語学習が後期の目標です。

評 価 方 法：期末試験と平常点。

テキスト名：『話すロシア語入門』米重 文樹，白水社

その他 コピー教材

法木綾子

<前期>

文法事項を再確認しながら、視覚的・聴覚的側面の鍛練にも力を入れていきます。

<後期>

「ロシア語Ⅱ(a)」を踏まえて、読む・書く・話すという総合的な力のさらなる向上をめざします。

評 価 方 法：授業中に与える課題、期末試験で総合的に評価します。

テキスト名：未定

イ タ リ ア 語 I	あきやま よし 秋山余思 もた 剛 千田 剛	たか だ かずふみ 高田和文	4 単 位
			2 年
			通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「イタリア語 I(a)・I(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

秋山余思

<前期>

イタリア語を読み、書き、話す能力を養成するために必要な基礎文法を会話体の文を読みながら説明する。時にはビデオ教材を用いて、発音や簡単な会話の練習をする。

<後期>

前期の継続。

評 価 方 法：学期末に行なう筆記試験に平常点を加味して評価する。

テキスト名：『パッソ・ア・パッソ』秋山 余思他，白水社

高田和文

<前期>

簡単な日常会話を通してイタリア語の初歩を学ぶ。外国語について自ら疑問を持ち、考え、主体的に学ぶ能動的な学習方法を身に着ける。

<後期>

前期に引き続きイタリア語の初歩を学ぶ。自分自身のことや身の回りのことについてごく基本的なイタリア語で表現できるようにする。

評 価 方 法：前期・後期とも各期末の試験及び平常点で評価する。

テキスト名：『*Piacere!* (ピアチェーレ)』高田 和文他，日伊協会

千田 剛

<前期>

簡単な文法説明と会話練習を通して、生きたイタリア語の修得を図る。

とくに正しい発音と発声の反復練習に留意して、将来の学力向上と運用力の基礎を作る。

<後期>

前期における文法説明と会話練習の続きを行ない、簡単な読み物を読む。講義は、英語やフランス語との比較やイタリア文化のトピックスを織りこんで進める。

評 価 方 法：講義終了時に試験を行なう。

テキスト名：『パッソ・ア・パッソ』(Passo a passo) 秋山 余思他，白水社

イ タ リ ア 語 Ⅱ	あき 秋 たか 高	やま 山 だ 田	よ 余 かず 和	し 思 ふみ 文	4 単 位
					3 年
					通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「イタリア語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

秋山余思

<前期>

昨年度のテキストの残りの部を学習しながら、初級文法をさらに深めてゆくかわら、会話や練習問題（コピーを配付）をやりながら授業を進める。

<後期>

前期の継続。

評 価 方 法：学期末に行なう筆記試験に平常点を加味して評価する。

テキスト名：前年度のテキストおよびプリントを使用する。

高田和文

<前期>

前年に引き続き日常会話を中心にイタリア語を学ぶ。読むこと、聞くことと併せ、話す、書くという能動的な外国語の力を身に着ける。

<後期>

日常会話の他、簡単な手紙、エッセー、インタビューなどを題材とし、幅広いイタリア語の能力を身に着ける。

評 価 方 法：前期・後期とも各期末の試験及び平常点で評価する。

テキスト名：プリント（授業の際に配付）

アラビア語 I	なか 中 しば 柴	むら 村 やま 山	きみ 公	のり 則 しげる 滋	4 単 位
					2 年
					通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「アラビア語 I(a)・I(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

<前期>

西はモロッコから東はイラクに至る迄、アラビア語圏は広大な地域にまたがっている。七世紀以降、イベリア半島から中央アジアに至る迄アラビア語は学術・行政用語として広く流布した。現代では国連の公用語の一つでもある。又、中国のウイグル族はトルコ系の言語を話しているが、文字表記にあたってはアラビア文字を採用している。現代のパキスタン、イラン、アフガニスタンといった非アラビア語圏でも、文字はアラビア文字を使っている。本講義では、アラビア文字の基本を習得して貰うことを主眼とする。二人の教師が共通の教科書を使用する。

評価方法：期末試験を施行する。平常点を加味して、総合的に成績評価を行う。

テキスト名：『たのしいアラビア語1』本田 孝一，たまいらぼ

<後期>

前期に続き、アラビア語という言葉がどういう音を持っているかに注意を傾けて貰う。授業の進め方としては、読解・聴取・会話能力を万遍なくつけて貰うため、質疑応答を多くする。

評価方法：期末試験を施行する。平常点を加味して、総合的に成績評価を行う。

テキスト名：『たのしいアラビア語2』本田 孝一，たまいらぼ

アラビア語Ⅱ	なか しば 柴 むら やま 山 きみ 公 のり しげる 則 滋	4 単 位
		3 年
		通 年

※ 平成6年度以前に入学した学生は、「アラビア語Ⅱ(a)・Ⅱ(b)」を履修して、上記の科目を履修したものとみなす。

＜前期＞

耳も慣れ、口も大分軽く動くようになった段階で改めて、アラビア文字をどの位早く読み取れるかに注目して貰う。動詞の完了形も勉強する。

評 価 方 法：期末試験を施行する。平常点を加味して、総合的に成績評価を行う。

テキスト名：『たのしいアラビア語3・4』本田 孝一，たまいらぼ

＜後期＞

動詞の未完了形に習熟する。この段階で、学生は既習の単語を駆使して、日常生活に関するさまざまな事柄をアラビア語で表現することができるようになっている筈である。

評 価 方 法：期末試験を施行する。平常点を加味して、総合的に成績評価を行う。

テキスト名：『たのしいアラビア語5』本田 孝一，たまいらぼ

5) 保健体育

保 健 理 論	よこ ぜき とし こ 横 関 利 子	1 単 位
		2 年
		集中講義

最近、健康問題の一つに骨粗鬆症が挙げられています。骨を丈夫にするための対策は30歳迄であるとの報告があります。今年度は、「骨の健康」をテーマに健康づくりと関連づけながら講義を進めていきます。

評価方法：レポート提出と授業の中での小テストで評価します。授業の出席状況も評価の考慮の中に入れますので欠席しない様に。

体 育 理 論 A ・ B ・ C ・ D	とみ まつ きょう いち 富 裕 京 一	1 単 位
		2 年
		前期・後期

学校教育での体育ではその大半がスポーツをすることであった。すなわち、体育＝スポーツという構図が無意識のうちに私たちの中に形成されてしまったということはないだろうか。確かに、スポーツのもつ教育力は認めるところなのだが……。

本講義はそのような理解、解釈のしかたをされた日本の体育科教育を歴史的に、特に学習指導要領を中心に分析し、体育とは何か、スポーツとは何か、という問題にアプローチしたい。

評価方法：出席状況、レポート、小テストで評価する。

体 育 実 技	とみ まつ きょう いち 富 裕 京 一	2 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

体育実技は野外活動やスポーツの実践を通して、①自己の身体的能力の向上と認識、②技術の系統性の理解と共有化、③運動の組織化と運営、等の生涯学習としてのスポーツのあり方を学習する。

※開設種目、履修の方法等についてはP.33参照

評価方法：出席状況、参加の態度、課題のできばえ、レポート等で評価する。

2. 専門教育科目

1) 基礎教育科目（各科共通）

日本近代思想史 A・B	やま 山	りょう 領	けん 健	じ 二	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

近代日本思想史概説

近代日本思想史上の思想家の中から五人の思想家を選び出し、その人と思想を時代の中において考察する。生育環境、活動分野、思想流派などがそれぞれ異なる人物を選んで紹介しながら、近代日本思想史の輪郭がつかめるよう工夫したい。

<後期>

前期に続く内容を講義する。

評 価 方 法：レポートと定期試験で評価する。

テキスト名：『日本思想の可能性』鈴木 正・山領 健二編，五月書房

日本倫理思想史 A・B	くぼ 窪	た 田	こう 高	めい 明	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

日本倫理思想史は、日本人が生きることをどう捉えてきたかを学ぶ講義である。日本人が生活の中で出会う現実の問題をどのように捉え、対処してきたかを学んでいく。

前期のテーマを日本人の恋愛観とする。はじめに、近代日本の恋愛観の変遷を考え、その原形として北村透谷の思想を取り扱う。ついで、江戸時代の恋愛観として、井原西鶴と本居宣長の思想を学ぶ。ついで、宣長が注目した、源氏物語などの古代的な恋愛観を学ぶ。

<後期>

後期は、武士の思想を取り扱う。はじめに、近代における武士道論を取り上げ、その特質を考える。ついで、江戸時代の赤穂事件（いわゆる忠臣蔵）と、それに対する江戸時代の思想家の見解を対象とする。また、近世武士道論の一典型として葉隠に触れる。同時に、江戸時代の倫理思想として日本儒学の重要な主題を学ぶ。最後に、中世武士の思想を取り上げる。

評 価 方 法：前・後期それぞれ学期末に試験を行う。形式は記述式。

テキスト名：使用しない。

日本倫理思想史 C・D	うお ずみ たか し 魚 住 孝 至	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

＜前期＞

松尾芭蕉は、生涯をかけて俳諧を絶えず深め、俳諧を言葉遊びの芸から真の詩に高めた。それは、生活の中での心の機微を謳う倫理的な性格を持つ詩であった。

前期は、芭蕉がそれまでの日本の和歌・連歌の伝統に則りながら、中国の詩にも深く学び、隠者の生活の中での精進の果てに蕉風俳諧を成立させていった過程を問題にする。

＜後期＞

蕉風俳諧は、晩年さらに深められた。「不易流行」「松のことは松に習へ」「高く悟りて俗に帰れ」等の教えは、実存的な生き方を示唆するものである。

後期は、芭蕉晩年の深化と、蕪村、良寛等との関連、比較等を問題にする。

評価方法：学期半ばの小レポートと学年末の試験で行なうが、時折書く授業の感想を加味する。

テキスト名：『芭蕉紀行文集』岩波文庫，『新訂おくのほそ道』角川文庫

日 本 の 宗 教 A	うす い あつ こ 薄 井 篤 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

＜前期＞

「宗教」といった場合には、キリスト教や仏教のような創唱宗教が想起されやすい。しかし一方で生活習慣ともいえる自然にはぐくまれた自然宗教もある。自然宗教に淵源を持ち創唱宗教と習合した宗教形態、さらにそれが沈潜した民間信仰を民俗宗教ととらえ、体系的に理解することを目指す。前期は鍵をなす原風景や祭りを中心に考察する。

＜後期＞

民俗宗教は人々が無意識のうちにそれにのっとって生きている見えない宗教である。それらは祭り、年中行事、人生儀礼、神語などに表現されている。それらを解説したうえで、民俗宗教として存在している日本宗教の特性を検討する。ビデオなどを多用してその様子に接するよう努める。また現代社会の中でどのように存在しているかを検討して、普段意識することのない死や性の問題を考察する。

評価方法：学期末の試験またはレポートで評価する。

テキスト名：『日本の民俗宗教』宮塚 準，講談社学術文庫

日 本 の 宗 教 B	うす い あつ こ 薄 井 篤 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

日本には多くの宗教・宗派が存在するにもかかわらず、日常的に明確な信仰を自覚する機会は少ない。しかし日本人は宗教心が薄いとは断言できず、生死観、人間関係、組織構造などの日本文化、社会において宗教的感性や心情が果たす役割は大きい。

諸宗教の成立や展開の過程を把握するようつとめて、日本の宗教の歴史と構造的特徴を検討する。

<後期>

前期の概説を踏まえ、諸宗教が日本社会の中でどのように相互関連していったのかを考察する。日本の宗教への理解を深めたい。

評 価 方 法：期末にレポートまたは試験で評価する。

テキスト名：教室で指示

日 本 の 宗 教 C	うす い あつ こ 薄 井 篤 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

近代初めに出現し、今日多様な活動を展開している新宗教運動に焦点をあてる。特に代表的な教団を選んで、社会変動との関わり、権威との衝突や展開過程などを考察する。

<後期>

新宗教運動を中心にしながら、現代の日本社会において宗教がどのように機能しているのかを考察する。

評 価 方 法：期末にレポートまたは試験で評価する。

テキスト名：『現代日本の宗教社会学』井上 順孝編，世界思想社

日 本 芸 能 史 A ・ B	いけ だ こう いち 池 田 弘 一	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

日本芸能の流れを近世を中心にたどる。浄瑠璃・歌舞伎に重点を置いて、その諸相をビデオ・テープなどによって鑑賞し、その特質を具体的に学習する。多くの基礎的な知識を身につけてほしいという願いから欠席・遅刻には厳しく対処し、5回の欠席を重ねた者には単位を認めない。また実際の舞台の鑑賞を義務づけ、その報告文の提出を求める。

<後期>

「仮名手本忠臣蔵」を素材として、浄瑠璃・歌舞伎を中心に、古典芸能の特質を考察する。テキストによる学習にとどまらず、実際の舞台も見、演奏も聞くような体験的な学習を求める。テキスト本文の書写や指定した舞台の鑑賞も義務づける。したがって時間と労力を必要とする講座であることを認識のうえで選択してほしい。欠席・遅刻に厳しく、5回の欠席を重ねた者には単位を認めない。

評価方法：期末に提出の研究作品、随時提出の観劇報告・書写ノートの評価に、出席点・平常点を加味して総合評価する。

テキスト名：『校註 仮名手本忠臣蔵』土田 衛他，笠間書院

日 本 語 学 特 論 A	く の まりこ 久 野 マリ子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		集中講義

日本語史研究に現れる代表的な資料に触れつつ、日本語の変遷を概観する。日本語は我々が共有する共通の文化的基盤である。日本語を通して日本の歴史や文化を継承し、日本語のフィルターを通してものを見聞きする。この日本語史の実態は複雑で様ではない。例えば、都のある地域の方言がその時代の標準的な日本のことばとなる。そのため、日本語史には奈良・京都のことばと、江戸・東京のことばが現れる。外国語の影響や書きことばと話しことばの関係交渉にも注意を払う必要がある。

評価方法：出席者数による。

大人数なら、最終授業時に試験。

少人数ならレポート。

参考図書：『新訂 国語史要説』金田 弘・宮腰 賢，秀英出版

日 本 語 学 特 論 B	いわもと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

我々は、「主語・目的語」という文法用語をよく使うが、これらが何を意味するかということを考えることはあまりない。前半は、日本語と日本語とは異なった特徴をもつオーストラリア、コーカサス、パプア・ニューギニア、東南アジア、アメリカインディアン言語などを比較対照しながら「主語・目的語」とは何かを概説する。授業形式は、一方的な講義とはせず、学生に問題や課題を解きながら理解を深めてもらうことにする。

後半は、前半に導入した概念を用いて日本語の幾つかの文法現象を分析する。扱う現象は、受動文、使役文、難易文等。

日 本 倫 理 思 想 史 演 習	くぼ た こう めい 窪 田 高 明	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

今年度のテーマは、「日本人は神をどのようにして創ってきたか」である。日本の神々は、基本的には整備された教理や聖典を持たない。そこで、それに代わるものとして神がいかにして出現し、そこに祀られるようになったかを説明する神話と歴史である「縁起」の研究が重要となる。縁起には、日本人が神に対して持つ感覚、観念が、未整理ではあるがナマの形で示されている。

今年度は、そのような神社縁起の中から代表的なものを選び、日本人の宗教意識の根幹とその思想的広がりについて学ぶ。

レポーター形式の授業。テキストは、コピーを用意する。

評 価 方 法：前半後半でレポートを提出する。

コミュニケーション論 A	いた 板	ば 場	よし 良	ひさ 久	4 単 位
					1 ~ 4 年
					通 年

<前期>

コミュニケーションを学問として研究するための基礎概念を学ぶ。とくに、以下のテーマを検討する。

- (1) コミュニケーションを研究する意義は何か。
- (2) コミュニケーションとは何か。
- (3) コミュニケーション研究の種類と実例。

<後期>

前期の内容に基づいて、以下のテーマを検討する。

- (1) コミュニケーション理論とは何か。
- (2) 実践コミュニケーション教育。
- (3) 現実社会のコミュニケーション。

評 価 方 法：期末試験、授業中の口頭発表、出席状況を考慮し評価する。

テキスト名：『コミュニケーション論入門』橋本 満弘・石井 敏編著，桐原書店

コミュニケーション論B・C	イー 李	グァン 光	ホ 鎬	4 単 位
				1 ~ 4 年
				通 年

<前期>

前期は、コミュニケーションの概念やモデル、コミュニケーション学の体系などに関する基礎的な内容と自己概念・対人知覚・対人魅力など対人コミュニケーションの諸側面に関する内容を中心に講義を行う。

<後期>

後期は、小集団コミュニケーション、組織コミュニケーション、マス・コミュニケーション、国際コミュニケーション研究分野における主要な論点を中心に講義を行い、多様な水準におけるコミュニケーションの重要性と問題点について学習する。

評 価 方 法：前後期各一回の期末試験と出席状況を考慮し評価する。

テキスト名：『コミュニケーション論入門』橋本 満弘・石井 敏編著，桐原書店、1993

コミュニケーション論D・E	こばやしとしお 小林登志生	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

コミュニケーションが社会科学の一分野として確立されたのは比較的近年であるが、その扱う基本的問題は、有史以来人間の歴史と共に存在してきたものである。本講義ではコミュニケーションの基本概念（メッセージの伝達、マス・メディア、異文化間、国際間）について学習する。

<後期>

前期に学習したコミュニケーションの基本概念を踏まえて、後期は特に日本や欧米先進諸国が達成してきた高度情報化社会の諸問題に焦点を当て、従来のヒューマン・コミュニケーションとの関わりについてグループ研究を行いその発表を中心に授業を進めて行く。

評 価 方 法：1. 授業、特にクラス討論への積極的参加。

2. グループ発表における貢献度。

3. レポート、試験の成績。

テキスト名：『グローバル・コミュニケーション』ハワード・フレデリック，松柏社

コミュニケーション論F	まつもと しげる 松本 茂	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

コミュニケーション学とはどのような学問であり、他の学問領域とはどのように関連し、なぜ必要かについて考察する。とくに、以下のようなトピックについて検討する。

コミュニケーション研究の意義、コミュニケーションの基礎概念、コミュニケーション研究の領域、コミュニケーションのレベル、言語コミュニケーションの概念、非言語コミュニケーションの概念。

<後期>

前期に学習した内容を基礎に「コミュニケーション・コンピタンス」をテーマに、英語教育とコミュニケーション、国語教育とコミュニケーション、日本語教育とコミュニケーション等について考察する。

評 価 方 法：定期試験またはレポート。

テキスト名：未定

異文化コミュニケーション論 A	く 久	め 米	て 昭	ゆ 元	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

様々な社会的事象とりわけ人と人との関わりを文化とコミュニケーションという二つの視点から捉え直して考える授業である。最初に文化とコミュニケーションの基本概念と相互関係について考察し、その後コミュニケーション行動に影響を与える様々な文化的要因について考察する。出席と討論への積極的参加を求める。

評 価 方 法：定期考査、レポートを中心に評価し、プレゼンテーションの成績を加味する。

テキスト名：『異文化コミュニケーション・ハンドブック』石井 敏他編著，有斐閣
『異文化コミュニケーション・キーワード』古田 暁監修，有斐閣

<後期>

異文化接触の様々な場面（留学・ホームステイ、国際会議、国際協力、外交交渉など）でしばしば起きている異文化衝突や摩擦現象について考察する。受講生にもグループでプレゼンテーションをしてもらう予定である。出席と討論への積極的参加を重視する。

評 価 方 法：定期考査、レポートを中心に評価し、プレゼンテーションの成績を加味する。

テキスト名：『異文化コミュニケーション・ハンドブック』石井 敏他編著，有斐閣
『異文化コミュニケーション・キーワード』古田 暁監修，有斐閣

異文化コミュニケーション論B・C	ホーリー シーバート カワカミ HOLLY SIEBERT KAWAKAMI	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

In this course we will carefully study basic ideas and principles of intercultural communication while trying to apply them to real life situations. Examples will be chosen according to their relevancy to the students' lives. Any students with overseas experience will be encouraged to discuss and recount what they learned and observed. We will also try to include examples from many countries, – not just the U.S. And we will look at Japan's diversity, both regional and ethnic. Methods will include case study discussion, videos, role plays and group presentation. Students may use either Japanese or English for discussion although written assignments are required in English.

<後期>

In this semester we will continue to apply our principles to more complicated situations and expand our understanding of cultural differences. We may include issues such as environment and development, advanced and developing countries, and what it means to be a global citizen. Again, various methods will be used with the emphasis being on discussion and interaction. There will be regular reading assignments and homework throughout the year.

Most materials and videos will be in Japanese. You may use either Japanese or English for discussion in class; However, homework and tests must be in English. You will not be graded on English, only on the content.

評価方法: Homework 30%

Attendance / Participation 20%

Tests 50%

テキスト名: HANDOUT FROM INSTRUCTOR

異文化コミュニケーション論D	ふる た ぎょう 古 田 暁	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

異文化コミュニケーションの理解にとって不可欠な、人間と社会の関係、人間の成長とコミュニケーション、文化の概念といった事項を考えたい。

4年生も含めて $\frac{2}{3}$ 以上講義に出席していない者は、試験資格はないものとみなします。

<後期>

前期の講義を土台として、異文化コミュニケーションにおける言語と非言語、個人内コミュニケーションと小グループコミュニケーション、組織コミュニケーション、異文化レトリックなどについて考えたい。

4年生も含めて $\frac{2}{3}$ 以上講義に出席していないものは、試験資格はないものとみなします。

評価方法: 筆記試験を各学期行います。

テキスト名: 前・後期とも『異文化コミュニケーション』古田 暁監修著, 有斐閣

組 織 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 A	く 久	め 米	て る	ゆ き 元	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

「組織があって人がいる」のではなく、「人が集まって組織ができる」という立場で、人と集団、人と組織、人と社会とのかかわりをコミュニケーションの視点から考える。そのための前提となる知識として戦後の日本の政治、経済、社会を概観し、同時に外国との比較を行う。授業の形態としては講義と小集団による討論を中心とする。

評 価 方 法：定期試験、小集団討論への参加度

テキスト名：『人生にとって組織とは何か』加藤 秀俊，中央公論社

『感性のコミュニケーション』W. ハウエル・久米 昭元，大修館書店

<後期>

組織の内外における情報の流れ、意思決定のプロセス、成員の動機づけ、実行方法、地域社会とのかかわりなど、前期で学んだことが実際にはどうなっているのかを調べるために受講生にフィールドワークに出してもらい、数回の中間発表を経験した後、最終的には、しっかりしたレポートに仕上げてもらう。

評 価 方 法：フィールドワークの報告およびレポート

テキスト名：『人生にとって組織とは何か』加藤 秀俊，中央公論社

『感性のコミュニケーション』W. ハウエル・久米 昭元，大修館書店

組 織 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 B	な 長	お 尾	て る	や 哉	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

semanticsとpragmaticsの関係について、pragmatics（語用論）の理論と方法について概説。

<後期>

literal meaningとconversational suggestionの区別と相互関係の説明。

組織コミュニケーションという主題に関する従来の行動科学的アプローチの欠陥について概説し、新しい語用論的分析の成果のいくつかを紹介する。

評 価 方 法：期間中に3回程度のテストを実施する。

テキスト名：教材（プリント）

メディア・コミュニケーション論	たけ 武	いち 市	ひで 英	お 雄	4 単 位
					1 ～ 4 年
					後 期

われわれは今日、メディアとの接触なしに毎日を過ごすことはほとんど不可能に近い。それならば、主体性ある受け手として接触する必要があるだろう。メディアの情報に振りまわされない賢い受け手である。そのためにはまずメディアとはどのような特徴をもっているのかを学んでいこう。メディアを通した報道では現実とどう違うのか知る必要がある。さらにニュースの特色やメカニズムについて学んでいく。

後半部分は、前半のテーマをさらに一步進めて、メディアの“しにせ”である新聞報道の特性について考察していく。これをふまえて各種メディアの総合的な活動としてのジャーナリズムが今日どのような意味合いをもっているのかを解明していく。そしてさらに大きな枠組みとしての国際報道がメディアの報道姿勢によって、各国ぐにのんびとにどのようなイメージを与えるのかを考えてみる。グローバル化時代のメディアの使命を模索する。

評 価 方 法：書評などの提出物、テスト、出席状況などを基に総合的に評価する。

テキスト名：『マス・コミュニケーション概論』清水 英夫、武市 英雄ほか共著，学陽書房
『グローバル・コミュニケーション』武市 英雄ほか共訳，松柏社

国際ビジネス・コミュニケーション論	ホーリー HOLLY	シーバート SIEBERT	カワカミ KAWAKAMI	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

<前期>

The major subjects for the first semester are individualist/collectivist societies, high and low context ways of communication, values and their impact on doing business, and diversity.

<後期>

In the second semester we will study the steps leading to synergistic solutions, positive and negative communication patterns, preparation programs for working in diverse groups, and decision making techniques.

This is a one-year course. Students may not enter in September. Most materials and videos will be in Japanese. You may use either Japanese or English for discussion in class; however, homework and tests must be in English. You will not be graded on English, only on the content.

評 価 方 法：Homework 30%

Attendance / Participation 20%

Tests 50%

テキスト名：HAND-OUTS FROM INSTRUCTOR

非言語コミュニケーション論	とう 東	やま 山	やす 安	こ 子	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

非言語コミュニケーションとは、顔の表情、視線、手振り、身振り、姿勢、相手との距離感、縄張り意識、空間概念、時間概念、声の質や調子、服装等、様々な言葉によらない伝達手段によるコミュニケーションを指す。前期はこれら多岐にわたる非言語コミュニケーションの諸相について概説する。欧米のみならずアジア文化圏も、またその中の地域差、年齢差、男女差も考察する。学生は関連図書を読み、観察眼をみがき、積極的に授業に参加することを期待する。授業は学生参加型で、出席は大変重視される。

<後期>

後期は基本的な非言語コミュニケーションに関する知識と前期で養った観察眼を基に、関心のあるテーマについてグループでプロジェクトに取り組んでもらう。講義は非言語研究の調査方法や研究成果について概説する。学生はプロジェクト案の提出、調査の実施、中間発表などを経て、最終的にプロジェクトに関するレポートを仕上げることを課題とする。授業は学生参加型で行なわれ、出席は大変重視される。

評価方法：前期：書評（レポート或は発表）+H.W.カード+スピーチ

後期：グループ発表+グループレポート+評価カード

▶出席重視

テキスト名：『非言語コミュニケーション』マジョリー・F・ヴァーガス，新潮選書

異文化コミュニケーション演習	く 久	め 米	てる 昭	ゆき 元	4 単 位
					3 ～ 4 年
					通 年

<前期>

私たちが異質の文化的背景をもった人々（必ずしも外国の人々と限らない）と交流・接触する際に直面するさまざまな問題について理論と実践の両面から考察し、討論する。特に、言語とその言語を使う人々の背後にある価値観、思考様式や心理特性について日本人のそれらと比較・対照しながら、具体的な事例をもとに分析する。そのような学習を通して自分自身が探究してみたい研究テーマを模索し、方法論を学ぶ。

<後期>

前期で模索した各自の研究テーマについてフィールドワークを行い、数回にわたる中間報告と参加者間の討論・批評を通して研究を進め、最終的には、しっかりしたリサーチペーパーを完成させる。（他の選択としてビデオ作品の制作とそのレポートを提出することも可能である。）

評価方法：数回のミニレポート、口頭発表、リサーチペーパーで評価する。

テキスト名：『異文化コミュニケーション・ハンドブック』石井 敏 他編，有斐閣

『普及学講義－イノベーション時代の最新科学』宇野 善康，有斐閣

コミュニケーション演習	ふる 古	た 田	ぎょう 暁	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

前期において、鈴木孝夫「日本語と外国語」（岩波新書）を読み、議論をする。
後期において、熊倉千之「日本人の表現力と個性」（中公新書）を題材として、コミュニケーションについて考え、話し合う。

評価方法：レポート。

テキスト名：Beyond Culture Edward T.Hall, Doubleday(Anchor Book)

比較文明論	そめ 染	や 谷	よし 臣	みち 道	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

冷戦終結後の世界政治は文明的区分に規定されているというハンチントンの主張は比較文明論に一石を投じた。しかし、彼の所論は依然として欧米中心主義に立ったパラダイムの中にあり、そうしたパラダイムではこれからの世界は成り立たない。ではどのようなパラダイムが要請されるか。旧来の伝統を「翻訳」し直している欧米自身の努力やアジアの文化に見られる共生思想に照らして、彼の言説「文明の衝突？」の問題点を検討する。

<後期>

人類の歴史は諸文明の交流史であった。文明は本来つねに交流し、一つのまとまった実体を構成するものではない。しかし、現実には、ハンチントンの所論に典型的に見られるように、文明は実体視され、交流を妨げられてきた。そのために文明間格差が生じ、今日に至って人類の生き残りに重大な脅威となっている。これまでの文明の交流と阻害の実態を概観し、今後、どう交流させ、人類の共有財産とするべきか、などについて考える。

評価方法：何回かの小レポートに加えて各学期末に試験を実施する。成績評価にあたっては出席状況も十分に考慮する。

テキスト名：『比較文明と歴史哲学』神山 四郎，東京；刀水書房、1995
Huntington,S.,The Clash of Civilizations?,Foreign Affairs,vol.72,no.3,1993.
(なお、この論文は他の論文とともにプリントとして配付する)

東 西 の 思 想 A ・ B	くぼ 窪 樋	た 田 笠	こう 高 勝	めい 明 士	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

窪田 高明

この講義では、近代思想の形成に視点を置く。日本は西欧以外の国で逸早く近代化を成し遂げた国である。日本の近代は西欧とどこか異なっていたのか。また、日本は、西欧の近代化をどのように理解していたのか。この問題を、江戸時代から近代にかけての日本、ヨーロッパ、そしてできればアジアの思想家の思想を比較して考えてみたい。

関連する科目（日本倫理思想、日本近代思想史、倫理学など）を履修済みであるほうが理解しやすい。

評 価 方 法：学期末に試験を行う。形式は記述式。

	前 期	後 期
A	樋 笠	窪 田
B	窪 田	樋 笠

テキスト名：使用しない。

樋笠 勝士

《比較とは何か》

日常生活において、我々は「私はあのひととこんなに違う」とか「こんなに似ている」などによく考える。レストランに行って「あれよりこれがいい」と考える。何故だろうか。比較の欲望は人間にとって本性的なものなのであろうか。以上の原理的局面から考えたいと思う。

《比較思想の実際》

さしあたり、中村元『比較思想論』や和辻哲郎『風土』を参考にしつつ、東西の思想に通底するものと、その個性を担うものについて考えたい。

テキスト名：『比較思想論』中村 元，岩波書店
『風土』和辻 哲郎，岩波文庫

東 南 ア ジ ア の 宗 教 と 文 化	そめ 染	や 谷	よし 臣	みち 道	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

東南アジアの文化（文明）は古来のアニミズムの上にヒンドゥー教、仏教、イスラム教、キリスト教、道教、儒教などの諸宗教が重なり、混交する中で形成されてきた。したがって東南アジアを理解するためにはまずそれぞれの宗教を理解しなければならない。前期はそれら諸宗教の教理などを概観し、それらがどのように東南アジアにやってきたのか、さらにどのような文化を形成してきたのかなど歴史的経過を概説する。

<後期>

諸宗教の集積からなる伝統は今日の東南アジアの文化全体を支えている。そこでインドネシアやタイを始めとした東南アジア諸国の国家形成、政治文化、社会階層、芸術、思想などを概観し、それらに諸宗教がどのように関わっているかについて映像を用いながら分析を試みる。また、世界的な広がりを持つ宗教を媒介として地球規模の文化的ネットワークを形成しうる有利さと、近代世界システムに対応する上での問題点についても考える。

評 価 方 法：何回かの小レポートに加えて各学期末に試験を実施する。成績評価にあたっては出席状況も十分に考慮する。

テキスト名：『宗教人類学』佐々木 宏幹・村武 精一編、新曜社、1994

国 際 経 済 概 論 A	と 戸 門 一 衛 かど かず えい	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

20世紀末の今日、経済活動はますます国境を超えてグローバル化している。このような新しい潮流の中で、国際経済の主要問題を解明する。具体的には、①第2次世界大戦後から今日に至る世界経済システムの形成と変容を理解した上で、21世紀に向けた資本主義の行方について考察する、②国際貿易、国際投資、国際金融、経済発展と低開発、経済成長と地球環境などの基本的テーマを理論的に整理し、さらに今日のかつ具体的な問題を分析する。

<後期>

ヨーロッパのEU、北米のNAFTA、アジア・太平洋圏のAPEC、南米のMERCOSURなど地域経済統合を通じた世界経済の再編過程を分析する。各地域の直面する具体的な経済問題も考察する。前期・後期ともに使用テキストは特定しない。しかし、各テーマにつき参考文献を適宜、指示する。

評 価 方 法：出席と試験による総合評価を行う。

テキスト名：参考文献を適宜、指示する。

国 際 経 済 概 論 B	う ち だ しげ お 内 田 茂 男	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

国際経済概論では、日本とのかかわりを柱にして国際経済を変動させているメカニズム、アジア諸国の発展と課題を中心に、経済発展のメカニズムを講義の対象とする。前期で国際経済学の基礎的な理論をごくやさしく講義する。前期の主要内容は、為替変動、経常収支決定のメカニズム、貿易が行われる理由、経済摩擦の要因など。

<後期>

経済発展とはなにか、途上国がテイクオフするにはどんな条件が必要か、どのようなメカニズムで発展するのか、東アジア諸国がなぜ発展したか、それに日本がどうかかわっているのか、を講義の一つの柱にしたい。

もう一つの柱として世界経済の中の途上国という視点で、エネルギー制約、地球温暖化を含む環境問題、貧困、人口問題などをこれまでの取材や議論の経験を踏まえて考えてみたい。

評 価 方 法：前期、後期とも期末テストを行う。出席はとらない。

(注) 読むべきテキストは講義の中で適宜紹介する。

国 際 経 済 概 論 C	たか 高	なし 梨	かず 和	ひろ 紘	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

現代国際経済を、財・サービス、資本、労働、技術・情報が国境を越えて移動する枠組みとして捉え、各側面について概説する。財・サービスの国際取引である国際貿易についてはその実情、金融的基礎としての外国為替市場の成り立ち、為替レートの決定、また国際資本移動については、国際金融市場の構造とその理論的基礎、さらに多国籍企業の動きを概説する。労働移動や技術・情報の国際移動については、後期に扱う予定である。

<後期>

現代国際経済の概要を、前期の講義の復習として概説したうえで、現代国際経済の特徴でもある地域経済協力機構すなわちAPEC、EU、NAFTA等や、世界大でのWTO自体の実態と特徴を概観する。つぎに講義の比重を発展途上国に移し、発展途上国を含む貿易と投資のさらなる自由化促進の前提として、発展途上国国民経済の発展を実現するための経済協力、技術協力のあり方を、21世紀の国際経済を視野に入れて論じたい。

評価方法：定期試験の結果で、評価する。

テキスト名：『ゼミナール国際経済入門』伊藤 元重，日本経済新聞社

国 際 機 構 概 論 A	うま 馬	はし 橋	のり 憲	お 男	4 単 位
					3 ～ 4 年
					通 年

<前期>

グローバル化が進む今日、「地球市民」としての感覚と発想を育てるために、最も普遍的な国際機関である国際連合の意義、活動、あり方について市民の立ち場から考える。国連が取り扱う平和、開発、環境、人権という「地球的規模の問題」は、私たち毎日の暮らしとどのように結びついているのか。そして問題の解決にあたるのは誰か。

<後期>

国際連合の真の姿について理解を深めるために、「模擬国連」を実践する。生徒が各国政府に成り代わり、特定の問題をテーマに安全保障理事会や総会を実際にシミュレーションする。地球的規模の問題がどのように発案され、協議され、解決されるか、その過程を参加型の学習を通して学ぶ。

評価方法：学期末レポート

テキスト名：プリントを配付し、参考書は、その都度、指定する。

国際機構概論 B・C	た　　じま　　しげ　　お 田　島　重　雄	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

前期は、国際機構とは何か、その歴史的背景及びその成果、今日の国連の成立、その基本的考え方、形態、権限機能などを考える。そのうち、特に安全保障理事会の動向、平和維持の具体的活動（PKO）などに注目すると共に、経済社会理事会の諸活動、関連する各種専門機関の機能・活動などにも触れる。この際専門機関の例としてユネスコをあげ、その機能・活動の詳細を述べる。

<後期>

後期は、国連の地域的下部機構をユネスコの例をあげて説明すると共に、国連以外の各種地域的国际機構の機能・活動を考える。次いで各国政府内の対応する組織（国内委員会）とその活動、さらに関連する民間の国際的組織（NGO）とその活動に触れる。最後に国際機構と日本人の在り方、国際機構職員になるための準備・応募方法にも触れる。

評価方法：重要事項についてレポートの提出を求め評価する。

参 考 書：『国際機構の機能と組織』渡辺 茂己，国際書院 1994

国 際 法 概 論 A	しま　だ　ゆき　お 島　田　征　夫	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

冷戦が終結して久しいが、その後も民族間の対立、経済格差による国際的摩擦など国際社会では争いが絶えない。この授業では、最近の国際的出来事を紹介しながら、国際法の基本問題（国際法の法源、主体、国家承認、条約法、外交関係、海洋法など）について講義し、国際紛争を解決するにあたっての国際法の機能を明らかにするつもりである。

<後期>

前期に引きつづき、この授業では、国際法の各論（個人と国際法、国際責任、国際機構、紛争の解決、安全保障、戦争法と人道法など）を講義する。特に、現代の国際社会で起っている具体的な事例を可能な限り取り上げ、国際法がいかなる役割を果たしているかを明らかにするつもりである。

評価方法：レポートと定期試験の結果により評価する。

テキスト名：『国際法（改訂版）』島田 征夫，弘文堂

国 際 法 概 論 B ・ C	しの 篠 原	あづさ 梓	4 単 位
			2 ～ 4 年
			通 年

<前期>

国際法の基本的性格の理解を目的として講義を行なう。国際社会の歴史・構造・そして国内社会との相違についての検討から、日常接することの多い国内法とは異なる、独自の法現象としての国際法という概念をしっかりと把握してもらいたい。更に国際法の主体としての国家に関する諸規則や、国際法の定立・適用・執行について考察を進めていく。

<後期>

前期の学習を基礎として、国際法の規律が及ぶ具体的分野を取りあげて、その内容や問題点等を明らかにしていく。特に近年大きな前進が見られる核軍縮を含む安全保障のほか、人権・開発・環境という今日的な課題について、時事問題に関連した柔軟な講義をしたいと考えている。

評 価 方 法：学期末に記述試験を2題位出題し、絶対評価で採点する。

テキスト名：『国際法入門』横田 洋三（編），有斐閣

民 族 と 文 化 I A ・ B	ない 内 藤	みさお 操	4 単 位
			1 ～ 4 年
			通 年

<前期>

冷戦後の世界が民族問題に溢れているわけは何か。そもそも民族と文化の関係は今どうなっているのか。民族間の協調の妨げとして文化が機能しているとすれば、文化を全面的に肯定するわけにはいかない。「要するに人間存在の根っここのところを問うものとして民族が問われ、その民族の持つ文化の意味が問われているわけだから存在即民族・文化ということにもなる。この二つは分ち難いが、それでも前期は文化にまず当たってみよう。

<後期>

文化が今地球の文明、地球の行方にとって何であるかをいちおう押えたうえで冷戦後の民族紛争の典型的なケースに限って民族問題を問う。指定文献（プリント）を教室外でいちおう読了しているものとして講義を進めるので、このアサインメンツをこなしていない学生の出席はおことわりする。

評 価 方 法：前期末レポートによる（10枚の制限内）

年度末レポートによる（ ）

その二つの平均で評価

テキスト名：『一語辞典「文化」』柳 父章，三省堂
『民族問題入門』山内 昌之，中央公論社

民 族 と 文 化 II A	なか 中	むら 村	きみ 公	のり 則	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

今年は少し趣向を変え、現代のイスラーム圏に重点を置いた講義にする所存である。前期の授業では、ビデオを見ながら各国の事情を細かく説明していく。開講後、参考すべき書籍類の一覧を配付する。

<後期>

後期はイスラーム・スペイン史を軸に、北アフリカ西部のアル・アンダルスと呼ばれた地域を含めて講義する。参考書が少ない現状に鑑み、教科書は各自確実に入手しておくようにすすめる。

評 価 方 法：第二回の定期試験と読書感想文の成績に基いて評価する。

テキスト名：『アラブの世界』ラフィク・ブスタニほか，集英社

『アラブの歴史一下巻』ヒツティ，講談社

民 族 と 文 化 II B	なか 中	むら 村	きみ 公	のり 則	4 単 位
					1 ～ 4 年
					通 年

<前期>

本講では、イラン及び中央アジアのイスラーム圏を中心に話を進めていく。図書館にイラン映画のビデオが備えられているので、教材として活用して貰う。

<後期>

前期の継続。

評 価 方 法：年二回の定期試験と読書感想文の結果を見て総合的に成績評価を行う。

テキスト名：『トルコ民族主義』坂本 勉，講談社

『そして映画はつづく』キューマルス・プールアフマッド，晶文社

2) 英米語学科専門教育科目

英 語 総 合 講 座 I		12 単 位
		1 年
		前期・後期

<Freshman English (a)／(b)> (4 単位／ 4 単位)

This is an integrated skills course which aims to improve the four skills of speaking, listening, comprehension, reading and writing.

<Reading (a)／(b)> (1 単位／ 1 単位)

In this course various reading materials of short to medium length are read and discussed. Emphasis is placed on reading skills and vocabulary development.

<Basic Writing> (1 単位)

The students learn how to express their thoughts in written English paragraphs and essays. Model paragraphs are presented for analysis. Emphasis is placed on the study of typical paragraph organization patterns and the way pieces of information in them are related.

<Language Lab> (1 単位)

This course aims to improve the overall pronunciation of the students. Various activities are used including repetition, recording and interaction.

英 語 総 合 講 座 Ⅱ		12 単 位
		2 年
		前期・後期

<Oral Communication (a)／(b)> (1 単位／1 単位)

The goal of this class is to improve the students' speaking and listening abilities. A variety of aural materials are used. Students interact in conversations and give individual presentations.

<Media English (a)> (1 単位)

The goal of this class is to develop the students' ability to comprehend television news programs.

<Media English (b)> (1 単位)

The goal of this class is to develop the students' ability to read and understand English newspapers.

<Intensive Reading (a)／(b)> (1 単位／1 単位)

The goal of this course is to read short articles and discuss them. Emphasis is put on comprehension and advanced vocabulary development.

<Extensive Reading (a)／(b)> (1 単位／1 単位)

In this class the emphasis is on reading American short stories and analyzing them.

<Communicative Grammar (a)／(b)> (1 単位／1 単位)

This course is a thorough review of English grammar with an emphasis on the kind of grammar necessary for effective communication in English.

<Advanced Writing (a)／(b)> (1 単位／1 単位)

This course helps to develop the students' ability to write coherent essays in English.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－1）	ひさ 久	いずみ 泉	つる 鶴	お 雄	2 単 位
					3 年
					前 期

First Step to Comprehending Broadcast English

You are requested to listen habitually to broadcast news in English recorded from ABC, CBS, CNN, FEN and BBC, etc, in class and at home. Fundamentals about how to comprehend broadcast news in English will be introduced, such as the importance of background knowledge, finding key words or sentences to grasp the central ideas, the maximum use of "guess work", development of vocabulary and the necessity of constant practice and so on. The characteristics in the styles of broadcast English, set phrases, useful expressions and other rules of news in English will also be explored. Bring to the class two 60-minute cassette tapes of Type I.

評価方法：Précis writing of related newspaper articles, oral reports on the latest radio or TV news, dictation exercises during the class will be evaluated. An end-of-term dictation test will be given on the final day. Attendance is also graded.

テキスト名：Handouts and cassette tapes

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－2）	ソニア SONIA	イーグル EAGLE	2 単 位
			3 年
			前 期

American History and Culture Through Music

This course will present the social and historical trends in the USA from the mid 1800's to the present through a study of the changes in music and music styles. An overview of early church music, Black spirituals and gospel, blues, jazz, swing, country, folk and rock and roll, 60's rock, Latin music and soul will be considered along with the social implications of these trends and changes. Student presentations and papers will be done in three areas : Focus On The Stars, Ethnomusicology (music around the world) and Japanese music. videos and taped music will be used to illustrate the different music styles.

評価方法：The grade will be based on

- a) Classroom discussions and participation
- b) Fluency writing tasks
- c) Student presentations and posters
- d) Written report
- e) Midterm exam

テキスト名：1) *American Music* Eagle, Sonia, Longman
2) Articles prepared by the copy center

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－3）	こばやし 小林美樹	2 単 位
		3 年 期
		前 期

Theme Writing

The goal of this course is to study some basic techniques to write persuasive essays. For this purpose, students will read various kinds of essays and analyze them to learn effective ways of developing ideas. After studying the basic methods of theme development, students will write essays which have a particular purpose, e. g. , evaluation, argumentation, etc.

評価方法：Evaluation will be based on writing assignments and tests.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－4）	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	2 単 位
		3 年 期
		前 期

The Story of English

This course deals with three main areas of the English language. The first part covers the structure of English : grammar, vocabulary, pronunciation, and spelling. The second part examines some uses of English. The third section looks at the history of English from the earliest period up to modern times. This part includes a consideration of the role of English around the world today and compares the two main varieties of English, British English and American English.

評価方法：Attendance, homework assignments, one report.

テキスト名：The English Language David Crystal., Penguin, 1988

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－5）	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	2 単 位
					3 年
					前 期

An Introduction to World Religions

In order to understand diverse cultures in the world today and to use appropriate terminology, students must understand the influence of Christianity, Judaism, Islam, Buddhism, Hinduism, Taoism, Confucianism, and Shinto. After analyzing introductory readings, students will learn to discuss basic values, beliefs, and ideas of these traditions.

評価方法：The grade for the course will be based on class participation and written exams.

テキスト名：Great World Religions Paul McLean, Macmillan Languagehouse

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－6）	いた 板	ば 場	よし 良	ひさ 久	2 単 位
					3 年
					前 期

Basics of Speech Communication

This course is designed for those who would like to learn the basic theory and practice of speech communication. The course consists of three parts：

Part I Argumentation and Debate

Part II Public Speaking

Part III Small Group Communication

During the semester, students are frequently required to make oral presentations about various topics and in various styles. The course, therefore, is best suited for those who are willing to communicate effectively in any given situation.

評価方法：1. Class Participation：20%

2. Quizzes：20%

3. Oral Presentations (individual and group)：60%

テキスト名：No textbook；handouts will be provided whenever necessary.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－7）	ウエンディー WENDY ウィタカ WHITACRE	2 単 位
		3 年
		前 期

American Culture Through Film I

This course will explore aspects of American Culture through recent American films. Students will develop skills of cross-cultural analysis. Themes will include American beliefs values, customs, and gender roles. Evaluation will be based on class participation and written assignments.

評 価 方 法 : Class Participation : 50%
Written Assignments : 50%

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－8）	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	2 単 位
		3 年
		前 期

Gender Identity and Gender Roles

Are the differences between men and women innate qualities ? Or are these differences shaped after birth by the power of environment ? If so, how and when ? If gender differences are determined innately or after birth by environmental forces, what are the social and economic roles expected for men and women of the 21st century ? These are the questions that many social and natural scientists, active feminists, and political and religious thinkers have long addressed to us. This course aims to help students understand controversies over these issues, and take positions on them.

評 価 方 法 : Students will be required to make one group-presentation, to submit several summary essays, and the final paper. Details will be announced at the beginning of the course. Grades will be determined based upon attendance and these assignments.

テキスト名 : *Male / Female Roles : Opposing Viewpoints*, Jonathan S. Petrikin, ed., San Diego : Greenhaven Press, (1995)

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－9）	たなか まきこ 田 中 真紀子	2 単 位
		3 年
		前 期

Learning Strategies in Language Learning

What do learners do to acquire second language competence ? What learning strategies do they use in learning a language ? This course aims at finding answers to these questions by reading the collections of research papers in LEARNER STRATEGIES IN LANGUAGE LEARNING (1987). Our ultimate goal is to apply the ideas presented in the papers to practice and improve the students' learning skills. Students will give a presentation on assigned chapters of the book, and we will all have a discussion to find out the validity of the given strategies. Students are also required to write a research paper to find more about learner strategies.

評価方法 : The grade for the course will be determined based on the following three elements :

1. Oral presentation and the summary of the presentation 40%
2. A research paper 30%
3. Final exam 30%

テキスト名 : *Learning Strategies in Language Learning*, Anita Wenden and Joan Rubin, Prentice Hall International, (1987)

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－10）	ルイス フィリアンテ LUIS FULLANTE	2 単 位
		3 年
		前 期

Contemporary Asian Cultures

Reading and discussion on continuity and change in traditions and values of Asian societies in modern times. The purpose of this course is to provide students with historical and interpretive discussions on social, economic, environment, political systems, urbanization, modernization and westernization of some representative Asian societies like Japan, China, etc.

The class includes several "mini-courses" on topics ranging from marketing to the environment and simulates reading and writing common in American universities.

評価方法 : The grade will be based on class assignments, attendance, participation and individual or small group projects.

テキスト名 : Selected readings will be provided

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－11）

うす い なお と
臼 井 直 人2 単 位
3 年 期
前 期

Basic Public Speaking

This class aims at improving students' critical reading skill as well as basic level speech writing and presentation skill in English. The class activities include 1) Critical reading : By analyzing some reading materials, students are supposed to examine pro and con of social topics, such as the death penalty, US military bases in Okinawa, etc. 2) Speech writing : Based on the reading and class room discussion, students are supposed to construct their opinions in the form of prepared speeches. 3) Short speech presentations and Q&A sessions.

Lecture on basic speech making will be provided as well. Library research maybe required as home work assignments.

評価方法 : Class participation : 30%
Speech manuscripts : 30%
Speech performance : 40%

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－12）

さき やま うた こ
崎 山 詩 子2 単 位
3 年 期
前 期

The Issues in Focus in the U.S.

The problems which face Americans are not problems limited to American society. They are problems which face or will face all nations and more specifically all people in spite of color or race.

This course is intended for the students who wish to deepen their understanding of contemporary social issues of America by identifying them and discussing them openly.

The class will deal with such issues as euthanasia (mercy killing), AIDS, and organ transplants. The students will be given various opportunities to express their opinions in discussion and debate.

Reading materials will be mainly taken from the NEW YORK TIMES and films will be used to illustrate the issues studied.

評価方法 : Class participation : 20%
Oral presentation : 20%
Mid-term paper : 30%
Final paper : 30%

テキスト名 : Handouts will be distributed.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－13）	ロビン イーリース マーキュリー ROBIN-ELIECE MERCURY	2 単 位
		3 年
		前 期

Pulping Fictions : "Contemporising" Classical Literary Figures (Part 1)

This course will be looking at horror figures, which appear in classical Western literature, and will draw comparisons on several aspects with how these figures are treated in modern media (for example, film, video, T.V.books, etc.). There will be discussions on Frankenstein, Dracula, Lucifer (Satan), and others (time permitting).

Attendance and active participation will be crucial for but will not guarantee success in this course.

評価方法 : To be announced.

テキスト名 : Textbook will be announced. In addition, there will be copies of materials provided for which a printing fee is required.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－14）	ゲイリー オーキー GARY OCKEY	2 単 位
		3 年
		前 期

Culture through Fairy Tales and Other Stories

This course will focus on western fairy tales and what they teach about western culture. Different versions of the same story will be compared and analyzed. Western fairy tales will also be compared to Japanese fairy tales. The historical and cultural differences which emerge will then be discussed. Other short stories and myths will also be dealt with in the course.

評価方法 : The grading of this course will be based on preparation, participation, writing assignments, quizzes, a final examination, and a project.

テキスト名 : TBA

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－15）	モ ニ カ MONIKA	シ ル モ イ SZIRMAI	2 単 位
			3 年
			前 期

People and Places In Britain

This course is designed to familiarise students with different aspects of life in Britain. The use of video of real people talking about their work and their private life makes it possible to expose students to a range of different accents from different parts of Britain. Each video programme provides valuable historical and cultural backgrounds of the area as well. Students will have language practice based on the video programmes in order to develop fluency and confidence.

評価方法：Evaluation is based on attendance, classroom participation, assignments and tests throughout the course.

テキスト名：People And Places Viewers' Guide, ISBN 1 85497 149 2, Nick McIver and Bob Marsden, BBC English

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－16）	た か 高	す ぎ 杉	た だ 忠	あ き 明	2 単 位
					3 年
					前 期

How the United Nations Works

This course will provide a study of the United Nations, which was founded in 1945 to keep world order after the Second World War. However, the function of the UN had been paralysed because of the US-Soviet confrontation until the end of 1980's. Now the Cold War was over and it has started working well.

In this course, students are encouraged to study a brief history of the UN and to acquire basic knowledge of its functions. The topics students will pick up in the class include UN peacekeeping and its effort to solve regional conflicts, poverty and the South-North problem, multilateral assistance to developing countries, human rights and humanitarian affairs, building peace through sustainable development, population and food crises and so on. The students are required to choose two topics from these for each of which they will give a presentation.

Another goal of this course is to give a helping hand to those who want to pass a exam of STEP (jun ikkyu) and Kokuren Eiken (A level). Therefore students will strongly be recommended to take these tests in June and October 1997.

A textbook for this course is A Concise Guide to the United Nations and additional handouts will also be provided.

評価方法：The grading for the course will be based on the following standards;

- (1) Two presentations 50%
- (2) Class participation 25%
- (3) Final report 25%

テキスト名：A Concise Guide to the United Nations, 日本国際連合協会

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－17）	ドーン ミヤザキ DAWN MIYAZAKI	2 単 位
		3 年
		前 期

Current American Issues Depicted in Movies

This course is designed to introduce students to some current American topics through the use of documentaries, readings and dialogues from recent American movies. Students will be expected to read transcripts from the documentaries and be prepared to discuss the issues presented. Each week the instructor will supply students with discussion questions which pertain to the readings.

Each topic has a unique set of vocabulary words and phrases which the students will be expected to learn and use during the discussion. Students will be expected to write the answers to short essay questions using these expressions.

At the end of the course students will be expected to give a presentation in which they will talk about a current American topic which will include visuals and handouts.

Topics will include: The Media, Talk Radio, Racial Relations and Religion.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－18）	アーネスト ゴードン ボーマン ERNEST GORDON BORMANN	2 単 位
		3 年
		前 期

American Public Address

The course consists of lectures and discussions dealing with the history and criticism of the rhetorical discourse of the United States and of important rhetorical moments in religious, reform, and political speaking, from Colonial days to the present. The course will include notable speeches of important speakers for major religious, political, and reform movements in U.S.history. Included will be antislavery, women's rights, agrarian grievances, and Progressivism. The course will consist of lectures and class discussions. A course syllabus and schedule will be distributed on the first day of class.

Each student is required to write a short paper due at the midterm and a term paper due on the last scheduled class period. There will be a final examination essay form.

評価方法：The grade for the course will be determined based on the following

1. Class discussions and reports : 20%
2. Midterm paper : 15%
3. Final paper : 25%
3. Midterm exam : 15%
5. Final exam : 25%

テキスト名： *American Rhetorical Discourse, 2nd ed.(1995)*, Ronald Reid, Waveland Press, Inc., Prospect Heights, IL:

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－19）	せき 関	や 屋	やすし 康	2 単 位
				3 年 期
				前 期

English in the Media

This course will give students an overview of the English found in the media : television, radio, newspapers, magazines, films, etc. The aim is to develop student's listening and reading comprehension, critical thinking skills and self-expression.

All of the listening selections are taken from authentic English language television and radio programs. These include news reports, documentaries, talk shows, interviews, commercials, game shows, and dramas.

The reading selections are from popular English newspapers and magazines. We will made a list of topics according to the interests of the students in the class. Students will read the articles at home, analyze them, and be prepared to express their opinions in class. They will also be required to write weekly reports of newspaper articles of their choice.

評 価 方 法 : The grade for the course will be determined based on the following three elements :

- 1. Class Participation : 20%
- 2. Media Journal : 30%
- 3. Midterm and Final Exams : 50%

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－20）	ブルース BRUCE	ホートン HORTON	2 単 位
			3 年 期
			前 期

English Pragmatics : Doing Things with Words

This course introduces students to modern theories of linguistic pragmatics, the study of how language is used in conversation and the principles underlying verbal communication. The course balances lectures with practical activities which help students realize the everyday importance of the concepts being presented. Students are given daily reading and homework exercises which require them to figure how to "do" things with words in English (and Japanese). We cover such major topics in pragmatics as the ways language is "tied" to context, relevance, direct and indirect speech, presuppositions, speech acts, conversational structure, politeness, and relevance theory. The course is challenging but should be especially rewarding for students who are willing to spend time to understand the principles underlying conversation in English and their own language.

評 価 方 法 : The grade for the course will be determined based on the following

- 1. Attendance : 10%
- 2. Home work : 30%
- 3. Mid-term and Final Exams : 60%

テキスト名 : *Doing Pragmatics*, Peter Grundy, Edward Arnold publishers, 1995.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－21）	ブルース BRUCE	ブリンクマン BRINKMAN	2 単 位
			3 年
			前 期

The Universe and You

The model of the universe proposed by astro-physicists has recently been thrown into confusion by paradoxical findings. In this course, we will discuss the current state of our knowledge about the universe. Topics will include planetary science, our sun, the Milky Way galaxy, SETI, dark matter, black holes, the Big Bang, cosmology, the human relation to space in history and fiction, and related topics to be decided by students. Information gathered by ongoing missions, such as the Mars Pathfinder, Hubble Space Telescope, and Galileo, will be incorporated from online resources such as the NASA Homepage.

One objective of the course will be to acquire a better understanding of the human position in the universe.

評価方法：Evaluation will be based on:

- 1. Attendance：20%
- 2. Participation：20%
- 3. Presentations and Debates：20%
- 4. Written Assignments：20%
- 5. Quizzes and Exams：20%

テキスト名：No Text. Readings will be photocopied.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－22）	ポール PAUL	ボズウェル BOSWELL	2 単 位
			3 年
			前 期

Trends in Cognitive Science

This course will survey current trends in a variety of disciplines participating in the cognitive revolution. Students will make oral presentations based on their review of a current breakthrough in a particular field of their choice. The course will be based on lecture, discussion and video. There will be weekly reading assignments primarily from popular and non-technical sources.

評価方法：1. Attendance and participation

- 2. Presentation
- 3. Final examination

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－23）

モーガン ギブソン
MORGAN GIBSON2 単位
3 年
前期

Thinking Metaphorically in English

Though we often try to think and communicate literally, objectively, and rationally, much of our thinking is actually figurative, often implying more than is obvious. Why do people think of life as a game, a trip, a battle, or a path? Why is time said to be money, or a river, or a straight line divided into equal sections? Why is Nature a mother and Time a father? Why is good up and bad down? In this course students will learn to interpret these and many other metaphors that occur in common speech and writing and in ways that we think and experience the world. Some passages from poetry will be cited, but most of the metaphors analyzed in class will be found in ordinary language.

We will examine philosophically the controversial thesis of George Lakoff and Mark Johnson that experience, thinking, and language are inherently metaphorical. Such a study should improve students' skills in understanding, thinking, and expressing themselves in English. They will listen to short lectures, discuss the reading and ideas, give speeches based on their notes in journals, carry on dialogues, and write examinations.

評価方法：The grade for the course will be based on the following：

1. Class participation：25%
2. Journal notes：25%
3. Mid-term and final exams：50%

テキスト名： *Metaphors We Live By*, George Lakoff Mark Johnson, University of Chicago Press, 1980

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－24）

フレデリック ローガン
FREDERICK LOGAN2 単位
3 年
前期

Comparative Culture and the Media

In this course we will read magazine articles (written by myself and others), watch selected videos, and then discuss them. We will talk and write about these articles and videos in terms of each other, and of our own experiences here and abroad. Therefore we should, as the term progresses, better understand and appreciate our own culture and the cultures of others.

評価方法：The grade for the course will be determined based on the following

1. Class Participation: 20%
2. Media Journal: 30%
3. Mid-term and Final Exams: 50%

英語総合講座Ⅲ（Ⅲ E－25）	やす 安	だ 田	えつ 悦	こ 子	2 単 位
					3 年
					前 期

American Literature: Writings of the Founding Fathers

The American psyche is deeply rooted in the ideals of the Founding Fathers. Although the early writings are more historical documents than literature, they are significant as well as helpful for understanding the undercurrents of the American spiritual heritage. This course will help students become acquainted with colonial leaders such as William Bradford, John Winthrop, Cotton Mather, and Jonathan Edwards, as well as Benjamin Franklin, Thomas Paine, and Thomas Jefferson, the heroes of the American Revolution. We will read excerpts from the textbook and discuss the content and the style of each.

評価方法：Assessment will be based on class participation (20%), one oral presentation with a written summary (30%), and a paper at the end of the semester (50%)

テキスト名：To be announced.

英語総合講座Ⅲ（Ⅲ E－26）	おお 大	やま 山	なか 中	かつ 勝	2 単 位
					3 年
					前 期

Intercultural Communication I

The purpose of this course is to introduce Japanese and American interpersonal communication. Japanese and American communication strategies will be analyzed systematically. Students will develop the skills of interpretation of each communication style.

- Contents：1. American Interpersonal Communication in Social Settings
2. Values and Intercultural Communication
3. Value Orientations and Value Changes in Japan and the U. S. A.
4. A review of American Communication Theories

評価方法：Students should do library research and prepare for oral presentations.

The grade for the course will be determined based on the following：

1. Attendance：10%
2. Class Participation：10%
(quality of responses)
3. Oral Presentation：20%
4. Mid-term and Final Exams：60%

テキスト名：Readings in Intercultural Communication, Tsukasa Nishida and William B. Gudykunst, Geirinshobo Publishing Co.

※Magazine and Newspaper Articles

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－27）	ジョン ウェンデル JOHN WENDEL	2 単 位
		3 年
		前 期

Language and Communication

In this course, students will become familiar with the concepts and approaches to the analysis of language and communication, also known as discourse analysis. After first defining the field of discourse analysis, we will consider the linguistic elements in discourse (for example, cohesive devices and information structure), and then expand our view to include interactional, social, and cultural aspects of language use (for example, speech act theory, politeness, and the ethnography of communication). Throughout the course, we will evaluate the usefulness of the approaches to discourse analysis examined for second-language learners.

Each class period will include a mini-lecture followed by group discussions and activities. Some of the activities will include the analysis of language data that has been collected by students. In addition to several short quizzes and a final exam, each student will be expected to give a class presentation and write a report.

評価方法：The course grade will be based on

- 1. Participation : 20%
- 2. Written report : 20%
- 3. Presentation : 20%
- 4. Quizzes and final exam : 40%

テキスト名： *Introducing Discourse Analysis*. Nunan, David. (1993). Penguin.
Additional readings may be handed out to students during the course.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－28）	さか た かおる こ 坂 田 薫 子	2 単 位
		3 年
		前 期

Developing English Skills Through Listening I.

This course will focus on developing listening comprehension and critical thinking skills. Students will be required to listen to academic lectures to get used to their language style, speed of delivery and depth of subject matter. Students will also be required to read one short story a week and present a summary in English to the class.

評価方法：The grade will be based on

- 1. Class Attendance and Participation in Discussion : 30%
- 2. Written and Oral Presentation : 20%
- 3. Final Exam : 50%

テキスト名： *Contemporary Topics*, David Beglar & Neil Murray, Longman
Collected Modern Short Stories, Mallory Fromm, Macmillan

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－31）	ひさ 久	いずみ 泉	つる 鶴	お 雄	2 単 位
					3 年
					後 期

2nd Step to Comprehending Broadcast English

Weak forms, assimilation, linking, ellipsis and other sound changes in broadcast English will be explored. Students will be encouraged to memorize some of the typical reduced forms and rapidly spoken sound clusters. Attention will be focused mainly on finding and learning a number of useful and practical strategies to overcome the difficulties in listening comprehension of broadcast English from all possible aspects. Bring to the class two 60-minute cassette tapes.

評価方法：The grade will be determined by class participation, mini-tests, presentations, precis writing, and the end-of-term exam. Attendance is also graded.

テキスト名：Handouts and cassette tapes

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－32）	ソ ニ ア SONIA	イ ー グ ル EAGLE	2 単 位
			3 年
			後 期

Native North Americans

A survey of Native American cultures of USA and Canada including an overview of Indian race origins, migration and pre-historic cultures. Emphasis will be placed on Indian tribal groups from various culture areas such as the arctic, sub-arctic, plains, West Coast, woodland and Southwest areas. A consideration of Native American technology, social organization, religion, art and the present status of reservations will be included. Films will be used to illustrate the culture areas studied.

評価方法：The grade will be based on

- a) Classroom workbook assignments
- b) Midterm exam
- c) Student presentations and posters

テキスト名：1) *Native American Heritage* Garbarino, Merwyn S, Little, Brown & Co, Boston
2) Student Workbook prepared by copy center.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－33）	たなかまきこ 田中真紀子	2 単 位
		3 年
		後 期

Interpersonal Communication

Throughout this course, students will learn to think critically about what constitutes sound, ethical interpersonal communication and what skills and strategies are important for us to be interpersonally competent communicators. Students will be learning practical concepts and skills that will guide them in making good choices for communicating more effectively with intimates, close friends, family members, and professional colleagues. Additionally, we will explore implications of cultural differences and mass media for their impact on relationship in modern society. Students are encouraged to participate actively in class discussion.

評価方法：The grade for the course will be determined based on the following.

1. Attendance 10%
2. Homework 10%
3. Oral presentation 30%
4. Summary of presentation 20%
5. Final exam 30%

テキスト名：UNDERSTANDING INTERPERSONAL COMMUNICATION, Seventh Edition, Richard L. Weaver II, Addison-Wesley 1996

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－34）	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	2 単 位
		3 年
		後 期

World Englishes

The English language has spread throughout the world to become an international language. In addition to countries such as the U. S. , the U. K. , Canada, and Australia, it is widely used as a second or official language in many countries of Africa and Asia : Singapore, India, South Africa, the Philippines. In these countries English serves a variety of social purposes, including government, business, education, as well as being used as a medium for literature. In this course we will look at some of the linguistic and social features of these "new" Englishes.

評価方法：Attendance, homework assignments, one report.

テキスト名：Photocopied articles.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－35）	まつ 松 い 井 けい 佳 こ 子	2 単 位
		3 年
		後 期

Two American Tragedies of Desire

Students will analyze and act out two plays by the American playwright Tennessee Williams, "A Streetcar Named Desire" and "Suddenly Last Summer" in order to understand the art, structure, and thematic implications of drama, and to develop expressive qualities of speaking English.

評価方法：The grade for the course will be based on class participation and written exams.

テキスト名：① *A Streetcar Named Desire*, Tennessee Williams, 金星堂
 ② *Suddenly Last Summer*, Tennessee Williams, 金星堂

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－36）	ブルース BRUCE ホートン HORTON	2 単 位
		3 年
		後 期

English Generative Phonology

This course introduces students to modern theories of phonology, with a concentration on English phonology and with many comparisons to Japanese. The course briefly reviews English phonetics and then moves on to a description of phonological processes, syllable structure, distinctive features, phonological rules and phonotactics, and stress and rhythm. The major goals of the course are getting students (a) to understand the nature of the English sound system and (b) to see how phonological problems are treated in linguistic theory. The course is challenging but should be especially rewarding for students who are willing to spend some time understanding the sound patterns of English.

評価方法：The final grade is based on attendance, unit examinations, and the final examination. Many extra-credit projects are available for the diligent student.

テキスト名： *Phonology: Theory and Description*, Andrew Spencer., Blackwell, 1996.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－37）	ウエンディー WENDY ウィタカ WHITACRE	2 単 位
		3 年
		後 期

American Culture Through Film Ⅱ

This course will explore aspects of American culture through recent American films. Students will develop skills of cross-cultural analysis. Themes will include American beliefs, values, customs and gender roles. Evaluation will be based on class participation and written assignments.

評価方法：Class participation 50%
Written assignments 50%

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－38）	かわしまこうへい 川島浩平	2 単 位
		3 年
		後 期

The Family, Kinship, and Marriage in Contemporary America

Having observed many conflicts over and within the family in the contemporary USA, some critics argue that the American family is seriously jeopardized. Others claim, however, that despite the seeming crises of conjugal and parental relationships, the family still remains a solid and viable foundation of US society. Which position reflects the actual condition of today's American family more accurately? This course attempts to answer this question by examining issues surrounding the American family of today. In so doing, this course takes both positive and negative assessment of the institution into consideration.

評価方法：Students will be required to make one group-presentation, to submit several summary essays, and the final paper. Details will be announced at the beginning of the course. Grades will be determined based upon attendance and these assignments.

テキスト名：The Family in America: Opposing Viewpoints Viqui Wagner, ed., (San Diego: Greenhaven Press, 1992)

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－39）	たなかまきこ 田中真紀子	2 単 位
		3 年 期
		後

Contemporary Social Problems in the U.S.A.

In this course, students will observe some typical social problems that affect people's lives in the U.S.A. Topics to be dealt with include sex-related social problems; alcohol and other drugs; crime and criminals; violence; poverty; prejudice and discrimination; problems of public education; and family disorganization. Students will study these social problems from a sociological point of view. Reading materials will be mostly from *Social Problems* (8th ed. by William Kornblum et al. Prentice Hall, 1995).

Students are encouraged to participate actively in class discussion.

評価方法：The grade for the course will be determined based on the following five elements:

1. Attendance 10%
2. Homework 10%
3. Oral presentation 30%
4. Summary of presentation 20%
5. Final exam 30%

テキスト名：Copies of books and articles will be provided throughout the course.

A printing fee will be requested.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－40）	ルイス フィリアンテ LUIS FULLANTE	2 単 位
		3 年 期
		後

American Culture and Tradition

This course explores how Americans behave but also what they believe. American philosophies of education and marriage, family life; the American outlook in life in general; and the American dream.

The goal of this course is to introduce students to the lifestyle, attitudes, customs and traditions which are characteristically American through readings of short articles, viewing films, discussion and writing.

評価方法：The grade will be based on attendance, participation and a short written report.

テキスト名：Reading Materials will be provided by Professor

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－41）	うす 臼 い 井 なお 直 と 人	2 単 位
		3 年 期
		後 期

Topics of Language Awareness

Our images towards human languages tend to be fixed as our common knowledge and are strongly retained in society. Many people maintain that English is a logical language while Japanese is vague. The view of Japan as a monolingual society has been expressed by politicians in various occasions. Some scholars criticize the popularity of English in Japan as 'English Language Imperialism' and urge to use 'pure' Japanese. This class provides students with opportunities to face these common beliefs of language critically and aims at enhancing awareness towards language. Students are supposed to 1) take part in a short debate over various language related topics, 2) read about language issues critically and discuss them, and 3) prepare a speech based on the class discussion and make a short presentation.

評価方法：Class participation：40%
Speech manuscripts and performance：60%

テキスト名：Handouts will be provided.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－42）	さき 崎 やま 山 うた 詩 こ 子	2 単 位
		3 年 期
		後 期

Families in the U.S.

The family, which has been one of the foundations of American society, is going through changes as the bases of economic relations change and as value change follows on. These changes in the family have brought up positive and negative outcomes.

The course attempts to consider them through concrete themes as a new style of family, the single parent, adoption of children, and child abuse in the family. It also tries to create opportunities for the students to think of these problems as their own future issues.

The students are encouraged to establish their viewpoints and express their positions.
Reading materials will be taken from THE 21ST AMERICAN FAMILY (Macmillan Languagehouse) and THE MARRIAGE AND FAMILY IN AMERICA (Gakushobo). Films will be used to illustrate the areas studied.

評価方法：Class participation：20%
Oral presentation：20%
Mid-term paper：30%
Final paper：30%

テキスト名：Handouts will be distributed.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－43）	ロビン イーリース マーキュリー ROBIN - ELIECE MERCURY	2 単 位
		3 年
		後 期

Pulping Fictions: "Contemporising" Classical Literary Figures (Part 2)

"Pulping Fictions" continues by looking at Shakespearean and Arthurian figures in classical literature, and will draw comparisons on several aspects with how these figures are treated in modern works (for example, film, video, T.V. books, etc.). Discussions will hopefully cover figures in Shakespeare's Much Ado About Nothing, Henry V, Othello along with those found in the Arthurian Legend such as "King Arthur", "Sir Lancelot", "Mordred", "Morgan Le Fay", and others (time permitting).

ATTENDANCE AND ACTIVE PARTICIPATION WILL BE CRUCIAL FOR BUT WILL NOT GUARANTEE SUCCESS IN THIS COURSE.

評価方法：TO BE ANNOUNCED

テキスト名：Textbook will be announced. In addition, there will be copies of materials provided for which a printing fee is required.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－44）	ゲイリー オークキー GARY OCKEY	2 単 位
		3 年
		後 期

The American West

This course will analyze what to some was, "The taming of the West," and to others was broken promises, murder, and misery. Different points of view in expansion and colonization will be critiqued. Situations similar to the American west in other parts of the world will also be looked at. Included in the course will be the American cowboy, outlaws, religious and political tensions, and the west today.

評価方法：The grading of the course will be based on participation, preparation, quizzes, writing assignments, and a class project.

テキスト名：TBA

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－45）	モ ニ カ シ ル モ イ MONIKA SZIRMAI	2 単 位
		3 年
		後 期

English for Computer Users

This course is designed for students who are interested in modern technology, especially in computers. The basic technical knowledge students will acquire will also be useful outside the course, for example when buying their own computer. Students will also learn about what computers can be used for and how. Throughout the course, there will be a strong emphasis on vocabulary acquisition and word-building techniques. Students will also have language practice based on listening and reading tasks in order to develop fluency and confidence.

Each week, one class will be conducted in a regular classroom, the other in the computer room so that students can get some hands-on experience.

評価方法：Evaluation is based on attendance, classroom participation, assignments and tests throughout the course.

テキスト名：Infotech - English for Computer Users ISBN 0 521 45980 X, Santiago Remacha Esteras, Cambridge University Press

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－46）	た か す ぎ た だ あ き 高 杉 忠 明	2 単 位
		3 年
		後 期

How The United Nations Works

This course will provide a study of the United Nations, which was founded in 1945, to keep world order after the Second World War. However, the function of the UN has been paralysed because of the US-Soviet confrontation until the end of 1980's. Now that the Cold War is over and it has started working well.

In this course, students are encouraged to study a brief history of the UN and to acquire basic knowledge of its functions. The topics students will pick up in the class include UN peacekeeping and its effort to solve regional conflicts, poverty and the South-North problem, multilateral assistance to developing countries, human rights and humanitarian affairs, building peace through sustainable development, population and food crises and so on. The students are required to choose two topics from these on which they will give a presentation.

Another goal of this course is to give a helping hand to those who want to pass a exam of STEP (jun ikkyu) and Kokuren Eiken (A level). Therefore students will strongly be recommended to take these tests in June and October 1997.

A textbook for this course is *A Concise Guide to the United Nations* and additional handouts will also be provided.

評価方法：The grading for the course will be based on the following standards;

- (1) Two presentations 50%
- (2) Class participation 25%
- (3) Final report 25%

テキスト名：A Concise Guide to the United Nations, 日本国際連合協会

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－47）	ド ー ン ミ ヤ ザ キ DAWN MIYAZAKI	2 単 位
		3 年
		後 期

Current American Topics Depicted in Movies

This course is designed to introduce students to some current American topics through the use of documentaries, readings and dialogues from recent American movies. Students will be expected to read transcripts from the documentaries and be prepared to discuss the issues presented. Each week the instructor will supply students with discussion questions which pertain to the readings.

Each topic has a unique set of vocabulary words and phrases which the students will be expected to learn and use during the discussion. Students will be expected to write the answers to short essay questions using these expressions.

At the end of the course students will be expected to give a presentation in which they will talk about a current American topic which will include visuals and handouts. They will also be expected to write an essay in which they relate how current events are being depicted in American movies.

Topics will include: Japan as it is depicted in American movies, Cults, Hollywood, Death Penalty, the Military, and Jury Duty.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－48）	くわ ばら かず き 桑 原 和 生	2 単 位
		3 年
		後 期

Topics in Language and the Study of Mind

Human languages have many special properties that distinguish them from so-called "animal languages" and from arbitrary systems of communication that might be invented. One characteristic property of human language is its "creative aspect," the fact that its mechanisms allow for constant innovation, free from control of identifiable stimuli. The central idea in modern linguistics is that our language ability is stored in the brain as a set of unconscious patterns that provides a basis for the creative aspect of language use.

Our objective is to study the fundamental properties of human language and its relation to the nature of mind. Topics included are: What are the fundamental properties of human language? What contribution can the study of human language make to understanding of human mental processes? etc.

評価方法：Grades will be based on the class participation, oral presentation, and essays.

テキスト名： *Patterns in the Mind : Language and Human Nature*, Ray, Jackendoff, Havester Wheatsheaf

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－49）	ブルース BRUCE	ブリンクマン BRINKMAN	2 単位
			3 年
			後 期

Environmental Issues

The success of the human species has led to a situation where the air, water, soil, and even the spectrum of light reaching the earth's surface has been altered by human activity. These changes threaten to destroy us. In this course, we will discuss the environmental changes that are occurring, why they are occurring, and ideas about how people can best respond.

Environmental Issues involve many fields, such as agriculture, biology, chemistry, economics, physics, politics, international relations, and ethics, to name a few. Topics will include the ozone layer, global warming, habitat destruction, overpopulation, nuclear power, pollution, fossil fuels, renewable energy, and other related topics to be decided by students. Discussion debate, differences of opinion, and original thinking will be encouraged.

評価方法：Evaluation will be based on：

1. Attendance：20%
2. Participation：20%
3. Presentations and Debates：20%
4. Written Assignments：20%
5. Quizzes and Exams：20%

テキスト名：ENVIRONMENT TODAY Dr Trisha Greenhalgh, Longman(1994)

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－50）	ポール PAUL	ボズウェル BOSWELL	2 単位
			3 年
			後 期

Trends in Cognitive Science 2

This course will continue the survey of current trends in the cognitive sciences. Students will be required to write a paper, ideally based on the oral presentation made in the first semester. One group project will also be required. There will be weekly reading assignments primarily from popular and non-technical sources.

評価方法：Grades will be based on：

1. Attendance and participation
2. Group project
3. Paper
4. Final examination

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－51）	フレデリック ローガン FREDERICK LOGAN	2 単位
		3 年
		後 期

Comparative Culture and the Media

In this course we will read magazine articles (written by myself and others), watch selected videos, and then discuss them. We will talk and write about these articles and videos in terms of each other, and of our own experiences here and abroad. Therefore we should, as the term progresses, better understand and appreciate our own culture and the cultures of others.

評価方法：The grade for the course will be determined based on the following

- 1. Class Participation: 20%
- 2. Media Journal: 30%
- 3. Mid-term and Final Exams: 50%

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－52）	モーガン ギブソン MORGAN GIBSON	2 単位
		3 年
		後 期

The Art of Reasoning : An Introduction to Logic

In learning to think and express ourselves clearly and truthfully we will reason together, often in dialogues, sometimes in more general discussions. We will examine propositions. definitions. claims. qualifications. evidence, inferences, induction, deduction, syllogisms, enthymemes, warrants, validity, contradictions, fallacies, refutations, and other aspects of argumentation. Examples from many areas of experience will be analyzed in a critical, creative, philosophical, and friendly search for truth. Differences between Japanese and Western habits of thinking will be considered. Students will also listen to short lectures, give short speeches based on their notes in journals, discuss the reading and ideas, and write examinations.

評価方法：The grade for the course will be based on the following：

- 1. Class participation：25%
- 2. Journal notes：25%
- 3. Mid-term and final exams：50%

テキスト名：Metaphors We Live By, George Lakoff Mark Johnson, University of Chicago Press, 1980

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－53）	やす 安	だ 田	えつ 悦	こ 子	2 単 位
					3 年 期
					後 期

American Literature: The American Renaissance

The nineteenth-century American literary scene is sometimes referred to as the American Renaissance. There emerged a number of great writers such as Emerson, Thoreau, Poe, Hawthorne, and Melville. This course will familiarize students with these writers by examining their writings and their styles. Students will form teams and each team will lead a class discussion on the subject it has chosen and prepared, in English. Active participation in class discussion is required.

評価方法：Assessment will be based on class participation (20%), one oral presentation with a written summary (30%), and a paper at the end of the semester (50%).

テキスト名：To be announced.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－54）	おお 大	やま 山	なか 中	かつ 勝	2 単 位
					3 年 期
					後 期

Intercultural Communication II

The purpose of this course is to introduce Japanese and American interpersonal communication. Japanese and American communication strategies will be analyzed systematically. Students will develop the skills of interpretation of the each communication style.

Contents : 1. Constructing A Theory of Intercultural Communication : The promise and Paradox
2. The Intercultural Communication Workshop : Foundations, Development and Affects
3. Similarities In Social Penetration For Intraand intercultural Close Friendships

評価方法：Students should do library research and prepare for oral presentation.

The grade for the course will be determined based on the following

1. Attendance : 10%
2. Class Participation : 10%
(quality of responses)
3. Oral Presentation : 20%
4. Mid-term and Final Exams : 60%

テキスト名：Readings in Intercultural Communication Tsukasa Nishida and William B. Gudykunst
Geirinshobo Publishing Co.

※Magazine and Newspaper Articles

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－55）	ジョン ウェンデル JOHN WENDEL	2 単位
		3 年
		後 期

Language and Psychology

In this course, students will become acquainted with the main theoretical approaches to psychological consideration of language acquisition and language use. After a brief historical overview of the field of psycholinguistics, we will in turn examine approaches to language acquisition (for example, transformational grammar, information processing, Vygotskian), language production and comprehension processes, and the relationship between language and culture. Special consideration will be given to looking at issues in second language acquisition.

Each class period will include a mini-lecture followed by group discussions and activities. In addition to several short quizzes and a final exam, each student will be expected to give a class presentation and write a report.

評価方法：The course grade will be based on

Participation: 20%

Written report: 20%

Presentation: 20%

Quizzes and final exam: 40%

テキスト名： *Introduction to Psycholinguistics*. Steinberg, Danny. (1991). . Longman.

Additional readings may be handed out to students during the course.

英語総合講座Ⅲ（ⅢE－56）	さか た かおる こ 坂 田 薫 子	2 単位
		3 年
		後 期

Developing English Skills Through Listening II .

This course will focus on developing listening comprehension and critical thinking skills. Students will be required to listen to a dialog or discussion of an issue of international appeal to gain an understanding of American values and culture. Students will also be required to read one short story a week and present a summary in English to the class.

評価方法：The grade will be based on

1. Class Attendance and Participation in Discussion : 30%

2. Written and Oral Presentation : 20%

3. Final Exam : 50%

テキスト名： *Face the Issues*, Carol Numrich, Longman

Collected Modern Short Stories Vol. II, Mallory Fromm, Macmillan

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－１）	ソニア SONIA	イーグル EAGLE	2 単 位
			4 年 期
			前 期

Readings and Films on Ethnology

This course will include lectures and student presentations on cultures around the world. A neo-evolutionary approach will be used to study hunting and gathering bands, horticultural and pastoral tribal societies, early kingdom states and peasants societies. Emphasis will be placed on environment, level of technology, social organization, ideology and culture change. Ethnographic field methods and descriptions will be used to understand different people and cultures. Films will incorporated into the course on cultures from various socio-economic levels.

- 評 価 方 法：The grade will be based on
- a) Student presentations
 - b) Poster sessions
 - c) Student generated quizzes
 - d) Book Report
 - e) Extra work for absentee seniors

テキスト名： *Profiles In Ethnology*, Service,Elman, Harper & Row.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－２）	すぎ 杉	やま 山	はじめ 肇	2 単 位
				4 年 期
				前 期

Economic Growth and Human Development

We are now faced with global new issues which pose us crucial problems to solve. All these problems are concerned with human security whose concept has come to appear recently. Without development, as you can imagine, there won't be any prospect for lasting peace. For a long time, development has been measured by an increase of economic growth. But nowadays development progress is conceived to be people-centered, equitably distributed and environmentally and socially sustainable. The paradigm shift in favour of sustainable human development is still in the making. So we'll study the meaning of development for our society divided between the have and the have not. And we'll try to understand, in the class, a new-born paradigm for 21st century.

- 評 価 方 法：Evaluation will be based on attendance (10%), oral presentaion (10%), class discussion (30%) and a report (50%)

テキスト名： *HUMAN DEVELOPMENT REPORT* the United Nations Development Programme (UNDP) , Oxford University Press, 1996

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－3）	こばやし としお 小林 登志生	2 単位
		4 年
		前 期

Conversational and Reading Skills

This class aims at broadening reading and conversational vocabulary and developing reading skills in English. The students are required to actively participate in class discussions to enhance the skills already acquired. Besides a textbook a number of video and handout materials are used.

評価方法：1. Class participation 20%

2. Active participation in and contribution to discussions 50%

3. Quiz and Exams 30%

テキスト名：*Beyond Language-Cross-Cultural Communication* Deena R. Levine, Mara B. Adelman, Prentice-Hall of Japan. Inc.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－4）	さか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単位
		4 年
		前 期

U.S.Diplomatic Policy Toward Asia

In this course, we will examine the historical and contemporary aspects of America's relationship with the Asian region, mainly China, Japan, Korea and Southeast Asia. There will be lectures and discussions on American diplomatic traditions toward Asia and its policy, with a focus on the post-World War II period.

Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class and write two papers (One mid-term, one final). Assignments are to be written in English. Details will be provided at the first meeting so attendance is recommended.

評価方法：Minimum attendance is required, but evaluation will be based mainly on the two papers.

テキスト名：Text will be announced later. Printing fees will be required.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－5）	うす い なお と 臼 井 直 人	2 単 位
		4 年
		前 期

Critical Public Speaking

This class aims at improving students' critical reading skill as well as speech writing and presentation skill in English. The class activities are divided into three parts. 1) Critical reading : By reading newspaper articles, etc. , students are supposed to analyze pro and con of current social topics, such as retaining maiden names after marriage, the Japan US Secirity Treaty, etc. 2) Speech writing : Based on the reading and class-room discussion, students are supposed to construct their opinions in the form of prepared speech. 3) Speech presentation and Q&A session. Library research may be required as home work assignments.

評 価 方 法 : Class participation : 30%
Speech manuscripts : 30%
Speech performance : 40%

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－6）	ゲイリー オーキー GARY OCKEY	2 単 位
		4 年
		前 期

Culture Through Fairy Tales and Other Stories

This course will focus on western fairy tales and what they teach about western culture. Different versions of the same story will be compared and analyzed. Western fairy tales will also be compared to Japanese fairy tales. The historical and cultural differences which emerge will then be discussed. Other short stories and myths will also be dealt with in the course.

評 価 方 法 : The grading of this course will be based on preparation, participation, writing assignments, quizzes, a final examination, and a project. Extra readings and assignments will be provided in order to make up participation points (for legitimate absences).
Students who took Advanced writing from the same instructor are discouraged from taking the course since some of the same stories will be used in this course.

テキスト名 : TBA

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－7）	さき 嶋	やま 山	うた 詩	こ 子	2 単 位
					4 年
					前 期

Families in the U.S.

The family which has been one of the foundations of American society is going through changes as the bases of economic relations change and as value change follows on. These changes in the family have brought up positive and negative outcomes.

The course attempts to consider them through concrete themes as a new style of family, single parent, adoption of children and child abuse in the family. It also tries to create opportunities for the students to think these problems as their own future issues.

The students are encouraged to establish their viewpoints and express their positions.

Reading materials will be taken from THE 21ST AMERICAN FAMILY (Macmillan Languagehouse) and THE MARRIAGE AND FAMILY IN AMERICA (Gakushobo). Films will be used to illustrate the areas studied.

評価方法：Class participation：20%

Oral presentation：20%

Mid-term paper：30%

Final paper：30%

テキスト名：Handouts will be distributed

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－8）	バトリック PATRICK	スケヴィントン SKEVINGTON	2 単 位
			4 年
			前 期

Western Philosophy-From Socrates to Russell

This course will study the main trends in Western philosophy from the Ancient Greeks to philosophers of the 19th and 20th Centuries such as Karl Marx and Bertrand Russell. The aim of the course is for students to examine the ideas of some of the greatest thinkers of the Western World and the movements they started. Students will be expected to complete the set readings, take part in discussions and give short presentations.

評価方法：Class participation and written assignments.

テキスト名：History of Philosophy Dion Scott-Kakures, et al, Harper Collins

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－9）	フレデリック ローガン FREDERICK LOGAN	2 単 位
		4 年
		前 期

Poetry in English

In this course we assume that, the more we know about an art form, the more appreciation and enjoyment we may derive from that form.

So we will read, analyze, and discuss some of the major short poems in the English language--and in so doing hope that these things of beauty will become, for us, joys forever.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－10）	モーガン ギブソン MORGAN GIBSON	2 単 位
		4 年
		前 期

Thinking Ethically About The Environment

What are some principles and non-technical terms used in discussing ethical, social, and political issues concerning the environment? How can we think and communicate in English more clearly, rationally, and persuasively about how to live in relation to "our only world"? What are some ecological philosophies? Students will discuss analytically and critically information and ideas from the textbook and other sources. They will be expected to explain concepts, develop arguments and refutations, write regularly in loose-leaf notebooks, read from them in class, make short speeches, and engage in dialogues with the instructor and other students.

評価方法：The grade for the course will be determined by the following criteria:

- 1. Notebooks (for oral presentations to the class) 25%
- 2. Other participation in class 25%
- 3. Mid-semester exam 25%
- 4. Final exam 25%

テキスト名：Thinking about the Environment: an Introduction to Environmental Ethics, Richard Evanoff, Macmillan Language House

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－11）	はな　ざき　かず　お 花　崎　一　夫	2 単 位
		4 年
		前 期

Intoduction to the Theory of Universal Grammar

The theory of Universal Grammar is central to the concerns of present-day linguistics.

In this course we will survey the general concepts of the theory, particularly its goals of describing the knowledge of language and of accounting for how it is acquired, and the main areas of syntax such as X-bar theory, movement and government.

評 価 方 法：Students will be required to give oral presentations concerning the above topics.

- 1. Class participation 40%
- 2. Presentation 30%
- 3. Written assignments 30%

テキスト名：Chomsky's Universal Grammar/ An Introduction　V.J.Cook and Mark Newson　Blackwell

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－12）	いな　ば　じ　ろう 稲　葉　治　朗	2 単 位
		4 年
		前 期

Language Acquisition

How does a child acquire his / her own language ? Why is it possible ? Some scientists claim that a language is acquired through stimulus and response (empiricism), and others believe in something like a language acquisition device in the human mind / brain which enables language acquisition (nativism). In this course we will be dealing with some interesting aspects of language acquisition. We will first read some introductory articles on this topic. Then the students are expected to form their own position and to give evidence supporting it. References for this purpose will be introduced during class. A knowledge of theoretical linguistics is not necessarily required.

- 評 価 方 法：
- 1. Class participation
 - 2. Oral presentation
 - 3. Written assignment

テキスト名：Language and the Study of Mind　Noam Chomsky, 三修社

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－13）

ポール ボズウェル
PAUL BOSWELL2 単位
4 年
前期

Cross-Cultural Psychology

This course will survey current methods and theory in the field of cross-cultural psychology. Some review of historical background and seminal research will be included. Whenever possible, studies of Japanese culture will be included, however students will be required to review research on a non-Japanese culture as an individual project. These projects will be the basis for an oral presentation and a final research paper. The course is designed as an introduction and requires no previous psychology courses. However, students who register should have a strong interest in the field since many highly technical issues are unavoidable, and a large amount of reading is required.

評価方法：Grades will be based on:

1. Attendance and participation
2. Presentation
3. Research paper
4. Final examination

テキスト名： *Culture and psychology*, David Matsumoto, Brooks / cole

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－14）

かわしま こうへい
川島浩平2 単位
4 年
前期

Homelessness and its Causes

One of the most serious social and economic disorders that plague contemporary American cities is homelessness. This is an ominous threat to urban life not only in the USA, but also in Japan. It is important for us to examine why American society has recently come to suffer the explosion of homeless people, because this examination will reveal the political, economic, and socio-cultural changes that America has undergone since the late-1970s. We will look into mental illness, a lack of affordable housing, family breakdown, alcoholism, and economic factors as potential causes of homelessness in America, and discuss the relative weight of each factor in producing the homeless. It is expected that students understand that homelessness has been caused not by a single cause, but by multiple ones that are mutually related in complicated ways.

評価方法：Students will be required to make one group-presentation, to submit several summary essays, and the final paper. Details will be announced at the beginning of the course. Grades will be determined based upon attendance and these assignments.

テキスト名： *The Homeless: Opposing Viewpoints* Lisa Orr, ed., (San Diego: Greenhaven Press, 1990)

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－15）	いい 飯 じま 島 とし 敏 さだ 禎	2 単 位
		4 年
		前 期

United Nations and International Cooperation

This course will provide students with opportunities to deepen their knowledge and understanding about the United Nations, as well as about its efforts being taken to resolve various world problems and issues through international cooperation among the Member States and in cooperation with various non-governmental organizations throughout the world.

Several topics will be chosen for case studies and for class and/or group discussions. These topics will include, for example, "women's issues" that are dealt with by the UN bodies since after the Fourth World Conference on Women held in Beijing in 1995.

The class will use textbook, videos, and other materials, such as UN documents, newspaper clippings, etc. Students need to read the printed materials relevant to the topics, to do research for oral presentation and to participate in class/group discussions.

評価方法：The grade for the course will be determined by the following criteria:

1. Attendance: 10%
2. Oral presentation: 10%
3. Class discussion: 30% and
4. one report: 50%

テキスト名：A Concise Guide to the United Nations, 10th edition, 1996

（財日本国際連合協会著、株式会社講談社発行）

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－16）	ウ ォ ン WON チ ュ ー CHOO	2 単 位
		4 年
		前 期

English Phonetics and Phonology

The sounds of speech are all around us. We use them, we hear them, we enjoy and suffer from them, and in general we know remarkably little about them. Not from lack of interest or perception, since we are in many ways fascinated by the sounds that we and others utter and immensely skillful at discriminating and interpreting them, but rather from the inherent difficulty of coming to grips with anything so transient. In this course, we will attempt to explain how speech sounds can be pinned down to some extent. Students will be acquainted with such terms as phonemes, syllables, stress patterns, and intonation structure of English.

評価方法：Assessments will be based on:

1. Class participation
2. Oral presentation
3. Summary skills
4. Final exam

テキスト名：English Phonetics and Phonology. 2nd ed. Peter Roach, Cambridge University Press. 1993.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－17）	キース ハリス KEITH HARRIS	2 単 位
		4 年
		前 期

Jobs, Life & Your Future

What do you want to be when you grow up? Will you love your job? Will you hate your boss? In this course we will take a close look at how important your job is to your happiness. Topics will include sexual harassment, karoshi, bullying as well as the good side of working life. Course materials will include newspaper and magazine articles, films, etc.

評価方法：Grades will be based on participation, written reports and homework assignments.

テキスト名：Articles prepared by the copy center

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－18）	キース ハリス KEITH HARRIS	2 単 位
		4 年
		前 期

Contemporary American Television

In this course we will examine popular American television programs as a means of learning about culture and popular lifestyles. We will focus will on the comedies 'Seinfeld' and 'Friends.' These programs have been two of the most popular, in recent years. Both are situated in New York City and feature 20's - 30's 'average' people. Some of the topics that will be discussed are: the environment, love relationships, friendship, humor, and fans.

評価方法：Grades will be based on participation, written reports and homework assignments.

テキスト名：A text will be provided by the instructor

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－21）	ソニア イーグル SONIA EAGLE	2 単 位
		4 年
		後 期

Anthropology and Religion

An anthropological view of religion in culture and society, its origins and functions, will be considered in this course. The theories of scholars such as Tylor, Frazer, Durkheim, Malinowski, Jung and Levi-Strauss will be reviewed. The nature and function of myth, ritual, mana, magic, animism, shamanism, trance states, rites and symbols will be considered and the overall social and psychological functions of religion will be discussed. Some emphasis will be placed on revitalization and messianic movements and their role in the process of culture change. Student presentations and papers will be a part of the course.

評価方法：The course grade will be based on the following criteria:

- 1) An oral presentation based on one of the case studies
- 2) A final paper/exam based on the discussion questions (select 8 out of the 14 discussion questions and write a one page essay on each topic)
- 3) Classroom participation

テキスト名：Selected Readings (copy center-fee)

- a) Theory
- b) Case Studies
- c) Student Workbook

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－22）	すぎやま はじめ 杉 山 肇	2 単 位
		4 年
		後 期

A New Global Vision of Human Progress

The economic growth school's tacit assumption has dominated development thinkings for decades. But recently emerged a new development thought. Today, it is widely accepted that the real purpose of development is to enlarge people's choices in all fields-economic, political, cultural. Seeking increases in income is one of the many choices people make, but it is not the only one.

In this class, we'll follow the evolution in development thought toward a new development paradigm, and deal with various agendas which require a new framework of international cooperation in such fields as security, peace, international organization, social development, etc.

Finally, we'll herd for having a new global vision of human progress.

評価方法：Evaluation will be based on：

1. Attendance：10%
2. Oral presentation：10%
3. Class discussion：30%
4. Report：50%

テキスト名：Reflections on Human Development Mahbub ul Haq，Oxford University Press

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－23）	こばやしとしお 小林登志生	2 単位
		4 年
		後 期

Conversational and Reading Skills

This class aims at broadening reading and conversational vocabulary and developing reading skills in English. The students are required to actively participate in class discussions to enhance the skills already acquired. Besides a textbook a number of video and handout materials are used.

- 評価方法：1. Class participation 20%
 2. Active participation in and contribution to discussions 50%
 3. Quiz and Exams 30%

テキスト名： *Beyond Language-Cross-Cultural Communication* Deena R. Levine, Mara B. Adelman, Prentice-Hall of Japan. Inc.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－24）	さかたやすよ 阪田恭代	2 単位
		4 年
		後 期

East Asian International Relations

In this course we will study the historical evolution of international relations in the East Asia-Pacific region, with a focus on the post-World War II period. We will also examine traditional as well as contemporary issues arising from the end of the Cold War.

Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class, make one oral presentation and write one final paper. Assignments are to be written in English. Details will be provided at the first meeting, including deciding presentation schedules, so attendance is recommended. (If you cannot attend the first class for some unavoidable reason, ask someone else to take responsibility on your behalf with a written letter. If this is not possible, leave a note addressed to me beforehand at the English Department Office, Rm. 4105IV)

- 評価方法：Evaluation will be based on：
1. Class participation：10%
 2. Oral presentation：30%
 3. Final paper：60%

テキスト名：To be announced later. Copies will be handed out. Printing fees will be requested.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－25）	うす 臼 い 井 なお 直 と 人	2 単 位
		4 年
		後 期

Speech Communication

The aim of this class is to improve basic public speaking skills in English. The students will be provided with opportunities to practice discussion, speech, and debate on various social topics, such as, pro and con of organ transplants from brain dead donors, textbook screening system, etc. (Topics are subject to change.) The classroom activities include 1) lecture and discussion on a topic, 2) debate on the topic, 3) extemporaneous speech, 4) lecture on some topics of speech communication studies, and 5) prepared speech. Library research and speech writing will be required as homework assignments.

評価方法：1. Attendance：10%
2. Speech manuscripts：30%
3. Speech and debate performance：60%

テキスト名：Handouts will be provided.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－26）	ゲイリー GARY オーキー OCKEY	2 単 位
		4 年
		後 期

The American West

This course will analyze what to some was, "The taming of the west," and to others was broken promises, murder, and misery. Different points of view on expansion and colonization will be critiqued. Situations similar to the American west in other parts of the world will also be discussed. Included in the course will be the American cowboy, outlaws, religious and political tensions, and the west today.

評価方法：The grading of the course will be based on preparation, participation, quizzes, writing assignments, and a class project.
Classroom participation may be made up with extra readings and assignments (in the case of legitimate absences).

テキスト名：TBA

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－27）	き 崎	や ま 山	う た 詩	こ 子	2 単 位
					4 年
					後 期

The Issues in Focus in the U. S.

The problems which face Americans are not problems limited to American society. They are problems which face or will all nations and more specifically all people in spite of color or race.

This couese is contemporary soical issues of America by identifying them and discussing them openly.
The class will deal with such issues as euthanasia (mercy killing), AIDS, and organ transplant. The students will be given various opportunities to express their opinions in discussion and debate.

Reading materials will be mainly taken from NEW YORK TIMES and films will be used to illustrate the issues studied.

- 評 価 方 法 : 1. Class participation : 20%
2. Oral presentation : 20%
3. Mid-term paper : 30%
4. Final paper : 30%

テキスト名 : Handouts will be distributed.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－28）	バ ト リ ック	ス ケ ヴ ィ ン ト ン	2 単 位
			4 年
			後 期

The Bible, the Key to Western Culture

The aim of this course is to acquaint students with the book which has had the greatest impact on Western culture and society in the last two thousand years. The course will look at how the Bible was written and compiled, its main contents and the influence it has had on the English language and Western Art. Students will be expected to read relevant passages of the Bible, take part in discussions and give short presentations.

評 価 方 法 : Class participation, written assignments, final report.

テキスト名 : The Bible - version not yet decided.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－29）	フレデリック ローガン FREDERICK LOGAN	2 単 位
		4 年
		後 期

Poetry In English

In this course we assume that, the more we know about an art form, the more appreciation and enjoyment we may derive from that form. So we will read, analyze, and discuss some of the major short poems in the English language--and in doing so hope that these things of beauty will become, for us, joys forever.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－30）	モーガン ギブソン MORGAN GIBSON	2 単 位
		4 年
		後 期

Ideologies Left And Right

What are some ideologies that powerful motivate many people around the world? How can we understand and effectively use such controversial terms as Individualism, Liberalism, Libertarianism, Conservatism, Marxism, Communitarianism, Capitalism, Pragmatism, Feminism, Humanism, Secularism, Afrocentrism, Cultural Relativism, etc? How can we think and communicate in English more clearly, rationally, and persuasively about such concepts and movements associated with them? Students will discuss analytically and critically information and ideas from the textbook and from other sources. (Though the textbook focuses on ideologies in the United States, they are international.) Student will be expected to write regularly in looseleaf notebooks and to read from them in class.

評価方法：The grade for the course will be determined by the following criteria:

1. Notebooks (for oral presentations to the class) : 25%
2. Other participation in class : 25%
3. Mid-semester exam : 25%
4. Final exam : 25%

テキスト名： *Campus Isms : What Americans Believe and Why*, Paul McLean, Macmillan Language House

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－31）

はな ざき かず お
花 崎 一 夫2 単 位
4 年
後 期

Broadcast News

In this course, we will focus on broad-cast news. We will mainly listen to the programs on the BS channel and discuss the topics of the news and if time permits, we will also read some related newspaper articles and analyze them.

Therefore, students will be required to attend this class on a regular basis. They will also be required to write weekly reports concerning the topics of broadcast news and the newspaper articles which we take up in class.

評価方法：1. Class Participation：30%
2. Written Assignments：30%
3. Mid-term and Final Exams：40%

テキスト名：To be announced later.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－32）

いな ば じ ろう
稲 葉 治 朗2 単 位
4 年
後 期

Language Acquisition

In this course we will read some articles concerning language acquisition. In order to avoid discussions which are exclusively philosophical or conceptual, we will focus on arguments based on empirical data. The students are expected to read some relevant articles and to posit topics for discussion. Textbook selection will be based on the interest and the background knowledge of the students.

評価方法：1. Class participation
2. Oral Presentation
3. Written Assignment

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－33）	ポール ボズウェル PAUL BOSWELL	2 単 位
		4 年
		後 期

Cross-Cultural Psychology 2

This course will continue to survey current research in cross-cultural psychology focusing on specialized fields of psychology, for example, ethical development, cognitive style, language acquisition and nonverbal behavior. Students will make oral presentations based on reviews of research in a specialized field of their choice.

評価方法：Grades will be based on：

1. Attendance and participation
2. Presentation
3. Research paper
4. Final examination

テキスト名： *Culture and Psychology* David Matsumoto Brooks Icole

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－34）	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	2 単 位
		4 年
		後 期

AIDS: Danger and Preventive Measures

This course focuses on one of the most horrified life-threatening diseases among contemporary Americans, AIDS (acquired immuno-deficiency syndrome), and introduces students to some of the most frequently discussed topics on the epidemic, including: whether AIDS is a serious problem for heterosexuals, or for women; whether AIDS is a moral issue; how the spread of AIDS can be prevented.

評価方法：Students will be required to make one group-presentation, to submit several summary essays, and the final paper. Details will be announced at the beginning of the course. Grades will be determined based upon attendance and these assignments.

テキスト名： *AIDS: Opposing Viewpoints* Michael D.Biskup & Karin L.Swisher, eds.
(San Diego: Greenhaven Press, 1992)

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－35）	いい 飯 じま 島 とし 敏 さだ 禎	2 単 位
		4 年
		後 期

Achieving Equality between Women and Men

In this course, the class will look at important achievements that the United Nations made in the fields related to the rights and status of women, particularly, such as the one that resulted in adoption of "Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women" in 1979. The convention serves as the basic framework for formulation and adoption of relevant legislation by a national government. The class will also look at the outcome of the Fourth World Conference on Women in Beijing in 1995 that was put forward for action by governments, international organizations, NGOs, and by all other entities concerned. Students will deepen their understanding of the current situation of various outstanding issues and of further actions needed to be taken nationally and internationally in order to eliminate various obstacles that still remain and prevent from achieving the equality between women and men.

The class will use textbook (extracts to be provided), videos and other materials, such as UN documents, newspaper clippings, etc. Students need to read the materials, to do research for oral presentation and to participate in class/group discussions.

評価方法：The grade for the course will be determined by the following criteria:

1. Attendance: 10%
2. Oral presentation: 10%
3. Class discussion: 30%
4. One report: 50%

テキスト名：“Platform for Action and the Beijing Declaration - Fourth World Conf. on Women, 4-15 Sept. 1995,” (United Nations Department of Public Information, 1996,), 178p.
“Woman: Looking Beyond 200,” (United Nations, New York, 1995), 126p.

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－36）	ウ WON オン チュ ー CHOO	2 単 位
		4 年
		後 期

An Introduction to Generative Phonology

Phonology is the branch of linguistics which investigates the ways in which speech sounds are used systematically to form words and utterances. This course introduces basic concepts of phonological theory placed within the framework of current, mainstream generative phonology. Students will explore topics ranging from the classical phonemics to contemporary nonlinear generative phonology.

評価方法：Assessments will be based on:

1. Class participation
2. Oral presentation
3. Summary skills
4. Final exam

テキスト名：An introduction to phonology. Francis Katamba, 1989. Longman

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－37）	キース ハリス KEITH HARRIS	2 単 位
		4 年
		後 期

Interracial, Cross-cultural & Homosexual Relationships

This course will take a close look at the historical treatment of homosexuality, and other non-traditional relationships, in various countries and cultures. The historical study, of literature and official records, will be followed by an analysis of modern ideas toward these topics. Course materials will include various reading assignments, some films and other sources related to the issues involved.

評価方法：Grades will be based on participation, written reports and homework assignments.

テキスト名：Articles prepared by the copy center

英語総合講座Ⅳ（ⅣE－38）	キース ハリス KEITH HARRIS	2 単 位
		4 年
		後 期

Television's Impact on Society

This course will be somewhat similar to Contemporary American Television, but will be much broader in scope. In this course, several types of programs will be examined, including: sports, MTV, drama, etc. The focus for this semester will be on more in-depth research into the cultural meaning and directions that such popular programs imply.

評価方法：Grades will be based on participation, written reports and homework assignments.

テキスト名：A text will be provided by the instructor.

英 語 学 概 論 A	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語を世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文学、語彙、文法の点からその特徴を解説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

評 価 方 法：授業最終日に試験を行う。

テキスト名： *The Study of Language*, George Yule, Cambridge University Press.

英 語 学 概 論 B	くわ ぼら かず き 桑 原 和 生	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語の言語構造に関わる中心的な研究課題を概説する。特に、英語学と密接な関係にある音声学、音韻論、統語論の基礎を学ぶ。言語資料には、主として英語を用いるが、必要に応じて日本語やその他の言語と英語を比較し、英語の諸特徴を把握するとともに、言語の本質に対する理解を深めることに努める。

評 価 方 法：試験を2回行う。

テキスト名： *Contemporary Linguistic Analysis*, W.O' Grady and M. Dobrovolsky, I & II (2冊),
Newbury House / Shohakusha, 1995.

英 語 学 概 論 C	いし い やす お 石 居 康 男	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語の音韻・語形成・文構造・意味などについて、一般言語理論の観点から、その仕組みや規則性を概説する。英語という言語の研究を通して人間の言語一般の本質に迫ろうとする考え方を身につけてほしい。

評 価 方 法：中間試験と期末試験。

テキスト名： *Contemporary Linguistic Analysis*, W. O'Grady and M. Dobrovolsky, I & II (2冊),
Newbury House/Shohakusha, 1995.

英 語 学 概 論 D	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語を世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文字、語彙、文法の点からその特徴を概説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

試 験：未定

テキスト名：未定

英 語 学 概 論 E ・ I	たか の みち え 高 野 道 枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前期・後期

一般言語学の観点から、英語の音声・音韻、語形成、文構造などの特徴や規則性について解説する。必要に応じて、日本語やその他の言語と英語を比較し、これにより、英語の諸特徴を明らかにし、さらに、人間言語の本質に対する理解を深めることを目標とする。

評 価 方 法：学期の半ばで中間試験、定期試験期間中に期末試験を行う。

テキスト名：Linguistics: An Introduction to Language & Communication, 4th edition,
A.Akmajian, R.A.Demers, A.K.Farmer & R.M.Harnish, MIT Press, 1995.

英 語 学 概 論 F	わた なべ あきら 渡 辺 明	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

一般言語学の観点から、英語の音声、文構造、意味について解説する。特に、その生物学的側面に重点が置かれる。

評 価 方 法：テストを2回行う。

テキスト名：Linguistics: An Introduction to Language & Communication, 4th edition,
A.Akmajian, R.A.Demers, A.K.Farmer & R.M.Harnish, MIT Press, 1995.

英 語 学 概 論 G	たなか ゆうじ 田 中 裕 司	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語の音韻・統語・意味に関わる基本的特性を概説する。明示的な言語分析の方法を学び、実践する能力を身につけることを目標とする。資料は英語を中心とするが、必要に応じて日本語との比較も行う。

評 価 方 法：定期試験（2回）

テキスト名：An Introduction to Language., 5th ed. V. Fromkin & R. Rodman, Holt, Rinehart and Winston, Inc.

英 語 学 概 論 H	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

This course is an introduction to the linguistic structure of the English language. It focuses on English phonology, morphology, syntax, and semantics. Other topics to be covered include language use, a brief history of the English language, and sociolinguistic aspects of modern English.

評 価 方 法：two tests and homework

英 語 学 概 論 J	はやし ゆたか 林 裕	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

英語を世界の中の一言語としてその位置づけを考え、音声、音韻、語形成、文法の点からその特徴を解説する。さらに意味と文脈にかかわる諸問題について述べ、余裕があれば英語の地域的、社会的変動を扱う。

評 価 方 法：授業中に行う中間試験、試験期間中に行う期末試験、および出席、授業参加、提出課題などを勘案して判定する。

テキスト名：The Study of Language, George Yule, Cambridge University Press.

英 語 習 得 法	た な か ま き こ 田 中 真 紀 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

第二言語習得の過程は多くの要因が複雑に絡んでいる。本講座は、社会言語学や心理言語学、第二言語習得研究の理論を基に「学習」はどのように成立するのか、また第二言語習得を可能ならしめている要因は何か理解を深めようとするものである。講義内容については、まず学習心理学の諸説を概観し、第二言語習得研究の基礎である母国語習得の理論、また学習活動の内容、学習者を取りまく社会的要因や情緒的要因、学習者自身の要因（年令、学習スタイル、学習ストラテジー、性格、動機の問題等）を扱う。さらに辞書の使い方やノートの取り方、またreadingやlisteningを通しての効率の良い学習方法を紹介し、検討していく。

評 価 方 法：期末試験とレポートの結果に基づいて行う予定。

テキスト名：未定

英 語 音 声 学 A ・ B	は ら お か し ょ う こ 原 岡 笙 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

まず英語の音声体系を理論的に解説する。次に音素レベルの母音・子音を一つずつ理論と演習を平行させて講義し、発音の仕組みを理解したうえで、実際に発音することによって単語レベルでの調音を習得する。更に、これらの音素が正しく発音されているかを文レベルで認識するためにマザーグースの短い詩を朗読する。この教材で英語の等間隔の強勢リズムの修得をも同時に行う。以上、発音矯正をも含めた音声学演習的な講座で English Pronunciation for communicationの修得も目的とするが、受講者が多い場合は個別指導ができないため、グループによる発音指導になる。教材は理論面と実践面の2種類を使用する。

評 価 方 法：小テスト：20％
筆記試験：80％

英 語 音 声 学 C	せ き や や す し 関 屋 康	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

英語音声学の基礎知識を習得する事を目的とする。まず、調音音声学の観点から、英語の子音、母音を扱い、次に文強勢、リズム、イントネーション、発話における音変化を扱う。特に日本語の音声との違いに注意を払う。また、講義と併せて、実際の発音練習も行う。

評 価 方 法：中間、期末の2つの試験の成績に基づいて行う。

テキスト名：(1) 竹林 滋他『初級英語音声学』大修館
(2) *Manual of American English Pronunciation*, Prator & Robinette, Harcourt Brace Jovanovich.

英 語 音 韻 論	せき や やすし 関 屋 康	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

本講座は英語の音韻構造の基礎知識を身につけることを目的とする。子音、母音、音節構造、音素配列、語強勢、文強勢、イントネーション、歴史的音韻変化、綴り字と発音の関係などを取り上げる。授業では講義だけでなく、与えられた英語のデータをもとに、一般化の規則を発見させるような練習問題を数多く行うので、受講者の積極的な参加が望まれる。

評価方法：中間、期末の2つの試験の成績に基づいて行う。

テキスト名： *The Pronunciation of English: A Course Book in Phonology*, C. Kreidler, Blackwell, 1989.

英 語 生 成 音 韻 論	ブルース ホートン BRUCE HORTON	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

This course introduces students to modern theories of phonology, with a concentration on English phonology and with many comparisons to Japanese. The course briefly reviews English phonetics and then moves on to a description of phonological processes, syllable structure, distinctive features, phonological rules and phonotactics, and stress and rhythm. The major goals of the course are getting students (a) to understand the nature of the English sound system and (b) to see how phonological problems are treated in linguistic theory. The course is challenging but should be especially rewarding for students who are willing to spend some time understanding the sound patterns of English.

評価方法：The final grade is based on attendance, unit examinations, and the final examination. Many extra-credit projects are available for the diligent student.

テキスト名： *Phonology: Theory and Description*, Andrew Spencer, Blackwell, 1996.

英 語 統 語 論 入 門 A	くわ ばら かず き 栞 原 和 生	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

生成文法の基礎を身につける。データに基づき、仮説を立てそれを検証し統語構造を設定する方法、統語分析を学ぶ。英語の構文分析を通して、英語の統語構造を把握するとともに、これまでの言語研究の中で、理論面、実証面で大きな役割を果し、多くの重要な言語事実の発見を促してきた生成文法理論の思考法を理解することに努める。

評価方法：2回試験を行う。

テキスト名：未定

英 語 統 語 論 入 門 B	いし い やす お 石 居 康 男	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

「英語学概論」で概説した諸分野のうち、統語論（syntax）をさらに探求するコース。主として英語の統語構造の分析を通して、生成文法理論の基礎、特にその思考法を身につけてもらうことに主眼が置かれる。段階を踏んで議論を積み重ねる形で講義が進められるので、途中で欠席をするとついていけなくなる。全クラス出席することが必要である。

評 価 方 法：中間試験と期末試験。

テキスト名：未定

現 代 英 文 法 A	はやし ゆたか 林 裕	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

現代英語の構造をきちんと把握して、現実に使われている英語を十分に理解し、適切な英文表現を行うための道具としての文法を身につける。文型の概念の検討から入り、教科書の主な項目から私たちが見逃しやすい点を取りあげて、演習もおこなう。時間の余裕があれば、ブラウンコーパス、LOBコーパスを用いて実例にあたってみる。

評 価 方 法：授業中に行う中間試験、試験期間中に行う期末試験、および出席、授業参加、提出課題などを勘案して総合的に判定する。

テキスト名：A Student's Grammar of the English Language, Sidney Greenbaum/Randolph Quirk, Longman

現 代 英 文 法 B	ブルース ホートン BRUCE HORTON	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

This course is a survey of the grammar of modern English with an emphasis on acquiring an overall knowledge of English and skill in the use of English grammar. The course rapidly reviews a wide range of grammar patterns, especially those that cause problems for non-native students. Much effort is spent on getting students to use sophisticated grammar patterns in their own writing.

評 価 方 法：Final Grades: Normally, final grades are based upon unit tests (25%), essays (40%), the final exam (25%) and attendance (10%).

テキスト名：Understanding & Using English Grammar, 2nd edition, Betty Azar.

現 代 英 文 法 C	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

この科目は我が国における中学・高校の学校英文法で学習した知識を精密化し、現代の英語の文法と語法をより正しく把握することを目的とする。そのために今までの知識や思い込みとのズレを重視し、英文の理解が深まり、的確な英語表現ができるように、役に立つ英文法の勉強をする。なお、この科目で扱う文法事項のいくつかは、大学院の授業科目、「英語学研究Ⅳ」（現代英語語法）で更に詳細に検討される。

評価方法：授業最終日に筆記試験を行う。

テキスト名：A Student's Grammar of the English Language, Sidney Greenbaum/Sir Randolph Quirk, Longman.

現 代 英 文 法 D	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

英語の実際の姿をできるだけ体系的に捕えていく。その上で個々の単語（動詞等）がどのように使われているのかを学び、正確な文法知識を身につけていく。

試験：2回又は3回行う。体系的な捕え方ができているかどうか、及び個々の単語のふるまいが正確に理解できているかどうかを問う。

テキスト名：未定

現 代 英 文 法 E	た なか ゆう じ 田 中 裕 司	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

現代英語の文法と意味の関係を体系的に把握することを主眼とする。文法研究の成果を踏まえ言語現象の背後にある規則性を学ぶ。

評価方法：定期試験（2回）

テキスト名：A Student's Grammar of the English Language, S. Greenbaum & R. Quirk, 1990. Longman.

日 英 語 対 照 研 究	わた なべ あきら 渡 辺 明	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

意味概念構造がどのような統語表現となってあらわれるのかを、日英語で比較する。論文を読んで主要な論点の理解に努めるとともに、具体的なデータを考察して仮説を検証するという作業に慣れることを目的とする。

「英語学概論」履修者に限る。「英語統語論入門」または「英語構文研究」も履修していることが望ましいが、絶対条件ではない。

評 価 方 法：発表とターム・ペーパー

テキスト名：未定

英 語 統 語 論 研 究	いし い やす お 石 居 康 男	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

「英語統語論入門」の続編である。統語論についてさらに学びたいという人のためのコース。「入門」で身につけた生成文法の思考法をもとに、人間言語の諸現象を考察する。授業は演習形式で進める。

評 価 方 法：テストとレポート。

テキスト名：Comparative Syntax Ian Roberts, Arnold, 1996.

英 語 語 法 研 究	くわ ばら かず き 菜 原 和 生	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

例文(1a),(1b)は基本的に同じ意味を持つが、それらは異なる文脈で用いられる。また、(2a),(2b)はいずれも文法的には正しいが、(2b)は(3)の疑問文の答えとしては不適切である。本講座はこうした英語母語話者の背後にある規則、あるいは個々の構文の機能を意識的に学習することで、英語力を養成することを目的とする。あわせて精読の手ほどきをする。

- (1) a. I remember John to be tall and warty.
b. I remember John tall and warty.
- (2) a. I got angry, because John hit me.
b. Because John hit me, I got angry.
- (3) Why did you get angry?

評 価 方 法：宿題と定期試験。

テキスト名：未定

英 語 構 文 研 究	わた なべ あきら 渡 辺 明	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

動詞とその項（argument）との統語的・意味的關係は文理解の上で非常に重要である。前半では、様々な意味關係がどのような形で表現されるかを、具体的な例を通して考察する。文の構成をつかさどる基本的な原理の把握に努めたい。

後半は、倒置などが起こって通常の文とは異なる統語關係を有する構文を扱う。その特殊性とともに、前半でみた文構成の基本的原理との関わりを考えることが重要課題となる。

「英語学概論」履修済の者に限る。

評 価 方 法：クイズとターム・ペーパー（データ収集）

テキスト名：English Verb Classes and Alternations, B. Levin, University of Chicago Press , 1993.

英 語 史	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

英語という言葉が統語的、音韻的にどのような変化をたどってきたのかを概説する。古期英語の文法は現代英語に比べかなり複雑であり、名詞・形容詞の屈折変化等、暗記事項も多く、こつこつと勉強することが必要とされる。「英語音声学」、「英語学概論」を履修していることを前提として授業を進める。

試 験：3 回行う。

テキスト名：未定

社 会 言 語 学 A	ソ ニ ア イ ー グ ル SONIA EAGLE	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

In this course stress is placed on discovering and understanding the social or cultural component of language and language learning and the rule governed nature of language behaviour. The course presents an over view of the field of sociolinguistics, including language evolution, children's language, the Sapir-Whorf hypothesis, speech acts, pragmatics, phatic communication, kenesics, pidgins, creoles and lingua franca. Dialect studies including those related to social class, gender, age and region are reviewed. Also, considered are discourse rules, written and spoken, as well as intercultural variations. Field methods and field studies in sociolinguistics are examined. A consideration of bilingualism, multilingualism and national language planning is included.

評 価 方 法：1）Midterm and final exams (at teacher's discretion)
 2）Short assignments and reports.
 3）Written book report on Japanese linguistics from an article or book written in Japanese.
 (Report to be written in English -- see detailed information on report writing in the student handbook)

テキスト名：1）Language: The Social Mirror, Elaine Chaika.
 2）Student Outline and Handbook printed in the copy room.

社 会 言 語 学 B	ひびや じゅん こ 日比谷 潤 子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		集中講義

言語のヴァリエーションの諸相（地域差・社会階層差・性差・エスニシティ差・年齢差・文体差・場面差）を、英語と日本語を対象にして検討していく。音声・音韻面の現象を中心的に取り扱うが、言語のその他のレベルにおけるヴァリエーションにも触れる。

評価方法：授業の最終日に試験を行う。

テキスト名：追って掲示する。

心 理 言 語 学 A	き の てつ や 佐 野 哲 也	4 単 位
		2 ～ 4 年
		集中講義

ヒトの脳に先天的に存在する文法能力（普遍文法）が幼児の言語発達でどのように働いているかを学ぶ。特に次の点に焦点をおく。

- ①普遍文法の原理が幼児期においても大人と同じようにはたっているのか、初期において大人よりも未熟であるのか。
- ②普遍文法には日本語・英語などの個別言語に対応するためのパラメーター（可変部分）が存在すると考えられるが、それらはどのように習得されるのか。

普遍文法に関する理論である生成文法理論をバックグラウンドとするが、必要な部分は講義で導入する。

評価方法：定期試験（講義最終日）

テキスト名：（参考書として）『英語学の関連分野（心理言語学の章）：英語学体系6』大津 由紀雄（柴谷、津田と共著），大修館書店
Language Acquisition : A Linguistic Introduction, Goodluck, H., Blackwell.

心 理 言 語 学 B	フランシス ジョンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

This course is an introduction to the study of the relationships between language and the human mind. The course begins with an investigation of the various domains of Psycholinguistics and then focusses on three major topics in the field.

The first topic investigated is first language acquisition. The various factors which affect how people acquire their mother tongue are examined.

In the second part of the course, various aspects of how language resides and operates in the mind are studied. These aspects range from the concept of a mental grammar which defines a person's language knowledge to the link between language, thought and culture.

In the concluding part of the course, students examine second language acquisition, second language teaching, and bilingualism.

評価方法：Two multiple - choice examinations.

テキスト名：An Introduction to Psycholinguistics. Danny D. Steinberg, Longman, 1993.

応用言語学	なりたますみふじたいくよ 成田真澄 藤田郁代 ひびやしんこ 日比谷潤子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

成田 真澄（9／20・27・10／4・11）

我々が日常用いている日本語や英語をコンピュータで処理することを「自然言語処理」と呼ぶ。本講座では、自然言語処理の中心的課題である構文／意味解析処理や機械翻訳について概観すると同時に、こういった機械処理の観点から言語の持つ特性を検討する。

評 価 方 法：最終日（第4回目の講義日）の最終時限に行う試験の結果で評価する。

テキスト名：毎回プリントを配付します。

藤田 郁代（11／1・8・15・22）

人間の言語は、高度に組織化された脳の神経機構にその基盤を置いている。脳卒中などによって脳内の言語に関わる領域が損傷されると、「失語症」と呼ばれる言語障害が生ずる。

本講義では、失語症の言語症状を通して、言語情報処理と脳の仕組みとの関係について学ぶ。講義では、視聴覚教材をできるだけ多く用いて、言語症状と脳の病巣を具体的に紹介したいと考えている。

評 価 方 法：試験の結果で評価する。

日比谷 潤子（11／29・12／6・13・20）

社会言語学の分野で得られた知見が、言語教育にどのように応用できるかを検討する。

評 価 方 法：授業最終日に試験を行う。

テキスト名：プリントを用いる

※ 1／10は、休講等があった場合の予備日とする。
日程等の変更を掲示で連絡することがあるので、注意すること。

第二言語習得研究（英米）	せきややすし 関 屋 康	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

テキストを基にこれまでの第二言語習得研究の成果を理解し、問題点、今後の課題を考えていく。トピックスとしては、第一言語習得理論、形態素の習得、音韻の習得、語彙の習得、統語の習得、第二言語習得理論、対照分析、誤りの分析、学習者要因、年齢と第二言語習得の関係、クラスルーム・リサーチなどを取り上げる。

なお、1995年度開講の「応用言語学」（関屋）を履修した学生は同一内容なので履修不可。

評 価 方 法：中間、期末の2つの試験の成績とレポートによる。

テキスト名：(1) *How Languages are Learned*, Lightbown & Spada, Oxford Univ. Press, 1993.
(2) プリント

意 味 論 (英 米)	とく なが み さと 徳 永 美 暁	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

言語の「意味」とは何か。人間は言語を通して何を表現しようとしているのか。日本語はどんな言語なのか、などの究極の問いについて考えながら、本コースでは、日本語の意味分析について学ぶ。クラスでは言語分析をするための知識、文献の読み方、ミニ分析の問題解きなどを通して、言語の構造、意味、語用規則について考える。

試 験：宿題、発表、レポートの総合点。

テキスト名：(1) *Introduction to Contemporary Linguistics Semantics*, Dillon, George (1977).
(2) ハンドアウト

英 語 談 話 分 析	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

Discourse is concerned with the study of the relationship between language and the contexts in which it is used. It describes and analyzes spoken language, such as conversations, classroom interaction, and formal speeches. In addition, it studies the way written texts (newspaper articles, letters, instructions, stories, etc.) are organized. The aim of this course is to come to a better understanding of natural spoken and written English discourse. Some contrasts will be made with Japanese discourse.
(This course is taught entirely in English.)

評 価 方 法：One test, written homework, one report.

テキスト名： *That's Not What I Meant*, Deborah, Tannen 1986.

英語パブリック・スピーキングA	まつ もと しげる 松 本 茂	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

大学教育におけるプレゼンテーション（口頭発表）に焦点をあて、情報の提示、グラフや図表の説明、定義の説明、ブックレポート、質問や議論などを英語で行うための基礎的能力を養成する。ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、ディベートなどの要素も取り入れた授業を展開する。なお授業は主に英語で行う。

評 価 方 法：プレゼンテーション、クラスでの発言、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

テキスト名：未定

英語パブリック・スピーキングB	いた 板	ば 場	よし 良	ひさ 久	4 単 位
					1 ～ 4 年
					後 期

英語スピーチの理論と実践を通じて、自分の考えを深め論理的にまとめ、さらにそれを聴衆に効果的に伝達する能力を養成する。授業以外でのリサーチや練習時間が必要となる。

評価方法：スピーチのプレゼンテーション、他。

テキスト名：必要に応じてプリントを配付する。

討 論 法 I A	まつ 松	もと 本	しげる 茂	4 単 位
				1 ～ 2 年
				前 期

教育訓練ディベートの入門コース。日本語によるディベートの実践を通して健全なるcritical thinking（批判的思考）能力と論理的に討論するための基礎的な能力を養成する。ディベート大会の見学など、学外での学習も行う。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。

評価方法：ディベート、クラスでの発言、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

テキスト名：未定

討 論 法 I B	うす 臼	い 井	なお 直	と 人	4 単 位
					1 ～ 2 年
					前 期

様々な社会的問題をテーマにしたディベートの実践を通じて、大学および知的日常生活に必要とされる批判的思考力・態度、討論を前提とするプレゼンテーション能力の育成をめざす。クラスルームでは基本的なディベート理論のレクチャー・ディスカッション、ディベートの実践練習を行なう。なお、受講者には議論構築のために図書館などにおけるリサーチおよびグループワークが要求される。

評価方法：クラスディスカッションへの参加、ディベート・パフォーマンス、レポートを総合的に評価する。

テキスト名：追って指示する。

討 論 法 II	まつ もと しげる 松 本 茂	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

教育訓練のディベートの初級コース。英語によるディベートの実践を通して論理的に議論を展開する手法を身につける。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。授業は主に英語で行う。

評 価 方 法：ディベート、クラスでの発言、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

テキスト名： *Getting Started in Debate* 2nd ed., Lynn Goodnight, IL: National Textbook Company.

英 語 デ ィ ベ ー ト II	まつ もと しげる 松 本 茂	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

教育訓練ディベートの中級コース。「英語ディベートⅠ」で学習したことを基礎に、さらに高度な議論手法について学習し、なおかつさらに徹底したリサーチを行ったうえで英語ディベートを実践する。授業時間以外にも図書館などでのリサーチやグループワークに多くの時間を割く必要がある。授業は主に英語で行う。

評 価 方 法：ディベート、クラスでの発言、レポート、小テストなどを総合的に評価する。

テキスト名：未定

英語スモールグループ・コミュニケーション	いた ば よし ひさ 板 場 良 久	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語でのディスカッションの進め方、意志決定や問題解決方法、リーダーシップの取り方等を、スモールグループ・コミュニケーションの理論と実践を通じて学習する。授業は平易な英語で行う。

評 価 方 法：考察レポート、グループ・ワーク、グループ・プレゼンテーション、他。

テキスト名：プリントを配付する。

英語コミュニケーション法A・B	はら 原	おか 岡	しょう 笙	こ 子	4 単 位
					2 ～ 4 年
					後 期

音声学演習で習得した母音、子音レベルについての理論と実践を基に、本講ではコミュニケーションの場でより重要な役割を果たしている英語のイントネーションを習得することを目的とする。イントネーション論を演習を通して学ぶことによって、スピーチコミュニケーションの一分野であるオーラルインタープリテーションの技術も身につけ、より英語らしい音声表現の習得を目指す。小説・劇・演説などの一部分を音読し、相手にいかに効果的に自分の意志を伝えることができるかというVerbal Performanceも評価の対象にしたい。

- 評 価 方 法：1. Participation：10%
2. Quizzes：10%
3. Exam：50%
4. Verbal performance 30%

テキスト名：『英語イントネーション論』渡辺 和幸，研究社

C基準の学生のみ

日米コミュニケーション論	こ 小	ばやし 林	としお 登志生	4 単 位
				2 ～ 4 年
				集中講義

わが国は、近年一貫して対米関係を基軸とする国際協調路線をその外交の基盤としてきており、政治・経済は言うにおよばず、社会・文化のあらゆる面で米国の影響を多大に受けている。本講義では、ビデオ、プリント教材を用いて建国以来の米国史の概観を学習し、日本とは全く異質な多民族・複合文化の米国社会の様々な側面および内包している諸問題について理解を深め、両国内の様々なレベルのコミュニケーションの問題についてグループ研究を行い、クラスで発表を行う。

- 評 価 方 法：1. 授業、特にクラス討論への積極的参加
2. グループ発展への貢献
3. 試験の成績等

テキスト名：未定

時 事 英 語 A ・ B	すぎ 杉	やま 山	はじめ 肇	2 単 位
				1 ～ 4 年
				前 期

本講座は、マスメディアで用いられている時事英語の学習を通じて、現代国際社会における諸問題を学び、生きた英語に触れ国際コミュニケーションの方法を習得することを目指す。ここで取り上げるテーマは、人類が共に繁栄し平和を築くにはどうすれば良いのか、岐路に立つ我々の歩むべき道を探ることである。クラスでは積極的な参加が望まれる。

評 価 方 法：授業への参加度、ディスカッション及びレポートにより評価する。

テキスト名：Peace for Our Planet-A New Approach, Akhavan-Majid, R., 金星堂

時 事 英 語 C ・ D	おお まがり しょう いち 大 曲 正 一	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英和辞典だけを頼りに英字新聞やTime, Newsweekといった英文国際情報誌を自由に読みこなすことは実際問題として極めて難しい。かなりの英語力を備えていても、英文記事の背景について幅広い予備知識がなければ、その正しい理解はとうてい覚束ない。

本コースでは国際政治・経済に関する英文ニュース記事に的を絞って、これら記事の背景や事実関係を踏まえながら、時事英語習得のための基礎訓練を行う。授業の進捗状況に応じて、指定テキストのほかにはできるだけ最新の英文記事を取りあげ、時事英語の読解力の向上を目指したい。

評価方法：主として定期試験の結果で評価するが、授業への参加度も加味する。

テキスト名：NEWS FLASH ROUNDUP '97, Haruo Kizuka, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE

時 事 英 語 E ・ L	さか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前期・後期

時事英語の基礎的な理解力を習得し、時事問題に対する批評能力を養成することを目標とする。とくに本授業では、国際政治・経済のテーマを中心に、指定テキスト及び最新の英文記事を読み、練習問題を行う。
※就職活動に従事する4年生の場合、後期の授業を履修することを勧める。

評価方法：試験、課題及び出席回数を評価の基準とする。

テキスト名：後日発表

時 事 英 語 F ・ G	たか すぎ ただ あき 高 杉 忠 明	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

この授業では現代の国際関係、政治・経済・社会問題のテーマを取り上げて、①英語の読解力、発表力、思考力を養う。また②個々の現象の背後にあり、その現象を生じさせた歴史的要因、政治、経済的要因に目を向けて、両者の因果関係を分析して問題の構造的理解が可能になるよう解説してゆく。受講者は各自の関心に基づき、自分で特定のテーマについて英字新聞や雑誌などで関連する記事を読み、プレゼンテーションを行う。さらにそれを深めてレポートを書くことになるので、単に英語の運用能力を高めるという態度ではなく、国際関係、政治・経済問題に対する十分な問題意識をもって履修して欲しい。

4月の最初の授業の時に自分の関心のあるテーマについてアンケートをとる予定です。よく考えておいて下さい。

試験：プレゼンテーション、レポートならびにクラスでの積極的な発言を加味して評価する。

テキスト名：NEWS WORLD '97—Getting to Know The Changing World マクミランランゲージハウス

時 事 英 語 H ・ I	すぎ 杉	やま 山	はしめ 肇	2 単 位
				1 ～ 4 年
				後 期

今日、世界はグローバル化の段階に突入している。人・物・情報などあらゆる事物が脱国境化して飛び交う中、マスメディアで用いられる時事英語の理解は重要不可欠である。国際的視野を養い、将来国際化の真っ只中で活躍が期待される若者達にとり、現代日本が直面している課題を論じうる能力を習得することは、様々なレベルでの国際交流においてきっと役立つと言える。本授業は、教育・消費者・環境・通商問題など「国際化」に関するテーマを明瞭、簡潔な文章でじっくり読み、発信能力を高める機会とする。

評 価 方 法：授業への参加度、ディスカッション及びレポートにより評価する。

テキスト名：Cross-Cultural Issues, 舛井一仁, James Yellowlees共著, ジェムコ出版

時 事 英 語 J ・ K	おお 大	まがり 曲	しょう 正	いち 一	2 単 位
					1 ～ 4 年
					後 期

英和辞典だけを頼りに英字新聞やTimes, Newsweekといった英文国際情報誌を自由に読みこなすことは実際問題として極めて難しい。かなりの英語力を備えていても、英文記事の背景について幅広い予備知識がなければ、その正しい理解はとうてい覚束ない。

本コースでは国際政治・経済に関する英文ニュース記事に的を絞って、これら記事の背景や事実関係を踏まえながら、時事英語習得のための基礎訓練を行う。授業の進捗状況に応じて、指定テキストのほかに行き渡るだけ最新の英文記事を取りあげ、時事英語の読解力の向上を目指したい。

評 価 方 法：主として定期試験の結果で評価するが、授業への参加度も加味する。

テキスト名：NEWS FLASH ROUNDUP '97, Haruo Kizuka, MACMILLAN LANGUAGEHOUSE

ビジネス英語入門 I A ・ B ・ C	た 田	なか 中	たけ 武	お 雄	2 単 位
					1 ～ 4 年
					前期・後期

社会の国際化に伴い、日常の仕事の中で英語を使用する機会がますます多くなっている。本講座では企業で必要とされるビジネス英語の書き方を、初歩から順を追って分かり易く指導する。

ビジネス・レターの構成と形式を学んだ後、ファックスや電子メールを利用した企業内の通信文、及び礼状や昇進祝い状など企業間の社交文を学習する。また、英文履歴書の書き方、辞書の選び方についても指導する。

(注意) 受講中、手書きでなく、タイプして提出する課題が課せられるので、タイプライターまたはワープロが必要となる。

評 価 方 法：定期試験、宿題、授業への参加意欲（主として出席回数）を総合して評価する。

テキスト名：『ビジネス英語入門』（プリント）

ビジネス英語入門Ⅱ A・B・C	たなかたけお 田中武雄	2 単 位
		1～4 年
		後 期

欧米の多国籍企業で実際に使用されている標準的ビジネス英語の話し方を、初歩より順を追って指導する。自己紹介や電話での伝言などビジネス会話の初歩を学んだ後、事業内容の説明や国際取引の引合い・発注に関する表現を学習する。録音テープを利用してモデル会話を聴き、これを参考にして役割練習を行う。

また、欧米のビジネスマンが会話の中でよく使用する専門用語や慣習表現を、小辞典を使って指導する。一連の文章を毎時間始めに暗誦してもらうので、授業に出るには、かなりの準備が必要となる。

評 価 方 法：定期試験、宿題、授業への参加意欲（主として出席回数）を総合して評価する。

テキスト名：New International Business English Leo JonesとRichard Alexander共著，Cambridge University Press.

『エグゼクティブの口語英語辞典』井内邦彦，北星堂

商 業 英 語 I A・B	たけがみこうのすけ 武上幸之助	4 単 位
		1～4 年
		前期・後期

本講義では、将来国際ビジネス、国際商事取引に携わる際に必要となるビジネスに関する英語表現と実務知識の修得を目標とする。主に素材は英文レターとドキュメントを扱い、専門用語の修得、Pitman方式による定型表現演習を中心とする。また英文コントラクト、広告英語、情報英語等も解説する。又日商主催産業英語検定試験についても言及する。（科目項目）①商業英文の構造。②取引先との交渉。③成約と契約文書。④船積及び通関手続。⑤海上保険。⑥外国為替、手形金融。⑦決済条件。⑧国際マーケティング。⑨取引の背景となるUCC（米国統一商法典）、SGA（英国動産売買法）及び日本民商法の比較。⑩広告、パブリシティ。⑪情報英語。⑫ネーミングと商標ブランド戦略。⑬テレックス英語。

尚、「商業英語Ⅰ」では、主に基本的ビジネス通信文の用法、作成、日本取引法と英米法との差異を中心に、国際取引実務のプロセスに添って解説します。

本年度は、コンピュータを用いた英文ワープロ（word perfect他 インターネットの基礎）の解説も行います。

評 価 方 法：定期テスト、又は定期レポートによる評価

テキスト名：(1)『ビジネス英文マニュアル』武上著，税務経理協会

(2) Strategies of International Business Administration 武上著，学文社

参 考 書：(1) Business English-Reading & Writing A.B class, 武上著，専門教育出版

(2) " C.D

商 業 英 語 Ⅱ	たなか たけお 田 中 武 雄	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

企業活動の国際化に伴い、実社会において英語で通信文を書く機会が多くなっている。本講座では既に商業英語を学習した者を対象に中級程度のビジネス英語の書き方を指導する。

商業英語の初歩では主として英文ビジネス通信文の解釈と短い日本語の英訳が中心であるが、本講座では長文の英文レターを書くことが中心となる。「引合い」「オファー」「注文」「決済」などに関する長文レターの書き方を学習する。また、各種の契約書、報告書、会議文書などの効果的な書き方も指導する。

評 価 方 法：定期試験、宿題、授業への参加意欲（主として出席回数）を総合して評価する。

テキスト名：プリント
参 考 書：『英文ビジネスレター文例大辞典』日本経済新聞社

日 英 翻 訳 法 〔 時 事 〕	よしもと しんいちろう 吉 本 晋 一 郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

邦字紙や雑誌の報道記事と論評の英訳の基礎理論と実践演習。国際的に注目されている特に政治・経済分野の最新の出来事を中心に、最初の段階は短文を訳出して英語を書くことに慣れ、その後しだいにやや長文の英訳により実力の養成を図り、就職後に役立てるべく講義よりも演習に大半の時間を割いてゆく。訳出には政治・経済面での出来事の理解が前提なので、普段から丹念に邦字新聞の政治や経済を読む習慣が肝要。成績判定は出席を特に重視する。演習は、最初からパソコン（IBM PS/V モデル2408）で実施するので、文章が入力できる程度の操作に完熟しておくことが必要。

評 価 方 法：平常時間に予告なしに試験を実施。

英 日 翻 訳 法 〔 時 事 〕	よしもと しんいちろう 吉 本 晋 一 郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

時事問題に関する『ニューヨーク・タイムズ』紙、『フォリン・アフェアーズ』誌などの報道記事や論評の翻訳の基礎理念と特に実践演習。国の内外で注目を集めているこれら記事の論評のうち最新のものを主として扱う。最初の段階では短文の訳出などによって自ら厳しく演練するしかないことを、記者としての長年の経験で痛感しているので、全期間講義よりも演習に重点をおき、授業時間の大半を割く予定。したがって、成績判定では出席を特に重視する。演習は、最初からパソコン（IBM PS/V モデル2408）で実施するので、文章が入力できる程度に操作に完熟しておくことが必要。

評 価 方 法：平常時間に予告なしに試験を実施。

英 語 通 訳 法 I	そ ね かず こ 曾 根 和 子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

実技演習を通じ、日英（英日）通訳法の基礎理論を学び異文化コミュニケーションの理解に努める。LL設備を使用し、ラジオ、テレビの英語放送、英語スピーチ及び英語を使用した会議の録音テープを教材に、政治、経済、文化、社会、スポーツ及び科学技術等の各分野における「逐次通訳法」を習得させる。

※定員は30名とする。2～4年生で、すでに「時事英語」を履修済みで、TOEIC 760点、TOEFL 560点、英検1級のいずれかを取得している学生のみ受講可能。履修希望者は1回目の授業の際にスコア、または合格証のコピーを提出すること。

評価方法：用語等のテスト、通訳パフォーマンスの評価を随時行うとともに期末テストで履修状態の総合評価を行う。

テキスト名：講師作成のスタディ・ガイド（授業の際配付）及び録音テープ等。

英 語 通 訳 法 II	そ ね かず こ 曾 根 和 子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

「英語通訳法Ⅰ」で習得した知識、技能を基礎に、優れた通訳者としての資質の育成を図る。LL設備を使用し、より広範囲な分野における高度な内容の教材により「逐次通訳法」の能力の向上を目指すとともに、英語、及び日本語ニュースを中心として簡単な「同時通訳法」の基礎を理解させる。また、講義全般を通じ、通訳者としての一般的な知識、教養を習得させる。

※「英語通訳法Ⅰ」を履修した学生のみ受講可能。

評価方法：用語等のテスト、通訳パフォーマンスの評価を随時行うとともに期末テストで履修状態の総合評価を行う。

テキスト名：講師作成のスタディ・ガイド（授業の際配付）及び録音テープ等。

日 本 語 学 I A	いわ もと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

日本語の音声と音韻の体系の基礎について概説する。扱う内容は、発音の原理、音声体系における物理的・心理的単位、音声形成における心理的過程、音節の構造、語形成と音声の関係である。

評価方法：数回の小テストと期末テスト。

日 本 語 学 I B	た ば とし ゆき 田 端 敏 幸	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

日本語の音声、音韻、形態について基本的な知識を習得しながら、これらを理論的に分析する方法論を学ぶ。現在めざましい進展をみせている「最適性理論」を視野に入れて、いくつかのトピックを重点的にとりあげていきたい。例えばモーラと音節、動詞の形態、アクセントの諸相、連濁、語形成、外来語などである。授業は講義と演習（練習問題的な課題を課す）を組み合わせで展開する。

評価方法：定期試験及び平常点（課題・授業参加等）で評価する。

テキスト名：An Introduction to Japanese Linguistics, Tsujimura Natsuko, Blackwell Publishers

日 本 語 学 II A	いの う え まさる 井 上 優	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

本講義では、日本語文法の基本的な部分について解説をおこなう。特に、「ハ」「タ」「コ・ソ・ア」などの文法形式の意味・用法について具体的に考えることに重点をおく。受講者は、常に専攻言語と日本語とを関連づけながら、自分の頭で日本語の文法（ならびに専攻言語の文法）について考えてもらいたい。

テキスト名：『基礎日本語文法（改訂版）』益岡 隆志・田窪 行則，くろしお出版 2,300円

日 本 語 学 II B	いわ もと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

日本語文法の基本文型と基本事項を取り上げ、おもに生成文法の考え方の基本をおさえながら講ずる。

評価方法：テストを2回行なう。

日 本 語 教 授 法 I A	す 須 が 賀 あき 章 お 夫	4 単 位
		2 ～ 3 年
		前 期

日本語教育における、いわゆる「初級文法」を実際の日本語初級教科書に沿って順次整理していく。併せて、これらの文法項目をどのように教えていくのかについても、取り上げた日本語教科書を例に触れていく。

授業形態は発表と講義を半々に行う予定である。割り当てられた文法項目に関して文献等で調べたことを発表し、講義によって不足部分を補う。毎時間ではないが、授業で取り上げる文法項目に関係する課題を課す。

評 価 方 法：定期試験（期末）・発表・課題・出席。

参 考 図 書：『文法の基礎知識とその教え方』富田 隆行，凡人社
『基礎表現50とその教え方』富田 隆行，凡人社

日 本 語 教 授 法 I B	なん 難 ば 波 こう 康 じ 治	4 単 位
		2 ～ 3 年
		前 期

本講義は、日本語の教育を志望する学生を対象に外国語としての日本語教育の基本的な知識を与えるとともに、その方法論を身につけさせることを目的とする。

日本国内外の日本語教育を囲む状況は、昨今急激に変化しつつある。日本経済の状況変化にともない私費留学生・就学生数は減少傾向にあり、日本語教育従事者の雇用が以前に比して困難になっている。一方で、外国人居住者の増加によって地域レベルでの日本語教育の充実が叫ばれている。このような状況のなかで「第二言語としての日本語」をどのように保証していくかを考えるためには、単に日本語教授の知識だけでなく、より広い見地からの考察が必要となってきた。

「日本語教授法Ⅰ」では日本語教育に関わるさまざまな問題について言及し、「第二言語としての日本語」教育の概観を解説するとともに、国内外の日本語教育の実態についても紹介する。同時に外国語としての日本語そのものについても考察する。

評 価 方 法：テスト1回50％ レポート50％

テキスト名：『日本語教育の方法』田中 望， 大修館書店

日 本 語 教 授 法 II A	す 須 が 賀 あき 章 お 夫	4 単 位
		3 ～ 4 年
		後 期

これまでに提唱されてきた外国語教授法の中から代表的なものを取り上げて紹介し、外国語教育がどのように展開してきたかを講義する。また、「コースデザイン」に関しても、概略を講義する。

授業形態は講義が中心となるが、履修者の人数によっては他の教室活動を併用することも予定している。

評 価 方 法：定期試験（期末）もしくはレポート。

参 考 図 書：『日本語教育の方法ーコースデザインの実際ー』田中 望，凡人社

日 本 語 教 授 法 Ⅱ B	なん 難	ば 波	こう 康	じ 治	4 単 位
					3 ～ 4 年
					後 期

「日本語教授法Ⅰ」で検討した知識を踏まえて、実際の「日本語の教室」における活動の在り方を、セミナー形式で検討していく。授業では教材の分析を通して導入、練習などの在り方を検討しつつ、VTR等の資料を用いて実際の授業の分析を行う。最終的には初級の学習者を想定した授業活動をグループ単位で検討し、授業案を作成する。クラスでの討議のために毎週指定された資料をもとに課題を行うことが要求される。

評 価 方 法：授業でのプレゼンテーション50％ レポート50％

テキスト名：特に指定しないが、前もって授業で指定した資料を読んでくこと。

日 本 語 教 育 実 習	いわ 岩	もと 本	え 遠	のく 億	1 単 位
					3 ～ 4 年
					通 年

実際の日本語学習者を集めて実習授業を行う予定。実習は後期に入ってから行うが、前期からその準備にとりかかる。プレゼンテーション（模擬実習を含む）、教案作成、授業分析等の課題を遂行していくことにより、実際の教壇実習に備える。日本語に関する基礎的な知識、教育に関する基礎的な知識は既に習得済みという前提に立って実践的な技能の養成に焦点を当てるため、受講者は知識の部分についての整理を充分に行っておくことが必要。

評 価 方 法：授業参加、実習（模擬／準備作業も含む）、最終レポートを総合的に判断する。

人 類 学 入 門 （ 英 米 ）	ソ ニ ア SONIA	イー グ ル EAGLE	4 単 位
			1 ～ 4 年
			後 期

The introductory course in anthropology will begin with a short overview of the field including a short summary of physical anthropology, human evolution, prehistory, race and archaeology. Most of the course will consider the field of cultural anthropology including subsistence, technology, social organisation, political organisation, kinship, religion, world view, and other aspects of culture and society. Examples will be drawn from ethnographic case studies of people around the world. Films will be used to illustrate the theories and cultures.

Student Grade Level: Years 2,3,4..

- 評 価 方 法：The grade will be based on
1. In class assignments and participation
 2. Midterm exam.
 3. Case study reports.
 4. Final exam or report.

テキスト名：1) Material available in the copy center
2) *Culture Sketehcs: Case Studies in Anthropology*, H. Peters-Golden, M'Graw Hill, N.Y. 1994.

日 英 米 比 較 文 化 論 A	ち だ 千 田	つよし 剛	4 単 位
			1 ～ 4 年
			前 期

第二次大戦後から今日までの間に数多く世に出た「日本論」の古典とされている『菊と刀』（ルース・ベネディクト著）の批判的読解を通し、日本を中心とする米英との文化比較をおこなう。

とくに、著者が執筆のために使用したいいくつかの主要な資料を紹介・検討して、本書の成立事情と問題点を探る。

講義の中では、新渡戸稲造、夏目漱石、和辻哲郎、H・ノーマン、G・サンソム、九鬼周造などの思想や著述にも言及し、『菊と刀』をめぐる大きな知的世界にも触れる。

評 価 方 法：講義終了時にレポート提出

テキスト名：『菊と刀』ルース・ベネディクト，社会思想社（文庫本）

日 英 米 比 較 文 化 論 B	ち だ 千 田	つよし 剛	4 単 位
			1 ～ 4 年
			後 期

第二次大戦後から今日までの間に「日本論」「日本人論」が数多く出版された。その中の古典とされている『菊と刀』の批判的読解を通し、日米英間の文化比較を行なう。

とくに、この本の著者が使用したいいくつかの主要な資料を抜きだして検討し、本書の成立事情と問題点を考え、客観的比較を試みる。

また講義の中では、新渡戸稲造、夏目漱石、和辻哲郎、H・ノーマン、G・サンソム、九鬼周造、丸山真男などの思想や著述にも言及し、『菊と刀』をめぐる大きな知的世界を探る。

評 価 方 法：講義終了時にレポート提出。

テキスト名：『菊と刀』ルース・ベネディクト，社会思想社（文庫本）

日 英 米 比 較 文 化 論 C	あお き みち ひこ 青 木 道 彦	4 単 位
		1 ～ 4 年
		集中講義

日英の文化を静態的に比較するのではなく17世紀以降、現代にいたる両国の交渉の中で、①日本人がイギリスをどのようにみてきたか、および②イギリス人が日本をどのようにみてきたか、の2点に留意し、特に①の「日本人のイギリス観」に重点をおいて、講義を行う予定である。江戸時代初期の両国の交渉の始まりから考察を始めるが、両国の関係が密接となる明治以降の問題が講義の中心となるであろう。随時、②の「イギリス人の日本観」にもふれて、比較文化論としての視野も広げられるように、講義を進めて行きたいと考えている。

評 価 方 法：集中講義中の毎日の簡単な講義のまとめの提出と出席状況、終了後のレポート提出によって評価を決定する。

テキスト名：『日本人とイギリスー「問いかけ」の軌跡』 今井宏著 筑摩書房（ちくま新書 019）

日 英 米 比 較 文 化 論 D	くろ いわ ゆたか 黒 岩 裕	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

国民性・経済・教育の分野から、日本的またはアメリカ的なものと考えられている事柄を取り上げて分析します。日本とアメリカの類似点及び相違点をできるだけ正確に理解することを目的に講義をすすめます。

評 価 方 法：レポートおよび期末テスト。

テキスト名：特にテキストは指定しません。参考文献は適宜授業中に紹介します。

英 米 事 情 A	もり た まさ み 森 田 正 貴	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語・英文学の背景としての英国の社会的・文化的側面を考察し、その全体像を明らかにすると共に、英国の国民性と精神的・思想的伝統が形成されて来た由来を探求し、英国の文化と教養の本質に迫りたい。また、日本との対比の中で、現代英国の自然・社会・人間の姿も学習したい。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：*Britain Explored* 英潮社

英 米 事 情 B	バトリック スケヴィントン PATRICK SKEVINGTON	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

This course will examine aspects of contemporary Britain. We will first look at the historical development of the United Kingdom and Britain's place in the world today. The course will describe some of the main institutions of the British state,e.g. the monarchy, the system of government, the law,etc. The economy and working life will be focused on. There will be lectures on social policy in such areas as health care, education and the elderly. Culture both 'high' and 'low' will be described. The course is mainly a lecture course, but after each subject has been completed students will have an opportunity to ask questions or for additional information.

評 価 方 法：Attendance and two term papers.

テキスト名：*Life in Modern Britain* Peter Browhead , Longman

英 米 事 情 C	たか 高	すぎ 杉	ただ 忠	あき 明	4 単 位
					1 ～ 4 年
					前 期

この授業では、アメリカ社会に関する総合的な理解を深めるため、地域研究的アプローチと日米の比較の視座を取り入れながら、以下のトピックについて講義を行なう。移民の歴史、地理、人種問題、アメリカ的生活様式、家庭、教育、政治・経済制度、外交政策。扱うテーマが多岐にわたるため必然的に必要最小限の基礎的な考え方にしぼって講義を進めてゆくが、受講者は授業で紹介した参考文献を読み、自分で足りないところを補いながら、それぞれのテーマについて問題意識を深めていって欲しい。履修者は各自が関心を持ったテーマの中から一つを選択して6月中旬までに「中間レポート」を書き提出する。その後、7月の第一週までに同じテーマでより内容を洗練させた「最終レポート」を提出することが必要である。

評 価 方 法：1. 授業で扱ったテーマについて学期末に行なう試験と、2. 最終レポートの内容によって決めることにする。詳細は授業の際に説明します。

テキスト名：授業で適宜紹介する。

英 米 事 情 D	かわ 川	しま 島	こう 浩	へい 平	4 単 位
					1 ～ 4 年
					前 期

現代アメリカ社会における諸問題を社会階級、エスニシティ、ジェンダーの三観点から分析する。扱うテーマは、最新のニュース（例えばIQ論争、O.J.シンプソン裁判、軍隊における男女対立等）との関わりを導入としながら発展させていきたい。具体的には、貧富差の拡大と中産階級の衰退、貧困・犯罪と銃規制、人種差別と移民制限、男女差の起源論と男女差別問題といった、社会階級、エスニシティ、ジェンダー間の摩擦や衝突が生みだしている諸現象・問題である。これらから多文化主義についての視点を育て、それについての考えを深めたい。

評 価 方 法：評価は、学期末試験による。テキストは特に指定しないが、適宜参考文献を紹介する。

英 米 事 情 E	くろ 黒	いわ 岩	ゆたか 裕	4 単 位
				1 ～ 4 年
				前 期

アメリカ合衆国はしばしば多民族社会と呼ばれますが、その歴史や現状は案外日本人には知られていません。この講座では、テキスト、英文の論文、ビデオ、映画などを利用しながら、多民族社会としてのアメリカの経験を以下のテーマにそって概観します。

1. アメリカ社会における、エスニシティと教育、使用言語、職業、居住地域、スポーツ等の関係。
2. 植民地時代から現代までの移民の歴史。
3. 日系アメリカ人、アメリカ・インディアンにとってのアメリカ史。

評 価 方 法：レポートおよび期末テスト。

テキスト名：特にテキストは指定しません。参考文献は適宜授業で紹介します。

米 国 社 会 論	かわしまこうへい 川島浩平	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

ビル・クリントン政権成立以後の現代アメリカ社会に焦点をあてる。1992年以前の経歴に始まり、1992年の選挙運動と当選、1994年の中間選挙、1996年の選挙など政治的なターニングポイントを追いながら、時間の流れに沿って講義を進める予定である。ファーストレディ、副大統領ゴア、補佐官や閣僚らスタッフ、有力議員などの重要人物にも言及し、紹介する。また、ニューデモクラットとしてのクリントンが直面し、解決した問題、できなかった問題、あるいは解決しようと現在も努力中である問題を可能な限り包括的かつ詳細に説明する。他方、女性問題やホワイトウォーター疑惑などのスキャンダルを取り上げ、大統領をめぐる個人的・公的疑惑の背景を明らかにしたい。同時に、これらの逆境にもかかわらず、最高行政官としてリーダーシップを発揮し続けるクリントンの魅力や力量に関する考察も行う。

クリントン政権の内政と外交などを考えながら1990年代というわれわれが生きる時代を理解する一つのフレームワークを提供できれば幸いである。

評価方法：評価は、学期末試験による。テキストは特に指定しないが、適宜参考文献を紹介する。

オーストラリア研究入門	フランシス ジョンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

This is a course which introduces students to the study of some aspects of the history and culture of Australia, a country with a past identified with the British Empire and a future in the Asia Pacific region. It is this transformation which is at the heart of the study.

The course syllabus is divided into a number of topics which examine physical, historical, social, political and economic themes. In the course of study of these topics frequent comparison and contrast with Japan will be made.

The course contains both lecture and video sources of information. Students will be given lecture outlines and other relevant material for each topic.

Videos used in the course are available for study in the university library.

評価方法：Two multiple choice examinations

テキスト名：No textbook

英 国 史	パトリック スケヴィントン PATRICK SKEVINGTON	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

Britain in the Twentieth Century

This is a lecture course on British history in this century. We will begin by comparing Britain in 1900 to Britain today. We will then look at the major events of the century in chronological order, e. g. the Great War, the General Strike, the Depression, the loss of Empire, Thatcherism, etc. We will also examine social and cultural developments during this century, e. g. feminism, pop culture, the media, etc. Although the course will be mainly through lectures, students will be given the opportunity to ask for clarification or more information.

評価方法：Attendance and two term papers

テキスト名：To be decided

米 国 史 A	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

アメリカ合衆国の植民地時代から現代までの歴史を、アメリカ先住民、アフリカ黒人、ヨーロッパ白人移民ら三者の対立と交流を中心に講義する。先住民の文化、白人との戦争、イロコイ連合の成立と崩壊、西部の開拓と武力対立、ドーズ法の成立、黒人奴隷制度の成立と発達、反奴隷制度運動の展開、南部再建の功罪、ジム・クロウ法と分離主義、公民権運動とアフターマティヴアクション、現代アメリカの多文化主義など、3つのエスニック集団の対立がもたらした犠牲や被害と、彼等が合衆国で共存するために行った努力を具体例で解説する。アメリカの社会と文化、特に人種問題に関心がある者に受講を勧めたい。

講座を通じて、アメリカ人研究者の歴史研究にもとづいて、アメリカ人の視点からアメリカ史をみるようところがけ、アメリカ側の視点から現代アメリカ社会・文化が形成される歴史のプロセスを解説する。

評 価 方 法：評価は、学期末試験による。テキストは指定しないが、適宜参考文献を紹介する。

米 国 史 B	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

アメリカ合衆国の植民地時代から現代までの歴史を、独立戦争、南北戦争、二つの世界大戦と冷戦体制の成立と崩壊等の政治的変動と、ヨーロッパの重商主義、産業革命、独占企業の成立、大恐慌とニューディール、軍産複合体の成長、スタグフレーション、レーガノミクス、クリントノミクス等の経済的変化や政策を中心に講義する。アメリカの政治や経済に関心がある者に受講を勧めたい。

講座を通じて、アメリカ人研究者の歴史研究にもとづいて、アメリカ人の視点からアメリカ史をみるようところがけ、アメリカ側の視点から現代アメリカ政治・経済が形成される歴史のプロセスを解説する。

評 価 方 法：評価は、学期末試験による。テキストは特に指定しないが、適宜参考文献を紹介する。

米 国 政 治 経 済 論	たか すぎ ただ あき 高 杉 忠 明	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

本講では、第二次大戦後のアメリカの歴代政権―つまり、ケネディ、ニクソン、フォード、カーター、レーガン、ブッシュ、クリントン各政権の公共政策、経済政策に焦点をあて講義を進める。とくに各政権がいかなる歴史的状況の中で誕生し、いかなるアメリカ国民の信託（mandate）に応えようとしたのか？、また在任期間中の政策はどのような評価を得ているのか？ という問題を各政権の公共政策、社会・経済政策の分析をつうじて明らかにしてゆきたい。受講者は政治学、経済学の基礎概念を修得していることが望ましいが、必要に応じて適宜解説を加えながら講義をおこなう予定である。

試 験：中間レポート、最終レポートで評価する。出席を重視する。

テキスト名：最初の授業でシラバスを配付し、説明する。

日 米 関 係 論	たか 高	すぎ 杉	ただ 忠	あき 明	4 単 位
					1 ～ 4 年
					前 期

140余年にわたる日米関係の歴史は友好と対立の歴史に彩られている。ペリー提督による日本の開国以降日露戦争までが友好の関係であったのに対し日露戦争以降第二次大戦までは友好から対立の関係へと変化した。大戦後米ソ冷戦の深まりゆく情勢下アメリカの単独占領下におかれた日本とアメリカの関係は「主従の関係」にあったが、以来日米の相互依存の深まりに伴い、日米関係は協調と摩擦のはざまの中でより対等なパートナーの関係へと発展してきた。この講義ではこれを踏まえ、第一に日米関係140年の歴史の全体像を概説し、第二に戦後の日本の「対米協調」「対米自主」「対米独立」という概念を用いて両国関係をいくつかの時期にわけその特徴を分析し、第三にポスト冷戦期の日米関係と日本の役割について検討を加える。

評 価 方 法：中間レポート提出と最終レポートおよび筆記試験で評価する。出席を重視する。

テキスト名：『日米関係史』，有斐閣
その他授業で紹介する。

米 国 外 交 論	たか 高	すぎ 杉	ただ 忠	あき 明	4 単 位
					1 ～ 4 年
					後 期

1989年12月にブッシュ、ゴルバチョフ両大統領が参加して開かれたマルタ会談以降、東西冷戦は終結への確かな歩みをしるし始めた。しかし一方で、東欧諸国における社会主義体制の崩壊、ポスト冷戦の潮流のアジアへの波及、湾岸戦争、そして社会主義陣営の盟主・ソ連の崩壊など予想しがたい速さで国際関係は変化している。世界各国が冷戦の後始末と新たな国際秩序を模索する過程の中で、「冷戦の勝者」アメリカの経済力も衰退して、その政治的リーダーシップはかつてのような力強さは期待できず、世界情勢の将来は混沌として定かではない。ポスト冷戦期のアメリカ外交のゆくえを考えるにあたり、過去から現在に至るアメリカ外交の歴史的連続性・非連続性を探ってみることは重要な作業となろう。したがって、この講義では、第一にアメリカ外交の歴史的伝統およびアメリカ外交の規制する国内的要因等を確認し、第二に第二次大戦後の国際関係史を三つの時期に分け、それぞれの時期のアメリカ歴代政権のソ連政策、ヨーロッパ政策、アジア政策（対日、対中政策）について論じる。また第三に、国際関係論という学問を進めて行く上で必要な概念についても適宜、講義の中で解説して行きたい。

評 価 方 法：1. 学年末の最後の授業で行う試験と、2. レポートの内容で判断する。詳細は授業の際に説明する。3. 出席を重視する。

テキスト名：(1)『アメリカの時代』 芦書房 1992年
(2)『激動期の国際政治を読み解く本』 学陽書房 1992年
(3)『冷戦期の国際政治』 慶応通信 1987年
その他、授業の際に紹介する。

米 国 特 殊 研 究 I	スティーヴン ロサ STEVEN LOZA	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

Multiculturalism, the Arts, and Society in the U.S.

The course focuses on the multicultural diversity of U.S. society and culture. Especially adapted to such study and analysis are expressive cultural forms such as political movements, music, film, performing arts, and literature. Topics addressed include intercultural conflict, race relations, the development of multicultural curriculum in schools, and the social problems of and possible solutions to a changing society and culture in the United States. Multiculturalism is also addressed as a growing global phenomenon.

日 米 経 営 論	ふく だ もり とし 福 田 守 利	4 単 位
		3 ～ 4 年
		前 期

授業の全体を通して日米間の企業経営に関するシステムの違いを実例を挙証しながら考察する。企業の形態、組織、経営コンセプト、更に企業における役職、マネージメント、意思決定、管理責任、雇用、人事、労務管理の違いなどのテーマを取り上げ比較分析し日米間の経営風土、経営文化の差異を浮き彫りにする。ビジネス英語の素養も修得しながら学生の国際性を養う。履修人数の制限はしない。

評 価 方 法：試験は学期末試験 1 回のみを行う。

テキスト名：『アメリカ商事法辞典』福田守利，ジャパンタイムズ社

英 国 事 情 実 地 研 究		4 単 位
		1 ～ 4 年
		海外研修

イギリスの一般家庭に滞在しながら、エセックス大学またはニューキャッスル大学でイギリスの文化、社会、経済、政治、教育等について総合的に学ぶ。授業は講義、ディスカッション、発表の形式を取り、一人一人の積極的な参加を前提とする。また日帰り旅行、市内見学、エセックス大学またはニューキャッスル大学の学生との交流等を通してイギリスを実体験する。

尚、この研修は春季休業中（エセックス大学）と夏季休業中（ニューキャッスル大学）に実施される。

評 価 方 法：試験、レポート、発表、授業参加等の総合的評価に基づく。

米 国 事 情 実 地 研 究		4 単 位
		1 ～ 4 年
		海外研修

夏休みにアメリカの大学を拠点に米国の歴史、文化、社会、政治、経済について現地で研修活動を行う。実地研修として午後にキャンパス外の活動を行ったり、土曜日にはバスによるday tourも行う。アメリカの大学としてはアイビーリーグの1校であるペンシルベニア大学を予定してる。

評 価 方 法：試験、レポート、発表、授業参加等の総合的な評価に基づく。

オセアニア文化実地研究		4 単 位
		1 ～ 4 年
		海外研修

オーストラリアの一般家庭に滞在し、生きた英語に触れながら、シドニー市にあるマツコーリー大学付属の国立英語教育研究所にてオセアニア（特にオーストラリア）の文化、社会、政治、経済、言語事情等について学習する。講義の他にディスカッション、リーディング、発表等を通し、オセアニア文化圏諸事情について理解を深める。実地研修としてシドニー市、キャンベラ市、ゴールドコーストの観光旅行が予定されている。尚、この研修は夏季休業中に実施される。

評 価 方 法：試験、レポート、発表、授業参加等の総合的な評価に基づく。

応 用 研 究 〔 国 際 ビ ジ ネ ス 〕	ふく だ もり とし 福 田 守 利	4 単 位
		4 年
		後 期

この授業は国際ビジネス副専攻コースの学生が今までに関心を持った国際ビジネスに関するテーマをゼミ形式の授業を通じてより一層探究し、本コースの仕上げをめざす講座である。コースの前半では国際ビジネスの基本的な問題を講義し履修者の理解を深めさせる。後半からは履修者各自がそれぞれ興味のあるテーマをリサーチしプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを受ける側も毎回評点と批評を提出する。学期末には自分のテーマをまとめたペーパーを提出する。

評 価 方 法：プレゼンテーション及びペーパーを基に採点する。

テキスト名：『アメリカ商事法辞典』福田守利，ジャパンタイムズ社

応 用 研 究 〔 国 際 関 係 〕	たか 高 すぎ 杉 ただ 忠 あき 明	4 単 位
		4 年
		後 期

冷戦の終結に伴い共産主義の脅威が著しく減少する一方で、世界各地では民族、宗教、領土をめぐる地域紛争頻発の脅威が増大している。また紛争地域周辺では軍縮拡散、大量難民の発生、殺りくなど国境を越えて国際平和への脅威が拡大している。日本の経済大国化に伴いODA（政府開発援助）を通じて国際的平和と安定に対する日本の果す役割も増大している。

この演習では、主としてアジア・太平洋地域の地域・民族紛争の解決と国連PKO（平和維持活動）や日米安保体制の役割、そしてそこに向ける日本とアメリカの協力関係に焦点を合わせ、その有効性と限界性を受講者とともに考えてゆく。国連の安全保障機能はアメリカをはじめとする大国の地域紛争に対する態度に大きく依存するので、五大常任理事国の国連政策や紛争当事国の態度にも注意を傾けてゆく。さらに湾岸戦争の際のアメリカによる対日国際貢献圧力やカンボジアに始まる一連の日本のPKOの参加は、憲法解釈や日本の国際貢献のあり方について賛否両論を巻き起こしたが、この問題についても考察を加える。

夏休みの始まる直前にガイダンスを開き、夏休み中に読むべき文献ならびに課題について打ち合わせを行います。

評 価 方 法：レポートならびにクラスでのプレゼンテーションとディベートなどを基準に評価する。筆記試験はおこなわないが出席を重視する。またゼミ宿宿を予定しているのでできる限り参加してもらいたい。かなりの量の英文、和文の文献・資料を読むことになるので明確な問題意識をもって受講してほしい。

応 用 研 究 〔 比 較 文 化 〕	まつ 松 い 井 けい 佳 こ 子	4 単 位
		4 年
		後 期

A fundamental approach to Comparative Culture is philosophy, which is explored imaginatively in Jostein Gaarder's *Sophie's World*. In this highly innovative and internationally acclaimed Norwegian novel a mysterious philosopher awakens a girl's curiosity about who she is, the meaning of life, and ideas of major thinkers. Each student is required to explicate and interpret orally one section of the novel and to write a term paper of at least ten pages. The English translation of the novel will be assigned to all students, but the Japanese translation will also be referred to from time to time. Students will be encouraged to discuss philosophical issues in English.

評 価 方 法：学期末に、10頁位の論文を提出すること。

テキスト名： *Sophie's World*, Jostein Gaarder (Phoenix Paperback)

応用研究〔コミュニケーション・メディア〕	いた 板 ば 場 よし 良 ひさ 久	4 単 位
		4 年
		後 期

コミュニケーションを研究する上で有用な理論を学習しながら、各自興味のあるコミュニケーション・エピソードを分析・発表し、理解を深めることを目標とする。授業は平易な英語で行う。

評 価 方 法：授業中の研究発表および学期末レポート等。

テキスト名：『論文の書き方』澤田 昭夫，講談社（学術文庫）

Theories of Human Communication, Stephen W. Littejohn, Wadsworth, Inc.

英 文 学 史 A ・ B	もり 森 た 田 まさ 正 み 實	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前期 ・ 後期

英文学史を16世紀ルネッサンス期から18、19世紀まで講読し、各時代の社会的・文化的背景と代表的詩人・作家、作品群について概論的解説を加えつつ英文学思潮の流れを把握させ、英文学研究の端緒としたい。
 なお、本年は19世紀から20世紀に至るまでの英文学について重点的に講義する予定である。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：A Short History of English Literature 金星堂

米 文 学 史	まつ 松 い 井 けい 佳 こ 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

アメリカの文学史を植民地時代から現代に至るまで、時代思潮と関連させながら考察する。「米文学」というようにひとくくりにすることが憚られる程、アメリカ文学の多様性、重層性のスケールは巨大である。ジェンダー、エスニシティという概念の交叉地帯を探りつつ、米文学の精神性の歴史的構図を焙り出してみたい。

評 価 方 法：中間試験と期末試験

テキスト名：An Outline of American Literature Peter B. High, Longman／英潮社

英 文 学 講 義 A ・ B	もり 森 た 田 まさ 正 み 實	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前期 ・ 後期

18世紀後半から19世紀に至るロマン主義文学の代表的詩人群に焦点を当て、特に、ワーズワース、コウルリッジ、バイロン、シェリー、キーツの詩想について講義し、併せて、各詩人の英詩を鑑賞すると共に、ロマン主義文学思想の現代的意義と価値について考える。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：Palgrave's Golden Treasury 南雲堂

米 文 学 講 義	まつ い けい こ 松 井 佳 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

＜セクシュアリティと文学＞

アメリカは20世紀半ば位まで、ピューリタニズムの影響の元で、文学におけるセクシュアリティの表現が非常に抑圧されていた。そのような背景の中で1899年に出版されたケイト・ショパンの『めざめ』は、セクシュアリティ、エロティシズム、官能性といった要素を、男女の強制的異性愛イデオロギーに絡めとられる形としてではなく、混沌とした存在感覚として差し出している。ミシェル・フーコーの『性の歴史』を推薦書として挙げておきたい。

評 価 方 法：中間試験と期末試験

テキスト名： *The Awakening* (A Norton Critical Edition) Kate Chopin

英 米 文 学 研 究 A	もり た まさ み 森 田 正 實	4 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

英文学の代表的作品を年代順に鑑賞・研究し、その本質に触れたい。主に、詩と散文から成る古典を読むことを通して、欧米文化の原点に迫り、教養と実用の両面から、学力の涵養に努める。また、文学的問題意識を喚起し、各自テーマを選んで、作家・作品の研究に取組むことを奨励したい。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名： *Gems of English Prose and Poetry* 英潮社

英 米 文 学 研 究 B	まつ い けい こ 松 井 佳 子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

＜アメリカの少数民族文学＞

従来ヨーロッパ系白人作家が主流となって形成されてきたアメリカ文学の周縁にあって軽視／無視されてきた、アジア系、アフリカ系、ユダヤ系の文学を取りあげ、文化的構築物としてテキストのイデオロギー批判を行う。

Maxine Hong Kingston, Amy Tan, Maya Angelou, Alice Walker, Ralph Ellison, I. B. Singer, Bernard Malamud, Saul Bellow 等を扱う予定である。

評 価 方 法：平常点とレポートで評価する。

テキスト名：未定

3) 中国語学科専門教育科目

中国語総合講座Ⅰ	かわ 川 みや 宮	しま 島 もと 本	いく 郁 あつ 厚	お 夫 こ 子	6 単 位
					1 年 年
					通 年

※1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「中国語総合Ⅰ」を履修して、「中国語総合講座Ⅰ」を履修したもののみなす。

最初に発音の基礎練習を徹底して行い、その上でテキストに基づいて文法・会話・語彙の基礎力を身につける。また、自主的な学習習慣を培うために、授業中も辞書を頻繁に引き、書き取り、聞き取りの訓練を繰り返す。

出席者は毎回必ず予習することが義務づけられる。

評価方法：成績は定期試験期間外の平常試験および日常の出席などを加味した総合評価をもって判定する。

テキスト名：『最新中国語教本(上)』北京語言学院，中華書店

中国語作文Ⅰ	はな 花	ざわ 澤	せい 聖	こ 子	2 単 位
					1 年 年
					通 年

「中国語総合講座Ⅰ」と並行して中国語の基礎力の修練に当たるが、作文では主として基本的な文法をふまえながら、中国語の文章表現を修得し応用できるようにする。

評価方法：授業時に毎回行なう小テストと定期試験の結果で評価する。

テキスト名：初級から中級へ『中国語作文』郭 春貴、徳永淳子、高橋海生，白帝社

中国語会話Ⅰ	リン 林 たか 高	はし 橋	うみ 海	ファン 芳 お生	4 単 位
					1 年 年
					通 年

<前期>

「言葉は生きています。生きた言葉の生きた勉強を！」
これをモットーに「見る・聞く・話す・書く」技能の有機的な訓練に力をいれます。
前期は、発音の基本・発音記号の書き方・抑揚の基本など、まずは中国語になじむ事に重点をおきます。
後期は、簡単な日常会話を、目で見て・耳で聞いて分かるだけでなく、音声的にも相手に通じる正しい抑揚で表現することに、重点をおきます。

林の授業は文法や音読法の理論的説明に重点をおき、高橋の授業は、トレーニング・活用面に重点をおきます。

<後期>

前期と同じ。

試験：平常ひんぱんにテストを行うので、特に定期試験には入れない。

テキスト名：『中・日・英対照 実用中国語会話』（新装版），白水社

中国語総合講座Ⅱ	こ 児 しろ 白	だ ま 玉 が ね 銀	けい 啓 ゆき 志	こ 子 え 栄	6 単 位
					2 年
					通

※2年生で平成6年度以前に入学した学生は、「中国語総合Ⅱ」を履修して、「中国語総合講座Ⅱ」を履修したものとみなす。

＜前期＞

本講義では、第一学年の学習の成果を踏まえて、より高度な中国語に挑戦できるように、「聞く・話す・読む・書く」の基礎力の総仕上げをすることを目標としている。本科目の受講生は、予習の段階で、テキストの本文・練習問題の部分について、テープをよく聞いて読み方の練習をし、読みに習熟しておくことが前提となる。

『最新中国語教本（下巻）』を中心に、中国語の文型のパターンを整理しつつ、講義を進める。随時、プリント及びビデオを使用する。

＜後期＞

『トレーニング中国語』を中心に、ビデオ及び長文読解用のプリントを使用する。

自己の学習の到達度について認識し、不得手な部分をクリアーして、初期の目標に到達できるように、毎回小テストを実施するので、チャレンジ精神を持って頑張ろう。

評価方法：授業には80%以上出席していること。予習・復習を含む学習への取り組み方、課題提出（課文朗読のテープ、レポート）、小テストの成績、前期・後期の試験等を総合的に評価する。

テキスト名：『最新中国語教本（下巻）』，中華書店
『トレーニング中国語』，白水社
プリント

中国語作文Ⅱ	ジ オン 鍾	ジ ン 敬	ホ ア 華	2 単 位
				2 年
				通

注重講解句法分析の基礎知識、通過大量的造句練習、結合分析常見病句，使学生比較熟練地掌握基本句型的造句能力。

評価方法：依据出席率、学習態度、練習及前、後期考試綜合評定。

テキスト名：『（中級）中国語作文』程美珍・高橋海生，白帝社

中国語会話Ⅱ	ドゥアン 段	ウェイ 威	4 単 位
			2 年
			通 年

<中国語会話Ⅱ>

本科目は以能流暢地说出中国語為教学目標。在理解課文内容、增加詞彙量的同時、繼續強發音、声調和語調方面練習。中国語会話Ⅱ側重于基礎語法的講解。

評 価 方 法：出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合的に判定する。

テキスト名：『中国語会話中級』光生館
『ヒアリング入門』語研

<LL中国語>

本科目は以能流暢地说出中国語為教学目標。在理解課文内容、增加詞彙量的同時、繼續加強發音、声調和語調方面的練習。LL中国語側重于口語和聽力的訓練。

評 価 方 法：出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合的に判定する。

テキスト名：『中国語会話中級』光生館
『ヒアリング入門』語研

平成6年度以前入学の3年次生の専攻外国語科目の履修について

平成6年度以前入学の3年次生は、3～4年次の2年間に、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目のうち4科目（16単位）を履修することにより、専攻外国語科目8単位を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用 カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用 カリキュラム授業科目名
中国語総合講座Ⅲ（2単位）	中国文学講読Ⅰ（近代）（4単位）
	中国文学講読Ⅱ（現代）（4単位）
中国語作文Ⅲ（2単位）	時事中国語Ⅰ（社会）（4単位）
	時事中国語Ⅱ（経済）（4単位）
中国語総合講座Ⅳ（2単位）	翻訳法Ⅰ（中－日）（4単位）
	翻訳法Ⅱ（日－中）（4単位）
中国語作文Ⅳ（2単位）	討論・スピーチⅠ（中国）（4単位）
	討論・スピーチⅡ（中国）（4単位）

平成6年度以前入学の4年次生の3年次専攻外国語科目の再履修について

平成6年度以前入学の4年次生は、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目を履修することにより、該当する専攻外国語科目を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用 カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用 カリキュラム授業科目名
中国語総合講座Ⅲ（2単位）	中国文学講読Ⅰ（近代）（4単位）
	時事中国語Ⅰ（社会）（4単位）
	翻訳法Ⅰ（中－日）（4単位）
	討論・スピーチⅠ（中国）（4単位）
	上記4科目のうち1科目（4単位）を履修すること。ただし、「中国語作文Ⅲ」として履修した科目を除く。
中国語作文Ⅲ（2単位）	中国文学講読Ⅰ（近代）（4単位）
	時事中国語Ⅰ（社会）（4単位）
	翻訳法Ⅰ（中－日）（4単位）
	討論・スピーチⅠ（中国）（4単位）
	上記4科目のうち1科目（4単位）を履修すること。ただし、「中国語総合講座Ⅲ」として履修した科目を除く。

平成6年度以前入学の4年次生の専攻外国語科目の履修について

平成6年度以前入学の4年次生は、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目のうち2科目（8単位）を履修することにより、専攻外国語科目4単位を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用 カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用 カリキュラム授業科目名
中国語総合講座ⅣA（2単位）	中国文学講読Ⅱ（現代）（4単位）
中国語総合講座ⅣB（2単位）	時事中国語Ⅱ（経済）（4単位）
中国語作文ⅣA（2単位）	翻訳法Ⅱ（日－中）（4単位）
中国語作文ⅣB（2単位）	討論・スピーチⅡ（中国）（4単位）

中国文学講読Ⅰ（近代）	リン 林	ファン 芳	4 単 位
			3 ～ 4 年
			通 年

<前期>

現代の優れた作品を精読して、正確な「意味・ニュアンス」で訳出・鑑賞することを主な内容とする。文法を踏まえた的確な訳を重視し、鑑賞には原文の意味・ニュアンスに則した朗読のトレーニングも含める。

音声的な表現が伴わないと言葉は肌身につきにくいので、ヒアリングにも力をいれる。

現代の随筆・小説・ルポ文学などの優れた中国文に親しむことにより、生きた中国語への総合的なレベル・アップに繋げたい。

<後期>

前期に準じる。

評 価 方 法：教場での学習態度・発表とテストにより採点。（主に3年生対象）

テキスト名：プリント

中国文学講読Ⅱ（現代）	リン 林	ファン 芳	4 単 位
			3 ～ 4 年
			通 年

現代の優れた作品を精読して、正確な「意味・ニュアンス」で訳出・鑑賞することを主な内容とする。文法を踏まえた的確かつ日本語らしい訳を重視し、鑑賞には原文の意味・ニュアンスに則した朗読のトレーニングも含める。

現代の随筆・小説・ルポ文学などの優れた中国文に親しむことにより、生きた中国語への総合的なレベル・アップをはかる。

評 価 方 法：教場での学習態度・発表とテストにより採点。（主に4年生対象）

テキスト名：プリント

時事中国語Ⅰ（社会）	つか 塚	もと 本	けい 慶	いち 一	4 単 位
					3 ～ 4 年
					前 期

過去二年間で培ったことばの基本的な四本柱である「聞く、話す、読む、書く」についての能力を下記のテキスト等を通じて学び、時事中国語に関する表現、文体や文章を即読即解的に理解し、そしてCCTVを始め各放送を聞きながら、即座に翻訳することにより、さらにレベルアップし、実際に必要な総合的語学力を身につけていくこと、ならび現在に使われている中国語とその裏にある中国の現実をより深く、広く理解するための中国語観を確立していくことを目標とする。

評 価 方 法：成績の評価は、出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合的に判定する。

テキスト名：①『新聞中国語』奥水優，東方書店

②『中国語放送聞き取り実践教室』井坂孝雄，金星堂

③『トレーニング中国語』竹島金吾，白水社

時 事 中 国 語 Ⅱ （ 経 済 ）	かわ 川	むら 村	よし 嘉	お 夫	4 単 位
					3 ～ 4 年
					通 年

<前期>

中国の政治、経済、社会、対外関係に関する文章を教材として使い、中国語の読解力を高めるとともに、現代中国に対する理解を深めてゆきたい。

<後期>

前期と同じ。

評 価 方 法：授業での発表と前・後期末の試験によって評価する。

テキスト名：『現代を読む時事中国語』中野謙二・志村規矩夫，国際語学社
ほかに中国の新聞、雑誌。

翻 訳 法 Ⅰ （ 中 一 日 ）	つか 塚	もと 本	けい 慶	いち 一	4 単 位
					3 ～ 4 年
					後 期

現代中国の代表的な作品を教材とし、各自で辞書を引き、考えながら、生きたことばを読み解く技術を養成し、さらにことばの裏にある日中両国の社会、生活、文化、習慣等を認識し、理解する。そして日本語へ移行させていく中で、直訳法と意識法の両方をふまえて、的確かつ自然に翻訳できるように指導し、実際に必要な総合的語学力の向上をめざしていきたい。

評 価 方 法：成績の評価は、出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合的に判定する。

テキスト名：①『トレーニング中国語』竹島金吾，白水社
② 北京放送局編『中国語の世界』，東方書店
③『中国語・日本語翻訳の要領』今富正巳，光生館

翻 訳 法 Ⅱ （ 日 一 中 ）	ジョン 鍾	ジン 敬	ホア 華	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

日本語の文章を「中国語らしい中国語」に翻訳するための基礎力を養成することを目的とする。講義は、日文中訳の練習の形式で行う。そうした実践的な作業や習作を通して、中国語の表現方法とその習慣を習得する。

評 価 方 法：成績の評価は、平常の学習態度・普段の発表を総合して判定する。

テキスト名：プリント等を使用

討 論 ・ ス ピ ー チ Ⅰ （ 中 国 ）	ワ ン 注	イ 以	ウ ン 文	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

＜前期＞

受講者が各自関心を持つトピックを選択し、自分の考えを中国語で発表する。その発表に対する質疑・応答等を通じ、討論・スピーチなどに用いられる表現を学び、コミュニケーション能力を訓練、強化する。

＜後期＞

あらかじめ提示されたトピックについて各自が準備し、教室で発表、議論をする。
社会、経済、文化等のホットな話題をめぐるディベートを通じ、状況に即した適切な表現方法を訓練し、自分の主張を正確に伝達する能力を磨く。

評 価 方 法：成績の評価は前期、後期の試験、授業への参加態度、出席状況で判定する。

テキスト名：プリントを配付する。

討 論 ・ ス ピ ー チ Ⅱ （ 中 国 ）	ジ ョ ン 鍾	ジ ン 敬	ホ ア 華	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

「討論・スピーチⅡ」は「討論・スピーチⅠ」の継続で、さらに各人的考えを深めつつ論理的にまとめ、効果的に伝達する能力を養成することを目的とする。

評 価 方 法：成績の評価は、学習態度・普段の発表などを総合して判定する。

テキスト名：プリント等を使用。

広 東 語	ワン 汪	イ 以	ウン 文	2 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

<前期>

広東語人口は広東省、香港を中心に世界で約6000万人といわれている。声調の多い言語なので、まず発音の基礎を固め、標準語との比較を通じ語彙、文法の特徴などを学習していく。

前期は、生活会話を中心にすぐ役立つ実践的な表現を習得していく。

<後期>

発音・会話を中心としながら、語彙を増やし、表現力を広げていく。

広東語世界から随時題材をとりつつ、特有の表現を学習していく。さらに広東・香港等の風俗習慣も適宜紹介していく。

評 価 方 法：成績は定期試験（年2回）及び小テスト、出席状況で評価する。

テキスト名：別途指示します。

中 国 語 学 概 論	ジョン 鍾	ジン 敬	ホア 華	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

第一学年で総合・作文・会話の授業を通じて中国語の基礎的学習を終え、中国語についての一定の知識と学力を身につけた段階で、あらためて中国語とはいかなる言語か、ということを音声・文字・構造・歴史を通じて言語文化として講述する。

授業は講義形式とするが、一部演習形式を含めて進める。

評 価 方 法：成績の評価は、出席率・平常点及び試験・レポートを総合して判定する。

テキスト名：『中国語のすすめ』講談社

中国語学概論に関するプリント

中 国 語 文 法 論	ジョン 鍾	ジン 敬	ホア 華	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

在前両、三年学習の基礎上、系統講授中国語法の基礎理論和知識、着重分析漢語語法的特徵、進一步加深學生对漢語語法的認識。本課程以三、四年級學生為対象、采取講授和討論相結合的方式。

評 価 方 法：根据平常学習態度、成績、レポート等総合評定。

参 考 文 献：『中国語の語法の話』與水 優，光生館

中 国 語 音 韻 論	きか 坂	い 井	けん 健	いち 一	4 単 位
					3 ～ 4 年
					通 年

<前期>

この科目は、音韻を研究の対象とする分野の人文科学としての音韻学を前・後期にわたって講義する。前期は一、序論として1．音韻学の対象 2．音韻学の効用 3．音韻学の学習方法 二、音韻学の基礎知識として1．中国語音韻構造の特色 2．中国語音表音形式としての反切 3．声母 4．韻母 5．声調について。

<後期>

後期は前期に於いて学習した音韻学の基礎知識を用いて、中国語（中古期）音韻収録の主要資料たる広韻の音系を、1．広韻の由来と体系 2．広韻の性質 3．広韻声母 4．広韻韻母 5．広韻声調について学習する。最終的には現代音との比較をし、音韻論的まとめをする。

評 価 方 法：定期試験（年2回）及び平常点。

テキスト名：『音韻学教程』 唐作藩，北京大学出版社（コピー）

中国語音声学	こ だま けい こ 児 玉 啓 子	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

本講義では、中国語音声学の基礎知識を習得し、実際の練習を通して確認しながら、中国語らしい音声に習熟することを目的とする。

まず、調音音声学の観点より、中国語の子音・母音の体系を理解する。次に、語強勢・文強勢、リズム、イントネーション、発話時における音声の変化を実際の練習を通して確認しつつ、習得していく。

<前期>

子音と母音、中国語普通話語音表の構成と練習。語強勢・文強勢について。

<後期>

リズム、イントネーション、発話時における音声の変化。

評価方法：出席点、授業に対する参加の度合、課題、プレゼンテーション等を総合的に評価する。

テキスト名：随時プリントを使用する。参考図書については講義時に指示する。

中国語史	こ だま けい こ 児 玉 啓 子	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

本講義では、中国語の歴史的な変遷について概観し、文体・音韻・語義の相違に留意しつつ資料を読みます。言語資料は「上古漢語」「中古漢語」「近世漢語」「近現代漢語」の中から、それぞれ代表的な文献を選び、解説を加えつつ読み進めます。古文は、現代漢語の文体表現とは異なる点もあるので、現代漢語による注釈を参照しつつ読んでいきます。

授業は演習形式を主体としますが、必要に応じて講義を行います。

中国語史の総括的な時代区分をまず行い、それらの時代の特徴と時代背景について概観します。次に、それぞれの代表的な文献を選び、解説を加えつつ読み進めます。

<前期>

・前期は、先秦時代から六朝まで。（楚辞、莊子、論衡、世説新語、その他より）

<後期>

・後期は、隋唐から清末民初まで。（韓愈、柳宗元、蘇東坡、王安石、帰有光、曾国藩、その他より。）

参考文献：大田 辰夫『中国語史通考』白帝社 1988年

王 力『王力文集』（第9巻「漢語史考」・12巻「中国語言学史」）、

テキスト名：プリントを使用する。

参考文献：『中国語史通考』太田 辰夫著 1988年 白帝社

『中国語史』王 力著（『王力文集』第九巻「漢語史考」・十二巻「中国語言学史」）、

『古文観止新編』、

『漢語文法論（古代編）』『漢語文法論（中古編）』牛島 徳次著 大修館、その他。

中国語学特殊研究Ⅰ	つかもとけいいち 塚本慶一	4 単 位
		3～4 年
		前 期

「中国語学特殊研究」は、実質上通訳法に関する訓練と講義を組み合わせるスタイルで行う授業です。

「中国語学特殊研究Ⅰ」はL1L2教室で、基本文型・文例をリピート、リテンション、ノートテキング、サイトラ等の訓練を通じ、通訳の基本能力を強化します。それと同時に、日本語と中国語の比較対照を通じ、異文化コミュニケーションの理解に努めていきます。

※なお、受講対象は原則として、3年生で、すでに「中国語学概論」を履修済みで、成績が「良」以上を取得している学生、そして「時事中国語Ⅰ」と「翻訳法Ⅰ」を同時履修する学生のみ受講可能であり、かつ開講時にペーパー・プレズメントテストを行い決定する。

評価方法：成績の評価は、平常の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的に判断して判定する。

テキスト名：『中国語通訳』塚本 慶一，サイマル出版会
『実戦ビジネス中国語会話』塚本 慶一，白水社
その他 プリント、録音・録画テープ等

ビ ジ ネ ス 中 国 語	つかもとけいいち 塚本慶一	4 単 位
		3～4 年
		通 年

ビジネス中国語について、まずその分類、構成、用法及びビジネスの実務などを概説する。そして基本かつ応用的な文型及び文例を「聞く、話す、読む、書く、訳す」の練習を通じて学ぶとともに、日本と中国のビジネス関連の文献を読みながら、それぞれについて討論、発表、評価し、卒業後ビジネス現場での即戦力となりうる必要な語学の表現能力・方法、ビジネスでの思考方法・技術と実務関係の知識・ノウハウを習得することを目標とする。

※なお、受講対象は原則として、4年生で、「中国語学特殊研究Ⅰ・Ⅳ」（中国語通訳法Ⅰ・Ⅱ）を履修済みの学生のみ受講可能であり、かつ開講時にプレズメントテストを行い決定する。

評価方法：成績の評価は、平常の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的に判断して判定する。

テキスト名：『実戦ビジネス中国語会話』塚本 慶一，白水社
『ビジネス中国語マニュアル』藤本 恒，東方書店
その他

日 中 比 較 言 語	さくら い あき はる 桜 井 明 治	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

日本語と中国語をさまざまな角度から比較検討して、その異同を明らかにしながら、両言語の本質的な特徴の把握に努める。前期は以上の講義を行う。夏休みには、前期の授業を参考にして、各自テーマを決め、レポートを作成する。

<後期>

担当教員の指導の下に、各学年が提出したレポートを素材にして、各人研究発表を行ない、他の学生と討論して、日中言語比較に関する認識を深めていく。

評価方法：レポート、研究発表、出欠を総合して判定する。但し、出席は2／3以上が要求される。

テキスト名：プリント

中 国 社 会 概 論	なか の けん じ 中 野 謙 二	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

社会学的なアプローチを通じて中国社会の体制・制度、階層、グループの基礎的把握に努める。同時に1980年代以後の近代化政策のなかで、社会構造がどう変化しつつあるかを視野に入れ、わが国でも大きな関心の持たれている中央と地方の格差、潜在失業者の実態と解決策、余剰労働力と人口流動のかかわりなどの幅広い解明を試み、そのうえに21世紀に向けての展望を描いてみる。

<後期>

後期は中国社会をソフト面から分析する。市場経済の導入にともなって、一般大衆が社会主義、民主、人権あるいは儒教、道教などをどう受けとめつつあるかといった政治、思想、文化面を検討、さらに社会問題としてのモラルの欠如、不正腐敗、治安・犯罪の全般的傾向を取り上げる。それらを通じて中国人の民族性と、その底流にある風土、歴史とのかかわりを総括的に把握する。

評価方法：期末にレポートを提出してもらうが、出席を重視し、しばしば質疑もしくはアンケートを行なう。

テキスト名：『中国の社会構造』中野 謙二，大修館書店（1997年2月出版）

中国 社会 特殊 研究	なか の けん じ	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

12億の隣人がどう暮らしているのかを、複眼的に考察する。前期は人間の生育過程にあわせた捉え方を実施、一人っ子政策に始まり教育、恋愛、結婚から家庭生活へと進み、サラリー、社会保障、医療制度についても理解する。そうしたなかで、衣食住を中心とする中国人の生活風景をうきほりにしたい。

<後期>

後期は視点をかえ、正月のお祝いから清明節、端午の節句、夏休み、中秋節、国慶節といった中国の祝祭日を中心に四季の移り変わりと、それにあわせての風俗習慣を取り上げる。と同時に、そうした歳時記が近代化その他の政治的社会的変動にともなって、どう変化したかも解明する。風習のなかには日本の原形が見られるものも多いので、日中比較をも交えてみたい。

評 価 方 法：期末にレポートを提出してもらうが、出席を重視し、しばしば質疑もしくはアンケートで意見発表を求める。

テキスト名：プリント配付

中国 経 済 概 論	かわ むら よし お	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

1842年のアヘン戦争から1949年の中華人民共和国の成立にいたる「半植民地経済」の歴史を、以下のとおり概観する。

(1)アヘン戦争の封建中国に対する衝撃 (2)洋務運動(上からの工業化)と挫折 (3)日清戦争と半植民地経済の深化 (4)中国民族資本主義の成長 (5)旧農村の地主経済と土地革命の展開。

<後期>

1949年以降の現代中国経済の展開について以下のとおり追究する。

(1)国営企業の形成と私営企業の改造 (2)農村における土地改革・協同組合化・人民公社化および家族経営への変転 (3)都市の工業化と農村工業の進展 (4)社会主義市場経済への改革 (5)対外経済関係の多様化と日中貿易。

評 価 方 法：後期末に1回のみ筆記試験を行うので、平常の出席を重視する。

参 考 書：『現代中国経済とアジア』河地 重蔵他 世界思想社、1994年

中国経済特殊研究	かわむらよしお 川村嘉夫	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

戦後50余年来の日本と中国の経済交流史について、次のとおり両国の政治経済状況と日中をとりまく国際情勢の中に位置づけながら追ってゆく。

- (1) 1950年代 冷戦体制と日中民間貿易協定の調印
- (2) 1960年代 友好貿易とL T貿易の成立
- (3) 1970年代 日中国交正常化、平和友好条約と長期貿易取り決め
- (4) 1980、90年代 中国の対外開放政策と日中経済関係の多様な発展

<後期>

日中貿易や日本の対中直接投資等に関する論文を、最新の『中国対外貿易』誌等から選択して講読する。

評 価 方 法：試験は後期末に1回行うので、平常の出席を重視する。

参 考 書：『日中関係1945－1990年』田中 明彦，東京大学出版会、1991年。

中国経済演習	かわむらよしお 川村嘉夫	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

中国の工業、農業、金融、経済改革、消費・社会生活、対外経済関係等に関する注目論文を、1997年の中国の新聞・雑誌から選択して講読し、発表と討論により、最新の中国経済動向の把握につとめる。

評 価 方 法：前期末と後期末に原書訳読の試験を行う。

テキスト名：『人民日報』、『求是』、『経済研究』等から選択する。

中	国	史	なか	むら	ただし	4 単 位
						1 ～ 4 年
						通 年

<前期>

流動的なアジアの政治、経済、文化を考える手だてとして、また現実の中国を知るために、19世紀中紀から現代にいたる中国政治史を講義する。国際的景気的重要性と内的発展の二面を中心としてすすめていく。また日本との関連についてもふれたいと思う。

<後期>

前期と同様。

評 価 方 法：試験及び出席から判断する。

テキスト名：『中国現代史（新版）』中嶋 嶺雄 有斐閣

中 国 文 化 思 想 概 論	なか	むら	ただし	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

<前期>

中国の現在を知る手がかりとして、中国の伝統的思想を対象とし、それが19世紀半ば以降、西欧思想の流入とどのように需要・反撥したのかを考える。また現代史に登場する代表的政治家、知識人をとりあげ、彼らの残した様々な文書を紹介しながら、上記の課題を考えてみたい。

<後期>

前期と同様。

評 価 方 法：試験・レポートの併用

海 外 華 人 論	さくら	い	あき	はる	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

海外華人の人口は、東南アジア、アメリカ、カナダ、オーストラリア、日本など世界で凡そ三千万人といわれる。前期は、海外華人の歴史、現況を概観する講義で、大量の中国人が海外に居住するようになった理由、「華僑から華人へ」など彼らのアイデンティティ、他民族との共存、積極的な外資導入で高度経済成長を遂げる中国との関係など、今日の海外華人問題を把握する上での基礎知識の把握に努める。夏休みに、海外華人問題に関するレポートを提出する。

<後期>

担当教員の指導の下に、各学生が提出したレポートを素材にして、各人研究発表を行ない、他の学生と討論して、海外華人問題の認識を深めていく。

評 価 方 法：筆記試験、レポート、研究発表、出欠を総合して判定する。但し、出席は2／3以上が要求される。

テキスト名：最初の授業時に指示する。

中国文学概論	かわしまいくお夫 川島郁夫	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

漢代末期に始まり宋代まで続く文語体小説（文言小説）の歴史の跡を辿る。授業は各時代ごとに流行したジャンルについて、作品の鑑賞を交えつつ講義形式で進める。

評 価 方 法：学年末に筆記試験を実施する。

参 考 文 献：『中国小説の歴史の変遷』凱風社

中国古典講読	さかいけんいち 坂井健一	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

本年度も前・後期通じて《史記》を古典講読として演習講読する。歴史的には永く地域的には広大な範囲に生活してきた中国民族の生きざま、行動の様式とかいわれる面を理解することによって、現代中国との係わり合いについての有力な資料となることを期する。前期は《史記》構成主要部篇、本紀・世家・列伝のうち、楚文化の主要国であった楚世家・越王句踐世家を講読する。

<後期>

後期は中国民族（漢民族）の個人の生き様を管見するため、列伝を講読する。もちろん、列伝といっても、個が何の係わり合いもなく、孤立存在するものではなく、歴史的流れの中で、いろいろな背景をもって生きているのであるから、その個人の生き様は、まさしく、民族の行動様式につながるものなのである。後期は前期の世家と関連ある《屈原・賈生列伝》・《伍子胥列伝》を読む。

評 価 方 法：講読演習（現代音・訓読いずれでも可）とレポート（前・後期各一回）。

テキスト名：『史記注釈』三秦出版社（コピー）

中国近世文学研究	かわしまいくお夫 川島郁夫	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

白話短篇小説『警世通言』巻7〈陳可常端陽遷化〉を講読する。履修者は原典読解を分担し、担当箇所について提起される問題点について報告を提出しなければならない。

評 価 方 法：平常授業の成績により判定する。

テキスト名：プリント使用

中国現代文学研究	リン 林	ファン 芳	4 単 位
			3 ～ 4 年
			通 年

<前期>

1949年、新中国誕生以降の現代文学（中国語ではく当代文学）の歩みを主な文芸運動によって辿り、各時期の代表的な作品（映画作品も含む）を拾って鑑賞する。

ここで取り上げる文芸運動は主に、人民文学・社会主義新文学の指針となった「文芸講話」を始め「社会主義リアリズム」「『紅樓夢』批判」「胡風批判」「百花斉放、百家争鳴」「人間性と人道主義」「中間人物論批判」「反右派闘争」「文革」「新時代の文学」などで、「中国現代文学演習」の入門コースとする。

<後期>

前期の継続。

評 価 方 法：講義と学生の研究発表の形で授業を進め、教場発表と授業態度・レポートにより採点する。

テキスト名：プリント

参 考 資 料：『中国当代文学』 華中師範大学〈中国当代文学〉編写組
『中国当代文学』 唐 韜 外文出版社
『原典中国現代史』第5巻 思想文学 岩波書店

中国現代文学演習	リン 林	ファン 芳	4 単 位
			3 ～ 4 年
			通 年

1949年、新中国成立から現在までの、「中国現代文学」の歩みを、歴史の大きな流れの中で捉え、各時期の代表的作品の原書講読・分析・鑑賞（映画も含む）を通じて、中国の人・思想・社会・文化への理解を、文学の角度から深めていく事を旨とする。四年生を主な対象とする。

<前期>

1949年から、文革後約十年たった1985年までをメインに考察する。

<後期>

1985年～1986年以降、外国の文芸思潮の流入により、中国文学界に現われたさまざまな流派とその作品を、重点的に考察する。

評 価 方 法：教場での発表とレポートにより採点。

テキスト名：プリント『中国社会主義新文学35年の歩み』〈江古田文学〉85.7号
『文革後の中国文壇』〈中央公論〉84.10.ほか。
作品のプリント

4) スペイン語学科専門教育科目

スペイン語総合講座Ⅰ		6 単 位
		1 年 年
スペイン語作文Ⅰ		2 単 位
		1 年 年
スペイン語会話Ⅰ		4 単 位
		1 年 年

※ 1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「スペイン語基礎Ⅰ(a)・(b)」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

スペイン語の発音・文法・会話・読解を互に関連づけながら、徹底した演習を通して「読む・書く・聞く・話す」という総合的能力を養成することを目的とする。週6時間の授業は文法3時間、講読1時間、会話・演習2時間（うち1時間はLL使用）から成る。また基礎単語（約900）の習得を確実なものとする。

評価方法：担当者6人の先生が個別に試験を行なう。

テキスト名：未定

スペイン語総合講座Ⅱ		6 単 位
		2 年 年
スペイン語作文Ⅱ		2 単 位
		2 年 年
スペイン語会話Ⅱ		4 単 位
		2 年 年

※ 2年生で平成6年度以前に入学した学生は、「スペイン語基礎Ⅱ(a)・(b)」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

「スペイン語基礎Ⅰ」で習得した知識をさらに発展させ、確かなものとすることを目的とする。文法は実際の文がどのように構成されているか、運用面から検討を加えていく。また作文演習によって文法的知識の実体化を図ることが重要である。会話は実際のコミュニケーションに役立つように多岐の表現法を身につけることを目標とし、視聴覚教材を活用して行なう。従って1週6時間の授業は文法1時間、作文1時間、講読2時間、会話・演習各1時間ずつとなる。また基礎単語Ⅱ（約千語）の習得を目指す。

評価方法：担当者6人の先生が個別に試験を実施する。

テキスト名：未定

平成6年以前入学の3年次生の専攻外国語科目の履修について

平成6年度以前入学の3年次生は、3～4年次の2年間に、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目8科目（16単位）を履修することにより、専攻外国語科目8単位を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用カリキュラム授業科目名
スペイン語総合講座Ⅲ（2単位）	スペイン語研究Ⅰ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅰ（b）（2単位）
スペイン語作文Ⅲ（2単位）	スペイン語研究Ⅱ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅱ（b）（2単位）
スペイン語総合講座Ⅳ（2単位）	スペイン語研究Ⅲ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅲ（b）（2単位）
スペイン語作文Ⅳ（2単位）	スペイン語研究Ⅳ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅳ（b）（2単位）

平成6年以前入学の4年次生の3年次専攻外国語科目の再履修について

平成6年度以前入学の4年次生は、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目を履修することにより、該当する専攻外国語科目を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用カリキュラム授業科目名
スペイン語総合講座Ⅲ（2単位）	スペイン語研究Ⅰ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅰ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅱ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅱ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅲ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅲ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅳ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅳ（b）（2単位）
	上記8科目のうち2科目（4単位）を履修すること。ただし、「スペイン語作文Ⅲ」として履修した科目を除く。
スペイン語作文Ⅲ（2単位）	スペイン語研究Ⅰ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅰ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅱ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅱ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅲ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅲ（b）（2単位）
	スペイン語研究Ⅳ（a）（2単位）
	スペイン語研究Ⅳ（b）（2単位）
	上記8科目のうち2科目（4単位）を履修すること。ただし、「スペイン語総合講座Ⅲ」として履修した科目を除く。

スペイン語研究Ⅰ(a)	みやもとひろし 宮本博司	2 単 位
		3 年 期
		前 期

1・2年次で習得した基礎知識を土台にして、スペイン語の読解力の向上を目指す。授業はかなりのスピードで進め、多読と精読を両立させるように努める。同時に、読解の基本である語彙力の増強を図る。テキストは比較的平易なスペイン語で書かれたものから始め、徐々にレベルを上げて行きたい。

評価方法：期末試験および授業での積極性を加味した平常点で成績を評価する。

テキスト名：プリント使用

スペイン語研究Ⅰ(b)	みやもとひろし 宮本博司	2 単 位
		3 年 期
		後 期

「スペイン語研究Ⅰ(a)」で身につけた読解力の更なる向上を目指す。

評価方法：期末試験および授業での積極性を加味した平常点で成績を評価する。

テキスト名：プリント使用

スペイン語研究Ⅱ(a) A	マリア ホルヘ MARIA JORGE	2 単 位
		3 年 期
		前 期

EL OBJETIVO DE ESTA ASIGNATURA ES PROPORCIONAR A LOS ESTUDIANTES UN MARCO ADECUADO QUE LES PERMITA MEJORAR LA CAPACIDAD ADQUIRIDA, TANTO EN LA COMPRENSION Y EXPRESION ORAL COMO ESCRITA. PARA ELLO SE HA ELEGIDO UN TEXTO QUE CONTIENE EJERCICIOS ESPECIFICOS PARA EL DESARROLLO DE CADA UNO DE ESTOS ASPECTOS DE LA LENGUA.

SE HARA ESPECIAL HINCAPIE EN LA LECTURA E INTERPRETACION DE TEXTOS ESCRITOS, FUNDAMENTALMENTE PERIODISTICOS Y LITERARIOS.

COMO MATERIAL COMPLEMENTARIO SE ENTREGARAN FOTOCOPIAS, SIEMPRE Y CUANDO SE REQUIERA AMPLIAR CUALQUIERA DE LOS ASPECTOS TRATADOS EN CLASE.

評価方法：SE VALORARA NO SOLO LA ASISTENCIA A CLASE, SINO TAMBIEN - Y DE FORMA MUY ESPECIAL - LA PARTICIPACION EN ELLA.

テキスト名：PREPARACION DIPLOMA BASICO ESPAÑOL LENGUA EXTRANJERA JESUS ARIBAS, ROSA MARIA DE CASTRO, EDELSA

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅱ (b) A	マ リ ア ホ ル ヘ MARIA JORGE	2 単 位
		3 年
		後 期

EL OBJETIVO DE ESTA ASIGNATURA ES PROPORCIONAR A LOS ESTUDIANTES UN MARCO ADECUADO QUE LES PERMITA MEJORAR LA CAPACIDAD ADQUIRIDA, TANTO EN LA COMPRENSION Y EXPRESION ORAL COMO ESCRITA. PARA ELLO SE HA ELEGIDO UN TEXTO QUE CONTIENE EJERCICIOS ESPECIFICOS PARA EL DESARROLLO DE CADA UNO DE ESTOS ASPECTOS DE LA LENGUA.

SE HARA ESPECIAL HINCAPIE EN LA LECTURA E INTERPRETACION DE TEXTOS ESCRITOS, FUNDAMENTALMENTE PERIODISTICOS Y LITERARIOS.

COMO MATERIAL COMPLEMENTARIO SE ENTREGARAN FOTOCOPIAS, SIEMPRE Y CUANDO SE REQUIERA AMPLIAR CUALQUIERA DE LOS ASPECTOS TRATADOS EN CLASE.

評 価 方 法 : SE VALORARA NO SOLO LA ASISTENCIA A CLASE, SINO TAMBIEN - Y DE FORMA MUY ESPECIAL - LA PARTICIPACION EN ELLA.

テキスト名 : *PREPARACION DIPLOMA BASICO ESPAÑOL LENGUA EXTRANJERA* JESUS ARRIBAS, ROSA MARIA DE CASTRO, EDELSA

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅱ (a) B	やなぎ はら たか あつ 柳 原 孝 敦	2 単 位
		3 年
		前 期

スペイン語の小説を読む訓練を行なう。長編と短編ではその難しさも異なるのだが、本講では短編を扱う、下記のアンソロジーを一回につき一編の目安で読んでゆく。文学上の議論にまで踏み込むことができればそれにこしたことはないが、とりあえずは理解し、その面白味がわかることを目的とする。学生の討論を中心に授業を進めるので、予習が欠かせないことは言うまでもない。

評 価 方 法 : 平常点とレポートで行なう。

テキスト名 : *Antología crítica del cuento hispenoamericano del sigloXX* José Miguel Oviedo, Alianza Editorial

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅱ (b) B	やなぎ はら たか あつ 柳 原 孝 敦	2 単 位
		3 年
		後 期

Ⅱ(a)に引き続き短編小説を読んでゆく、テキスト、授業の進め方等も前期に同じ。

スペイン語研究Ⅲ (a)	こ狐 だき崎 とも知 み己	2 単 位
		3 年 期
		前 期

現代ラテンアメリカ社会に関する評論を通して、ラテンアメリカの様々な様相に触れる。テキストは雑誌や新聞記事、評論集などから教員が選び、学生に提供する。

評価方法：出席とレポートの総合評価。

スペイン語研究Ⅲ (b)	こ狐 だき崎 とも知 み己	2 単 位
		3 年 期
		後 期

現代ラテンアメリカ社会に関する評論を通して、ラテンアメリカの様々な様相に触れる。テキストは雑誌や新聞記事、評論集などから教員が選び、学生に提供する。

スペイン語研究Ⅳ (a) A	オルビード ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	2 単 位
		3 年 期
		前 期

The course focuses on the development of oral and reading comprehension, writing style, presentation of topics, knowledge of the Spanish grammar, and overall cohesiveness of the various skills.

評価方法：Attendance, participation in class, and successful completion of final exams are requirements to pass the course.

テキスト名：Cumbre (Nivel Medio) Aquilino Sánchez Ma Teresa Espinet, Pascual Cantos, Sociedad General Española de Librería (SGEL)

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅳ (b) A	オルビード ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	2 単 位
		3 年
		後 期

The course focuses on the development of oral and reading comprehension, writing style, presentation of topics, knowledge of the Spanish grammar, and overall cohesiveness of the various skills.

評 価 方 法 : Attendance, participation in class, and successful completion of final exams are requirements to pass the course.

テキスト名 : *Cumbre (Nivel Medio)* Aquilino Sánchez, Ma Teresa Espinet, Pascual Cantos, Sociedad General Española de Libreria (SGEL)

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅳ (a) B	こ ばやし しんいちろう 小 林 晋一郎	2 単 位
		3 年
		前 期

ラテンアメリカの主要国に関する哲学者、評論家など知識人の論評をとりあげ、これを読むことによりスペイン語の読解力を向上させつつ、ラテンアメリカの背景を構成する社会的、文化的、歴史的、政治的狀況の理解に努める。

評 価 方 法 : 期末に筆記試験を行なう。

テキスト名 : プリントを配付する。

ス ペ イ ン 語 研 究 Ⅳ (b) B	こ ばやし しんいちろう 小 林 晋一郎	2 単 位
		3 年
		後 期

「スペイン語研究Ⅳ(a)」の続きを行なう。

評 価 方 法 : 期末に筆記試験を行なう。

テキスト名 : プリントを配布する。

スペイン語総合講座Ⅳ	^{きし} 岸 ^{だい} 大 ^{すけ} 介 ^{オスカル} OSCAR ^{メンドーサ} MENDOZA	2 単 位
		4 年
		通 年

岸 大介

1. プリントによる講読を通して文法力の総チェックを行なう。
2. 最近収録したメキシコのテレビ番組などのビデオを見て、文化の共通点・相異点にふれる。
—ゲームなどを通じて、語彙力・文法力の強化を目指す。
—歌、インタビュー、スピーチなどのディクタードを行なう。

評 価 方 法：定期試験(25%)＋スピーチ(25%)＋小レポート(25%)＋授業参加・出席(25%)＝100%

テキスト名：プリント使用

オスカル・メンドーサ

テキストの講読を通して、テキストの総理解解をはかり、生徒は内容を要約し説明しなければならない。

評 価 方 法：成績は出席、授業への参加及び試験により評価する。

テキスト名：España, ayer y hoy—Itinerario de Cultura y Civilizacion, SGEL

スペイン語作文Ⅳ	^{きし} 岸 ^{だい} 大 ^{すけ} 介 ^{オスカル} OSCAR ^{メンドーサ} MENDOZA	2 単 位
		4 年
		通 年

岸 大介

前の週にキーワードまたは一定のテーマを提供しておくので、それに関して1～2ページの作文を書いてもらう。次の週に、文法・表現上の誤りなどについてコメントを行なう。

時間が許せば、メキシコで収録したテレビ番組などのビデオの考察を通して、さまざまな表現を学ぶ。

評 価 方 法：課題レポート（50%）＋定期試験（25%）＋授業参加・出席（25%）＝100%

オスカル・メンドーサ

日本語で書かれたプリントをもとにスペイン語で文章を作成することを学ぶ。その際必要な統語的構造の規則についても説明する。

評 価 方 法：成績は出席、授業への参加及び試験により評価する。

テキスト名：プリント

ス ペ イ ン 語 学 概 論	え とう いち ろう 江 藤 一 郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

スペイン語の音声、音韻論を学ぶ。スペイン語が言葉であるからには、その音声を観察し、研究することは当然であり、スペイン語らしい発音をするための第一歩である。音を学問として扱うと、音声学にとどまらず、音韻論、又は音素論という考えも学ばなければならない。この知識がないと形態音素論も理解できない。日本語や英語の音声と対照して、講義する。

<後期>

スペイン語の続語論の中の接続法を扱う。その用法の多くは、英語の仮定法の用法と共通する。スペイン語で接続法は、subjuntivo と言い、英語で仮定法は、subjunctive と言うのがわかると、日本語の文法用語に惑わされていたのが理解できる。スペイン語と英語の用法を対照させながら、スペイン語の接続法のより高い理解にせまりたい。

中南米のスペイン語にも、軽くふれたい。

評 価 方 法：学期末に試験を行なう。

テキスト名：プリント

ス ペ イ ン 語 音 声 学	ア ナ マ リ ア デ ミ ゲ ル ANA MARIA DE MIGUEL	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

EL objetivo del curso es que el estudiante llegue a pronunciar, con la mayor corrección posible, el castellano estándar de España (cuya opción se justifica por ser la lengua materna del profesor). En dicha adquisición se distinguirán tres fases: la identificación del sonido, su producción, y su consolidación. Se estudiarán unas nociones generales de fonética y fonología, utilizando en ello asimismo la lengua del alumno u otras que pueda conocer. La mayor parte de las clases se dedicarán a ejercicios de pronunciación en el laboratorio de lenguas, a través de material auditivo.

I. Estudio del cuadro de los fonemas del español, y su contraste con el japonés.

<後期>

En esta fase la finalidad fundamental es adquirir la corrección en la interacción oral y en la lectura. Se requiere, por tanto, una consolidación de la pronunciación, de manera que el alumno la produzca espontáneamente.

2. Diptongos y triptongos.
3. La sílaba. EL grupo fónico.
4. La entonación.

評 価 方 法：La calificación de ambos cursos dependerá de：

1. Asistencia, ejercicios, participación (40%)
2. Examen oral (60%)

テキスト名：Manual práctico de corrección fonética del español SANCHEZ / MATILLA,
S. G. E. L. Madrid. España.

ス ペ イ ン 語 史	え 江 とう 藤 いち 一 ろう 郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

スペイン語は、ラテン語から生まれたロマンス語の一つである。ローマ帝国に支配され、その言葉ラテン語のスペイン方言から、生まれたのである。スペイン語史は、スペインの歴史と重なる。ゲルマン民族の大移動のためスペインにやってきた西ゴート族の影響で、独語、英語と共通する単語をもち、イスラム教のムーア人に八世紀も支配されたため、アラビア起源の単語が四千もある歴史を、歴史言語学の観点から講義する。

<後期>

語史を通時的に変化の歴史と捉えて、形態だけを勉強すると、無味乾燥になるので、古典作品を現代スペイン語訳と対照しながら読みすすみ、現代の西和辞典を使ってかなり内容がわかることを理解させたい。テキストは、14世紀の散文の代表作家であるドン・ファン・マヌエルの『ルカノール伯爵』の第25話「サラデインの忠告によって牢獄から解放されたプロヴァンス伯に起こったこと」を読む予定。

評 価 方 法：学期末に試験を行なう。

テキスト名：プリント

アメリカスペイン語特殊研究	きし 岸 だい 大 すけ 介	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

アメリカスペイン語の地域区分から、音声・文法（統語形態）・語的特徴までを概説する。

<後期>

アメリカスペイン語に関する最近の論文を読み、特に社会言語学、方言学の方法論を学ぶ。
現地調査で収録したテープを転写する訓練をすると同時に、言語学的に分析する能力を養う。

評 価 方 法：前期：定期試験（50％）＋小レポート（25％）＋授業参加（25％）

後期：研究レポート（66％）＋授業参加（34％）

テキスト名：El español en América José G. Moreno de Alba, Fondo de Cultura Económica

日 西 語 対 照 研 究 I	あお 青	やま 山	ふみ 文	ひろ 啓	2 単 位
					2 ～ 4 年
					前 期

私たちの母国語である日本語と学習対象である外国語（この場合はスペイン語）とを対照することは、少なくとも二つの意味で重要である。一つは私たち学習者の犯す誤りの（全てではないが）多くが母国語に由来すること、もう一つは日本の外国語教授法では文法翻訳法の強い影響でこうした母国語と外国語との関係についての関心が高まらなかったこと、以上二つの意味においてである。前期の講義では、構文論と語構成論を中心に日本語とスペイン語の対照方法とその結果について考察しながら、各自が後期に作成するレポートのテーマとして参考になるような問題点を指摘する。

評 価 方 法：出席、参加ならびに論述型の試験による。

テキスト名：『中級スペイン文法』山田善郎（監修），白水社

日 西 語 対 照 研 究 II	あお 青	やま 山	ふみ 文	ひろ 啓	2 単 位
					2 ～ 4 年
					後 期

後期では、夏休み中に各自が作成したデータを基に、レポートを作成することを目的として発表形式で講義を行なう。

受講希望者は日本語学とスペイン語学関係の講義を履修済みか履修中であること。またレポートの執筆は全員フロッピーとそのプリントアウト版の両方を提出すること。詳しいことは講義の初日に話題に出す予定なので、当日は必ず出席すること。

評 価 方 法：出席、参加ならびにレポートの内容により評価する。

テキスト名：『中級スペイン文法』山田 善郎（監修），白水社

商 業 ス ペ イ ン 語	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

＜前期＞

限られた期間内で貿易全部の仕組みを完全に理解することは不可能です。従って受注→発注→信用状取込み→船積み→信用状買取りまでの活動の中で使用される貿易用語を西語、英語、邦文で説明し貿易の仕組みを説明します。教材は実在の商社に入電されてくる西語通信文（主としてFAX）を使用し、受講者はその内容を把握し返事を西文で作成します。更に数多くの商業英文の西語翻訳も実施します。

＜後期＞

入手した西語商業信用状を英語に転換し、実際に上記商社で使用している送り状、梱包説明書、船荷証券書、保険証券の実物を見ながら銀行提出のための船積み書類を作成します。荷為替手形、信用状買取依頼書も実物を使用して作成します。通常形態の信用状であればそれが英文であれ、西文であれ、その内容を理解し、必要船積み書類を作成、銀行買取りまで出来る即戦力の力をつけることが最終目標です。

評 価 方 法：前期：夏期宿題として前期に学んだ単語のINDEX作成（西語－英語－日本語）を課す。

後期：実物の西文商業信用状を見て、要求されている必要書類を作成、銀行買取りまでの作業を行う。

テキスト名：適時、教材を配付します。

ス ペ イ ン 語 翻 訳 法 I	き た のぶ たか 喜 多 延 鷹	2 単 位
		3 ～ 4 年
		前 期

語学授業の西文和訳はスペイン語辞書と、修得したスペイン語文法の公式のみを使っていわゆる直訳すればそこで終了するが、出来上がった日本語は語学生の間でしか理解できないものが多く一般社会に通用しないものが多い。本講座は直訳から出発し、どのようにして公式臭を除去し、自然な日本語に直していくかを研究する。スペイン語の正確な読解と併せて、それを正確な日本語で表現する技術を学ぶ。

評 価 方 法：授業への積極的な参加と授業態度、レポートにより評価する。

テキスト名：La mortaja ミゲル・デリーベス、プリント配付

ス ペ イ ン 語 翻 訳 法 Ⅱ	喜 多 延 鷹	2 単 位
		3 ～ 4 年 期
		後 期

I に同じ。（ただし、I の書名のものが終了すればその時点で考える。）

時 事 ス ペ イ ン 語	戸 門 一 衛	4 単 位
		2 ～ 4 年 期
		通 年

<前期>

NHK衛生放送の「スペインのニュース」を主たる教材とし、政治・経済・社会全般の事象を理解できるように（最初に日本語を流した後）、背景解説、スペイン語語句の説明、文章構造を説明する。

基本的なところから説明はするが、ニュースを理解することが目的なので本当に「やる気」がなければ効果は全く無い。前期・後期を通じて、ついて来られる学生のみ受け入れる。

<後期>

授業の進め方は基本的に前期と同じである。例年、学生の半数近くが後期には脱落する。選択科目なので、最後までがんばる覚悟のある学生のみが履修することを望む。

評 価 方 法：辞書、ノートなど持ち込み自由の実力試験を行う。

テキスト名：時々、新聞記事のプリントを配付する。

スペイン語学演習	えとう いちろう 江藤 一郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

スペイン語文法の難関の一つである再帰代名詞の《se》の複雑な用法についての、外人向けの指導研究書を読む。

評価方法：レポートと学年末試験。

テキスト名：プリント

スペイン語圏マス・コミュニケーション論	オルビード ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

Analysis of media as a reflection of society and as a political element. The main objective is to make students aware of media's underlying themes, motifs and messages.

Analysis of Movies

- a. Art cinema
- b. "Underground" cinema
- c. Non-Western films

<後期>

Broadcasting as an instrument of power

- a. Chomsky's critique : manufacturing consent
- b. Soap operas : "Telenovelas" in Latin America

評価方法：There are no prerequisites to take this course ; however, it is recommended for 3rd and 4th year students only.

テキスト名： *The Euro-American Cinema*, Peter Lev, University of Texas Press, Austin

スペイン語圏マス・コミュニケーション論演習	オルビード ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

Seminar on Mass Communication (in Spanish): Critical Theory

The Frankfurt School of Critical Theory

French Critical Theory

The seminar concentrates on the following aspects:

1. Historical view
2. Analysis of basic issues of both schools of thought
3. Reception of Critical Theory in the Hispanic World

評価方法：There are no prerequisites for this seminar. However, it is recommended for 3rd and 4th year students only.

ス ペ イ ン 史	なか がわ いさお 中 川 功	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

古代から中世までを以下の史実ごとに講義する。イベリア半島の地理。古代社会における民族構成と先住民の移動。ローマの属州としてのヒスパニア時代。キリスト教の普及。スペインにおけるゲルマン系民族の存在。イスラム教徒の勢力拡大とアル=アンダルス。レコンキスタとキリスト教世界の復活。複数の世界観が共存するスペイン。

<後期>

近代から現代までを以下の史実ごとに講義する。近代国家への始動とカトリック両王。レコンキスタの成功とアメリカとの出会い。地球上の多くの地域をスペイン領土とした16世紀。ハブスブルグ家とスペインの黄金世紀。ブルボン王朝と啓蒙改革の時代。自由主義への闘い。スペイン内戦からフランコ独裁へ。民主主義への移行期とその後の社会労働党政権の誕生。

評価方法：前期は期末に論述式の筆記試験を実施し、後期はレポート提出とする。それぞれの成績にもとづいて評価する。

テキスト名：ESPAÑA A través de los siglos 小林 一宏，芸林書房

ラテンアメリカ史	やぎ 柳 ぬま 沼 こういちろう 孝一郎	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

コロンブスの新大陸到達前の先スペイン時代のアメリカ大陸古代文明を中心に、以下の内容にそってビデオを観ながら解説する。

- 1) 概説・ラテンアメリカ世界：ラテンアメリカの地勢と自然、地理的区分、文化的区分、人種構成と言語。
- 2) メソアメリカ地域：オルメカ文化、宗教都市国家テオティワカン、サポテカ・ミシュテカ文化、トルテカ王国、アステカ王国、マヤ文明。
- 3) 中央アンデス地域：プレ＝インカ（チャビン、ナスカ、シカン、ティワナコ文化）、インカ文明。

<後期>

大航海時代そして征服後、新大陸には「イベリア世界」が形成された。征服から植民地時代、独立、その後のラテンアメリカ諸国の歩みについて以下の内容にそって解説する。

- 1) 征服から植民地時代：新旧両世界の衝突、新大陸の征服、スペイン領アメリカの統治機構、植民地経済、植民地社会の形成。
- 2) スペイン領アメリカの独立：背景と過程。
- 3) ラテンアメリカ諸国の近代化への歩み：ラテンアメリカ諸国と欧米諸国、従属構造の確立。
- 4) 20世紀のラテンアメリカ：メキシコ革命、ナショナリズムの台頭、軍政から民政移管、インディヘニスモ。

評価方法：前期、後期それぞれレポートを提出する。

テキスト名：参考文献リストを配付する。随時プリントを配付する。

日 西 関 係 史	やぎ 柳 ぬま 沼 こういちろう 孝一郎	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

大航海時代の延長線上で、東アジアで遭遇したポルトガルとスペインのイベリア両国と日本の交渉関係について以下の内容で解説する。

- 1) 布教と貿易。織田信長と南蛮文化。
- 2) スペイン領フィリピンと豊臣秀吉。
- 3) 旧教国（スペイン・ポルトガル）および新教国（イギリス・オランダ）と徳川幕府。幕府とスペイン領ヌエバ・エスパーニャ副王府（現メキシコ）との交渉関係。
- 4) 支倉常長遣欧使節。鎖国。

<後期>

19世紀末、開国後まもない日本と中南米諸国の関係は「日墨条約」を契機に開始され、後に「南米移民」によって進展した。後期は以下の内容にそって日本とラテンアメリカ諸国の諸関係を総合的に解説する。

- 1) 日墨修好通商条約。榎本メキシコ植民団。
- 2) 中南米移住史。中南米諸国における日系人社会（メキシコ、ペルー、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル他の国々）の形成過程と現状（ビデオ鑑賞）。
- 3) 日本とラテンアメリカ諸国の政治・経済関係。日本政府の対中南米経済援助・技術協力関係。中南米諸国との文化交流。

評価方法：前期、後期それぞれレポートを提出する。

テキスト名：参考文献は随時指示する。プリントを配付する。

ラテンアメリカ政治史	こ ざき とも み 狐 崎 知 己	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

時代はラテンアメリカ諸国におけるネーション形成の基盤となった「長期の19世紀」（1780年代～1930年代）を対象にする。次の三点を主要テーマとして、適宜ビデオを用いながら講義を行なう。（1）多様なネーション形成の試み、（2）自由主義革命とリベラリズム、（3）ポピュリズム体制の成立。講義内容は専門的なもので、歴史学研究会編『南北アメリカの500年』（1巻～5巻）、青木書店を読んでおくことを勧める。

<後期>

ポピュリズム体制の崩壊から権威主義体制の成立、民政移管という現代ラテンアメリカ諸国の政治変動を様々な理論を用いて多面的に解明する。環境と開発、エスニシティ、女性運動、グローバリゼーションと文化変容、米国内のラテンアメリカなど、テーマは尽きることがない。

評 価 方 法：定期試験のみ。

テキスト名：『ラテンアメリカ政治と社会』松下洋編，新評論

現 代 ス ペ イ ン の 諸 問 題	と かど かず えい 戸 門 一 衛	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

前期と後期は連動しているので、連続して受講することが望ましい。

前期は独裁体制から民主主義体制への移行の諸問題を、歴史の観点から浮き彫りにする。文献は基本的に日本語なので、学科の枠組みを超えて積極的に授業参加する意欲のある学生を歓迎する。さらに、私たちを取り巻く日本と世界の問題を理解するために、毎回の授業のうち約30分を利用して、学生による問題提起・プレゼンテーションを行い、さまざまなテーマについて一緒に考えてみたい。

<後期>

前期と同じ授業の進め方を継続し、社会労働党政権から国民党政権への変遷、E C加盟と欧州経済通貨統合への対応、社会構成員の意識変化に焦点をあて、普遍的な命題を引き出して、私たちの生きる社会の諸問題を考察したい。

評 価 方 法：前期はレポート、後期は試験によって評価する。

テキスト名：教科書、参考文献は授業中に適宜、指示する。

ス ペ イ ン 美 術 史	セルヒオ ナバロ SERGIO NAVARRO	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

古代から20世紀に至るまでのイベリア半島（スペイン及びポルトガル）の美術史入門。各々の時代の代表的な絵画、彫刻、建築の特徴を時代背景と共に解説（スライド付）。ラテン・アメリカの美術史についても触れる予定。（用語は平易なスペイン語）

評価方法：レポート提出。

テキスト名：プリント使用

メ キ シ コ 特 殊 研 究	ソ コ ロ ミ サ ワ SOCORRO MISAWA	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

この科目の主な目的は、メキシコの文化、歴史を概観することです。具体的には、メキシコの先コロンブス期、植民地時代にわたる歴史の大きな流れを学び、又各時代の様々な面から代表的な美術、建築、宗教、思想、習慣等を選んで、参加者と共に考察したいと思います。

講義や会話は、スペイン語で行います。スペイン語を実際に使って、会話や作文の能力を向上したい学生を歓迎します。

<後期>

ゼミナール形式で行います。学生はテーマを選び、研究の上発表してもらいます。テーマはメキシコの美術、音楽、文学、経済、社会、政治、習慣等々のいずれでも可能。

テキスト名：プリントを用意します。

スペイン・ラテンアメリカ文化特殊研究	スティーヴン ロサ STEVEN LOZA	4 単 位
		3 ～ 4 年
		前 期

Multiculturalism in the United States and Latin America

The course examines, on a historical, analytical basis, numerous cultural groups in the U. S. and their social contexts. Especially emphasized are issues of immigration race relations, intercultural conflict, inter-racial marriage, and literature and the expressive arts. Utilized in the course are films related to these topics in addition to contemporary research and publications. Cultural populations examined in the course include those of African American, Anglo-American, Asian American, Native American, and Chicano/Latino heritages, among others representing the vast diversity of U. S. society.

ラテンアメリカ経済論Ⅰ	こ ばやし しんいちろう 小 林 晋一郎	2 単 位
		3 ～ 4 年
		前 期

ラテンアメリカの資源、産業、人口など経済地理的な基礎知識を習得した上で、70年代までのラテンアメリカ主要国の国家主導型経済開発モデルによる経済発展の過程を考察する。同時に、日本とラテンアメリカとの経済関係を日本企業の貿易、直接投資の面から解説する。

評 価 方 法：授業への参加状況とレポート提出により総合評価する。

テキスト名：プリントを配付する。

ラテンアメリカ経済論Ⅱ	こばやし 小林 晋一郎	2 単 位
		3 ～ 4 年
		後 期

70年代までの経済開発モデルの行き詰まりが82年の対外累積債務問題となって噴出した。80年代の債務問題解決のメカニズムと経済調整政策につき国別に検証する。

また、90年代に入り、ラテンアメリカにおける経済の安定と回復、冷戦構図の終焉、世界経済のグローバル化の状況下で急速に進展している地域総合を検討する。

21世紀を目前にして日本経済にとってのラテンアメリカの位置づけを考える。

評価方法：授業への参加状況とレポート提出により総合評価する。

テキスト名：プリントを配付する。

ス ペ イ ン 経 済 演 習	と か ど か ず え い 戸 門 一 衛	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

ゼミナール形式の授業を進める。

ゼミは、学生と教師が真剣勝負で臨む場である。基本的に、学生のプレゼンテーション・教師の説明・ゼミレポート（卒論に該当する）の3要素を有機的に組み合わせることによって成立する。

科目名は「スペイン経済演習」であるが、国際経済そして地域研究としてのスペインあるいはヨーロッパの政治・経済・社会問題について考察する。前期は、邦語文献を中心に国際経済のテーマを、後期はスペイン語文献も使ってスペイン社会のテーマを考察する。真剣な取り組み姿勢のない学生は、ゼミ生として受け入れることができない。

評価方法：プレゼンテーション、ゼミレポート、平常授業での成果を総合的に判断して、評価する。

テキスト名：参考文献・プリントを授業中に指示・配付する。

ラテンアメリカ史演習	やぎ 柳	ぬま 沼	こういちろう 孝一郎	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

<前期>

この演習はゼミ生各自の関心や問題意識、各自の研究テーマの視点からラテンアメリカ世界を研究するラテンアメリカ地域研究ゼミナールである。前期はテキストを中心に解説を加えながら精読してゆく。その過程でゼミ生は各自研究テーマを決定し、ゼミ論文のテーマ、概要および文献リストを前期中に提出する（文献収集、研究方法については随時指導する）。

<後期>

ゼミ生各自の研究中間発表を持ち回りで質疑応答しながら行っゆき、ゼミ論を仕上げてゆく（論文指導は随時行う）。

評 価 方 法：平常のゼミに対する取り組み姿勢、中間研究発表、ゼミ論文などによって総合的に評価する。

テキスト名：『ラテンアメリカ研究』（世界経済調査会・編）および『ラテンアメリカ事典』（ラテン・アメリカ協会・編）のプリントを配付する。

ス ペ イ ン 文 学 史	ほん 本	だ 田	せい 誠	じ 二	4 単 位
					2 ～ 4 年
					通 年

<前期>

本年度は13世紀から17世紀に及ぶ『スペイン文学史』講義の前半（中世からルネサンス期：13世紀初頭～16世紀前半）を扱う年に当たる。従って授業では『わがシッドの歌』からラス・カサス辺りまでを扱う予定である。前期に扱う他の作家・作品は以下の通り。

ベルセオ、フアン・ルイス、ドン・フアン・マヌエル、ディエゴ・デ・サンペドロ、伝承歌謡（ロマンセーロ）等である。

<後期>

後期に扱う作家・作品は以下の通り。『アマディス・デ・ガウラ』、フェルナンド・デ・ロハス、ガルシラソ・デ・ラ・ベーガ、フアン・デル・エンシーナ、バルトロメ・デ・ラス・カサス等である。

評 価 方 法：一作家について二人ずつ割当て、概説と作品解釈をしてもらう。前期・後期の二回、筆記試験を行なう。

テキスト名：『スペイン文学史』本田 誠二，簡易製本

現 代 ス ペ イ ン 文 学	き 喜 た 多 のぶ 延 たか 鷹	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

スペイン市民戦争後のスペイン文学界を展望し、現代スペイン文学界で評価のさだまっているラモン・センドル、カミロ・ホセ・セラ、ミゲル・デリベス、アナ・マリア・ストウテなど7人の作家の文章を抜粋したものを読む。文学を通して現代スペイン人の内面に触れたい。スペイン文学愛好家・研究者が出てくることを期待する。

<後期>

前期の続きを行う。

評 価 方 法：前期・後期それぞれ試験を行う。（筆記）普段の授業態度も参考。

テキスト名：『スペイン現代小説選』東谷 穎人，芸林書房

現 代 ラ テ ン ア メ リ カ 文 学	やなぎ 柳 はら 原 たか 孝 あつ 敦	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

読みの足場を固めるために、最初の数回は批評理論上の問題点と20世紀までの文学史概観にあてる。その後BorgesやCarpentierらの実際のテキストに触れてゆく。リーディングによる討議を交えながら、教養としての文学講義というよりは読みの実践を行う授業にしたい。

<後期>

García Márquez, Vargas Llosa, Cortázar ら、ブームの主演を演じた作家達のテキストを読む。これらの作家は翻訳も数多くあるので、できるだけ読んでおいて頂きたい。

評 価 方 法：レポート。

テキスト名：プリント配付

ス ペ イ ン 文 学 演 習	ほん だ せい じ 本 田 誠 二	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

スペイン黄金世紀文学（16世紀から17世紀）の研究を目的とする少人数制のゼミ科目である。受講者はあらかじめスペイン文学史を履修していることが望ましい。本年度はセルバンテスの全体像を捉えることを目的とし、処女作の『ガラテア』から主著の『ドン・キホーテ』、晩年の『バルナソ山の旅』『ペルシーレス』に到る彼の主作品について論じる。テキストはE. O. ライリー『セルバンテスの小説理論』（タウルス社、スペイン語版）を用いる。受講者は、セルバンテスの作品のうち、少なくとも1つを読了することが求められる。

評価方法：各自が決めたテーマに関する発表と、学期毎のレポート（年度末はゼミ論文として提出）

テキスト名：Teoria de la novela en Cervantes E. O. Riley, Taurus

5) 韓国語学科専門教育科目

韓 国 語 総 合 講 座 I		6 単 位
		1 年
		通
韓 国 語 作 文 I		2 単 位
		1 年
		通
韓 国 語 会 話 I		4 単 位
		1 年
		通

※ 1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「韓国語基礎Ⅰ」、「韓国語基礎Ⅱ」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

韓国語基礎Ⅰ

5月中旬まで韓国語の文字と発音の基礎を集中的に学ぶ。その後、1)文法を中心に学ぶ授業を週2回、2)作文を中心に学ぶ授業を週1回、3)会話を中心に学ぶ授業を週3回、という構成で行なっていく。

なお、作文と会話の授業は、韓国語の母語話者が担当し、個々の音、語、文の各レベルでの聴取力・発話力が体得できるように徹底的に練習する。

評 価 方 法：履修内容について随時試験を行うほかに、約850語の単語テストも実施する。さらに平常時の出席状況を考慮して総合評価する。

テキスト名：『朝鮮語の入門』（白水社）、『朝鮮語を学ぼう』（三修社）、『基礎朝鮮語一文法と作文Ⅰ』（白帝社）、『基礎朝鮮語一会話編』（白帝社）、『コスモス朝和辞典』（白水社）

韓国語基礎Ⅱ

基本的には、「韓国語基礎Ⅰ」の5月中旬からの内容を継続する。異なる点は、文法の授業において、入門書を11月中旬に終え、その後『韓国語初級読本』によるやさしい文章の読解を行なう点である。

評 価 方 法：履修内容について随時試験を行うほかに、約850語の単語テストも実施する。さらに平常時の出席状況を考慮して総合評価する。

テキスト名：『朝鮮語の入門』（白水社）、『朝鮮語を学ぼう』（三修社）、『基礎朝鮮語一文法と作文Ⅰ』（白帝社）、『基礎朝鮮語一会話編』（白帝社）、『韓国語初級読本』（神田外語大学韓国語学科編）、『コスモス朝和辞典』（白水社）

韓 国 語 総 合 講 座 Ⅱ		6 単 位
		2 年
		通
韓 国 語 作 文 Ⅱ		2 単 位
		2 年
		通
韓 国 語 会 話 Ⅱ		4 単 位
		2 年
		通

※ 2年生で平成6年度以前に入学した学生は、「韓国語基礎Ⅲ」、「韓国語基礎Ⅳ」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

韓国語基礎Ⅲ

1) 講読の授業を週3回、2) 作文の授業を週1回、3) 会話の授業を週2回という構成で行っていく。
 講読の授業は、①語学的に多彩な文章を読むもの、②時事的・文化的な内容の文章を読むもの、③論説文を読むものに分かれる。それぞれの授業の目標をよく理解して授業に臨みたい。
 作文の授業では、様々な分析的形式、用言語尾などに焦点を当てつつ、発話場面が設定された会話体の作文練習を行う。
 会話の授業では、基本的な文法事項を用いた会話が自由にできるような能力をつけることを目標とする。

韓国語基礎Ⅳ

「韓国語基礎Ⅲ」の内容を高度化させながら行っていく。
 評価方法：履修内容について随時試験を行なうほかに、約2000語の単語テストも実施する。さらに平常時の出席状況を考慮して総合評価する。

テキスト名：『韓国語初級読本』（神田外語大学韓国語学科編）、『基礎朝鮮語一会話編』（白帝社）、プリント

平成6年度以前入学の3年次生の専攻外国語科目の履修について

平成6年度以前入学の3年次生は、3～4年次の2年間に、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目のうち8科目（16単位）を履修することにより、専攻外国語科目8単位を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用カリキュラム授業科目名
韓国語総合講座Ⅲ（2単位）	韓国語口頭表現Ⅰ（2単位）
	韓国語口頭表現Ⅱ（2単位）
	韓日通訳法（2単位）
韓国語作文Ⅲ（2単位）	日韓通訳法（2単位）
	韓日翻訳法（2単位）
	日韓翻訳法（2単位）
韓国語総合講座Ⅳ（2単位）	時事韓国語Ⅰ（2単位）
	時事韓国語Ⅱ（2単位）
	韓国語対話文Ⅰ（2単位）
韓国語作文Ⅳ（2単位）	韓国語対話文Ⅱ（2単位）

平成6年度以前入学の4年次生の3年次専攻外国語科目の再履修について

平成6年度以前入学の4年次生は、下記の平成7年度以降入学者用カリキュラムの授業科目を履修することにより、該当する専攻外国語科目を履修したものと見なす。

平成6年度以前入学者用カリキュラム授業科目名	平成7年度以降入学者用カリキュラム授業科目名
韓国語総合講座Ⅲ（2単位）	韓国語口頭表現Ⅰ（2単位）
	韓国語口頭表現Ⅱ（2単位）
	韓日通訳法（2単位）
	日韓通訳法（2単位）
	韓日翻訳法（2単位）
	日韓翻訳法（2単位）
	時事韓国語Ⅰ（2単位）
	時事韓国語Ⅱ（2単位）
韓国語作文Ⅲ（2単位）	上記8科目のうち2科目（4単位）を履修すること。ただし、「韓国語総合講座Ⅳ」、「韓国語作文Ⅲ」として履修した科目を除く。（P.252参照）
	韓国語口頭表現Ⅰ（2単位）
	韓国語口頭表現Ⅱ（2単位）
	韓日通訳法（2単位）
	日韓通訳法（2単位）
	韓日翻訳法（2単位）
	日韓翻訳法（2単位）
	時事韓国語Ⅰ（2単位）
韓国語作文Ⅲ（2単位）	時事韓国語Ⅱ（2単位）
	上記8科目のうち2科目（4単位）を履修すること。ただし、「韓国語総合講座Ⅳ」、「韓国語総合講座Ⅲ」として履修した科目を除く。（P.252参照）

平成 6 年度以前入学の 4 年次生の専攻外国語科目の履修について

平成 6 年度以前入学の 4 年次生は、下記の平成 7 年度以降入学者用カリキュラムの授業科目のうち 2 科目（4 単位）を履修することにより、「韓国語総合講座Ⅳ」（2 単位）を履修したものと見なす。

その他、「韓国語作文Ⅳ」（2 単位）を履修すること。

平成 6 年度以前入学者用カリキュラム授業科目名	平成 7 年度以降入学者用カリキュラム授業科目名
韓 国 語 総 合 講 座 Ⅳ（2 単位）	韓 国 語 口 頭 表 現 Ⅰ（2 単位）
	韓 国 語 口 頭 表 現 Ⅱ（2 単位）
	韓 日 通 訳 法（2 単位）
	韓 日 翻 訳 法（2 単位）
	時 事 韓 国 語 Ⅰ（2 単位）
	時 事 韓 国 語 Ⅱ（2 単位）

韓国語口頭表現Ⅰ	イ 李	ナム 南	スン 淳	2 単 位
				3 ～ 4 年
				前 期

口頭での表現能力を修得することを目標にする授業である。授業はすべて韓国語で行い、様々な状況における会話練習を行っていく。

評 価 方 法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：プリント

韓国語口頭表現Ⅱ	イ 李	ナム 南	スン 淳	2 単 位
				3 ～ 4 年
				後 期

「韓国語口頭表現Ⅰ」の内容を引き継ぎ、韓国語によるプレゼンテーションやディスカッションを行っていく。

評 価 方 法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：プリント

韓 日 通 訳 法	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単 位
			3 ～ 4 年
			前 期

この授業では、逐次通訳や同時通訳のための基本的な技術を学ぶことを目標とする。LL教室を用いて、基本的な文章を手始めとして、ある程度まとまった会話やニュース放送を通訳する練習を行っていく。

評 価 方 法：テストと出席状況を総合して評価する。

テキスト名：プリント

日 韓 通 訳 法	クオン 権	チェ 在	スク 淑	2 単 位
				3 ～ 4 年
				後 期

逐次通訳や同時通訳の基本的な技術を学ぶことを目的とする。LL教室を使用して、基本的な文章から始め、まとまった対話やニュース放送を通訳する練習を行っていく。

評 価 方 法：出席状況や学習態度、テストなどを総合して評価する。

テキスト名：プリント

韓 日 翻 訳 法	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単 位
			3 ～ 4 年
			後 期

韓国語で書かれた小説と、それに対して信頼できる日本語訳のあるものを用いて、韓国語から日本語への翻訳がどのように行われているかを調査し、毎時間発表していく形式で授業を行っていく。

その際、特に注意するのは、終止形の諸形式、分析的形式、階称、語彙、年齢や性別による文体の違いなどである。

評 価 方 法：テストと出席状況を総合して評価する。

テキスト名：プリント

日 韓 翻 訳 法	クオン 権	チェ 在	スク 淑	2 単 位
				3 ～ 4 年
				前 期

日本語で書かれた小説や詩をはじめとする文学作品と、既存の韓国語訳を複数比較対照しつつ、翻訳のあり方を検討し、実際の翻訳も試みる。

語彙と文法、そして文体のすべてにわたって、具体的かつ体系的な分析を志向する。

評 価 方 法：出席や定期試験及び日常的な提出物によって総合的に評価する。

テキスト名：プリント

時 事 韓 国 語 I	と さ ま さ き は ま の う え みゆき 土佐昌樹・浜之上 幸 クオン チェ スク 権 在 淑	2 単 位
		3 ～ 4 年
		前 期

コンピューターを使った韓国語の文章作成に習熟することを目的とする。授業はコンピューター実習室を利用し、コンピューターの初歩的な操作の習得から始める。次にワープロの基本的操作を理解した上で、ローマ字方式を中心に韓国語の入力方法を習得する（KS準拠方式についても時間があれば触れる）。最終的には手紙や簡単なビジネス文書を韓国語で作成し、保存、印字などの作業ができるようになるまでを目標とする。

評 価 方 法：レポート

時 事 韓 国 語 II	チョン ジャン フン 鄭 長 勲	2 単 位
		3 ～ 4 年
		後 期

後日揭示する。

韓 国 語 作 文 IV	クオン チェ スク 権 在 淑	2 単 位
		4 年
		通 年

韓国語と日本語の類似点・相異点に着目しつつ、作文の訓練を通じて韓国語の高度な表現力を養う。①課題文の韓国語訳、②与えられたテーマによる自由作文、の2つを授業の主たる柱とする。併せて口頭での作文練習も徹底して行なう。

評 価 方 法：出席、学習態度、年2回の定期試験及び日常的な提出物によって総合的に評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 語 学 概 論	イ 李 ナム スン 淳	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

現代韓国語の音声学の基礎、音韻、文法の一部について概要を説明し、現代韓国語についての基礎知識を修得していく。講義はすべて韓国語で行う。

<後期>

前期に引き続いて、文法、意味論、敬語法、正書法の概要を解説していく。講義はすべて韓国語で行う。

評 価 方 法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：開講時に指示する。

韓 国 語 音 声 学	イ 李 ナム スン 淳	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

韓国語を聞き話す際には、その背景に音声学と音韻論に関する知識が必要なことはいくら強調してもあまりあることはない。

前期においては、音声学および音韻論の基本知識を学んだ後に、現代韓国語の分節音素である母音と子音の音声と音韻体系を論ずることにする。その際、歴史的な変遷の過程についても適宜言及していく。

なお、講義はすべて韓国語で行われる。

<後期>

前期では分節音素に関する議論を主に行なったが、後期では、分節音素を越えたレベルでの音声学的・音韻論的現象を取り扱うことにする。

具体的には、①音声の変容や音韻的対立の変化、②超分節音素、③音声象徴の3つになるであろう。

なお、講義はすべて韓国語で行われる。

評 価 方 法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：開講時に指示する。

韓 国 語 文 法 論	かん の ひろ おみ 菅 野 裕 臣	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

韓国語の文法をできるだけ詳しく講義する。研究の非常に遅れた韓国語文法の研究の現状を伝え、かつできるだけ日本語その他の言語との比較において論じようと思う。また文法的意味の記述の方法についてもふれたい。韓国語の形態音素論、語彙と文法の関係、形態論の諸単位について。

<後期>

前期にひきつづき次の内容の講義をする：文法範疇（形態論範疇）、語彙＝文法的範疇、統辞論範疇、韓国語の句読法について等々。なお本講義では言語学者がかつてに頭の中ででっちあげた作例は一切取りあげない。母語話者「言語学者」はしばしば現実に存在しない虚像を作り出し、そのような言語学者こそはもったも言語を知らない人々だからである。

評価方法：レポートの結果で評価する。学生は教師を含めあらゆる権威に対する挑戦を求められる。

テキスト名：プリント

韓 国 語 学 演 習	はま の うえ みゆき 浜之上 幸	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

韓国語を言語学的に分析するためのトレーニングを行う授業である。前期は韓国語学について書かれた論文を読む。その際、韓国や日本における韓国語学研究的現状、理論的な枠組みの作り方、言語資料の集め方、文献目録の作り方など、論文作成に必要な知識を提示していく。その過程で、各自のレポート課題を決定していくことにする。

後期は、各自が選んだ課題に関するレポートを発表しつつ、討論を行っていくことにする。

評価方法：レポートと出席状況を総合して評価する。

テキスト名：プリント

日 韓 対 照 言 語 研 究 I	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単 位
			2 ～ 4 年
			前 期

日本語と韓国語は、語彙の体系、形態論や統辞論の側面において似通った言語であるが、日本語を母語とする者が韓国語を学習する上で、両言語の違いを十分に認識しないまま、誤った表現を用いることが少なくない。そこで、両言語の語彙や文法的形式の対応関係、さらには音韻体系の違いを対照的に論ずることにより、より正確な韓国語の表現を修得することを目標とした授業を行う。その過程で、母語である日本語の諸側面を対象化して分析することも行なっていく。

授業においては、まず総論的な論文を読んだ後、韓国語話者の日本語学習における誤用例を分析していく。

評 価 方 法：試験と出席状況を総合して評価する。

テキスト名：プリント

日 韓 対 照 言 語 研 究 II	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単 位
			2 ～ 4 年
			後 期

「日韓対照言語研究Ⅰ」の内容を高度化させ、個別の問題について書かれた論文を読んでいくことにする。さらには、レポートの発表も行っていく予定である。

評 価 方 法：レポートと出席状況を総合して評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 文 字 論	イ 李	ナム 南	スン 淳	2 単 位
				2 ～ 4 年
				前 期

ハングルが文字論においてどのような位置づけをされているかを考えることを目標にする。授業の展開は以下の通りになる。：

- 1) 世界の文字体系、2) 文字論におけるハングルの位置づけ、3) 「訓民正音」概説、4) 正書法の変遷、5) 文字・書きことばの本質

なお、講義はすべて韓国語で行われる。

評価方法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：開講時に指示する。

韓 国 語 意 味 論	イ 李	ナム 南	スン 淳	2 単 位
				2 ～ 4 年
				後 期

韓国語学習がある程度の水準に到達した者が直面する一つの大きな問題として、語彙に関する問題がある。そこで、本講義では、多義語・類義語・同意語という問題に焦点を当ててみることにする。講義は以下の通りに展開される：

- 1) 意味論・語彙論の基本概念、2) 多義語・類義語・同義語とは何か、3) 個々の多義語・類義語・同義語グループの研究。

なお、講義はすべて韓国語で行われる。

評価方法：試験と授業への参加状況を考慮して評価する。

テキスト名：開講時に指示する。

韓 国 史 概 論	はま 濱 なか 中 のぼる 昇	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

＜前期＞

韓国史（近代以前）に関する基礎的な知識の習得を主な目的として、およそ次のテーマで講義する。1. 古朝鮮 2. 高句麗 3. 百済 4. 新羅の台頭と加羅諸国 5. 新羅の統一と発展 6. 高麗の成立 7. 高麗郡県制と民衆支配 8. 高麗支配体制の動揺 9. モンゴルの支配と高麗の滅亡 10. 朝鮮王朝の成立 11. 士禍・党争 12. 英・王時代

＜後期＞

韓国近現代史に関する基礎的な知識の習得を主な目的として、およそ次のテーマで講義する。1. 勢道政治 2. 大院君政権 3. 閔氏政権の成立と開国 4. 壬午軍乱 5. 甲申政変 6. 東学と甲午農民戦争 7. 日清戦争と甲午改革 8. 初期義兵と独立協会運動 9. 日露戦争と乙巳保護条約 10. 植民地支配と民族運動 11. 民族分断と朝鮮戦争 12. 分断下の朝鮮・韓国

評 価 方 法：期末試験を行なう。

テキスト名：『朝鮮の歴史』（新版）朝鮮史研究会，三省堂

日 朝 関 係 史	はま 濱 なか 中 のぼる 昇	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

＜前期＞

古代の日韓関係史に関する基礎的な知識の習得と学術上の問題点の把握を目的として、およそ次のようなテーマで講義する。1. 七支刀銘文 2. 広開土王碑文 3. 『宋書』倭国伝 4. 日本古代国家の形成と日韓関係

＜後期＞

中世の日韓関係史に関する基礎的な知識の習得と学術上の問題点の把握を目的として、およそ次のようなテーマで講義する。1. 中世日本の韓国観 2. 14世紀後半の倭寇 3. 15・16世紀の日韓関係と対馬 4. 壬辰・丁酉倭乱 5. 柳川始末 6. 華夷秩序と朝鮮王朝

評 価 方 法：期末試験を行なう。

テキスト名：プリントを使用する。

韓 国 近 代 史	チョウ 趙	キョン 景	ダル 達	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

<前期>

朝鮮近代の思想史を考える。具体的には衛正斥邪思想・東学・初期開化思想についてふれるが、できる限り人物にそくして講義を進めていきたい。その際、日本近代の思想との比較も行い、今日の両国の政治文化や社会文化を規定しているものの思想的構造を明らかにできればと思う。

<後期>

前期に引き続き、朝鮮近代思想史を講ずるが、後期には朝鮮における国家主義の形成とその転回相について、特に考えてみたいと思う。具体的には、安重根や申采治などをとり上げる予定である。

評 価 方 法：前期は試験とし、後期はレポートとする。

韓 国 史 演 習	はま 濱	なか 中	のぼる 昇	4 単 位
				3 ～ 4 年
				通 年

韓国的高等学校で使用されている国定教科書『国史』のうちの近現代史の叙述と、朝鮮史研究会編『朝鮮の歴史』（新版）の叙述とを比較し検討する。

ゼミ参加者それぞれの分担を定め、各自問題点を整理して発表し、全員で討論するという形式で進めていきたい。

評 価 方 法：平常点（50点満点）および学年末のレポート（50点満点）。

テキスト名：『国史』（下）国史編纂委員会，大韓教科書株式会社
『朝鮮の歴史』（新版）朝鮮史研究会，三省堂

韓 国 文 化 概 論	と さ ま さ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

韓国文化の諸相について文化人類学的な視点から講義する。映像資料なども用いながら、個々のテーマについてできるだけ具体的な理解が得られるようにする。また同時に、東アジア文化圏やグローバリゼーションとの関連を視野にいれ、韓国文化に対する多元的な理解を追求する。

<後期>

内容面では、前期の継続となる。宗教やナショナリズムなどのより高度なテーマを扱い、韓国文化に対する深い認識を目指す。

評 価 方 法：レポートと論述試験。

韓 国 文 化 演 習	と さ ま さ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

韓国文化のなかから特定のテーマを取り上げ、それに対する深い専門知識と多元的な分析視角を身につけることを目指す。授業はセミナー形式で行ない、まず該当テーマについてのテキスト（日本語および韓国語）の読解を中心に行ない、次の段階として学生が準備した個別的な発表をもとに進めることとする。授業では、参加者各人が活発に議論を戦わせることが何よりも期待されている。

評 価 方 法：レポート。

韓 国 文 化 特 定 研 究	と さ ま き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

日本と韓国の文化について比較的な視点から論じたテキストを毎週一冊の割合で取り上げ、その内容と方法を批判、分析する。授業は学生による発表と討議を中心に進めることにする。

評 価 方 法：レポート

韓 国 文 学 史	アン ウ シク 安 宇 植	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

<前期>

新小説に代表される近代前夜の詩と小説、そしてジャーナリズムの動向などと、日本の植民地下の1945年8月15日までの近代文学の流れ及び文学者の動向と、在日韓国人文学が形成されてきた状況などを見ていきたい。

<後期>

1945年8月15日以後の左右のイデオロギーの対立による文学分野の南北分裂と、それが文学作品や作家にどのように影響したか、さらにまたその後の南北両地域の文学の変貌などを、ビデオなども利用して韓国現代文学の流れを軸に見ていきたい。

評 価 方 法：文学作品と作家に関する研究レポート

テキスト名：プリント

原 書 講 読	クオン 権	チェ 在	スク 淑	4 単 位
				2 ～ 4 年
				通 年

韓国語の小説・随筆・詩など、様々な文体のテキストを厳密に＜読む＞ことを通して、韓国語の広さと深さを味わいたい。

評 価 方 法：出席や学習態度、レポートなどによって総合的に評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 現 代 文 学 研 究 I	アン 安	ウ 宇	シク 植	2 単 位
				3 ～ 4 年
				前 期

受講者のレベルを考慮しながら、ときにはすでに日本語に翻訳されている現代韓国文学作品（詩を含めて）まで加え、なるべく一編でも多く読んでいきたい。

評 価 方 法：レポートと翻訳

テキスト名：プリント

韓国現代文学研究Ⅱ	アン ウ シク 植 安 宇 植	2 単 位
		3 ～ 4 年
		後 期

受講者のレベルを考慮しながら、ときにはすでに日本語に翻訳されている現代韓国文学作品（詩を含めて）まで加え、なるべく一編でも多く読んでいきたい。

評価方法：レポートと翻訳

テキスト名：プリント

3. 教職科目

教 育 原 理 A ・ D	あずま 東	とし 敏	のり 徳	2 単 位
				2 年
				前期・後期

教育ほど人の一生の中で大事なことは数少ない。そうであるならば、教育に携わる教師という仕事もはかり知れない大事さを持つ仕事である。本講義では教師を志す際に必要な基礎的能力の習得を目標としている。しかしたんに知識を増やすだけでは不十分である。私たちは現代の学校教育の中で生じている様々な問題の解決につながる識見を持たなくてはならない。そのために、知識の理論的整理が必要となる。授業においては教育に関する具体的問題について互いに意見を交換し、それぞれの主張の正当性を確認していくという、探究のプロセスが重視される。

評 価 方 法：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：『「選び」の構造』東 敏徳，ユージン伝

教 育 原 理 B ・ C	ぬま 沼	の 野	いち 一	お 男	2 単 位
					2 年
					前 期

教職を志すものの基礎的能力の習得を目標として、現代の学校教育に関する諸問題を考察する。具体的には、教授と学習、学校教育と生涯学習、教育の方法、職業としての教師という問題を取り上げる。詳しい授業スケジュールは最初の時間に配付する。

なお、教育に対する興味・関心の喚起と学習方法の習得を重視して、テキストによる自学と教室での質疑応答によって授業を行うので、それに耐えられる意欲のある学生の受講を希望する。

評 価 方 法：期末試験は行わない。評価には質問票、レポートなどの提出物および授業への参加度を考慮する。

テキスト名：『教育の原理』沼野 一男他，学文社
『情報化社会と教師の仕事』沼野 一男，国土社

教 育 心 理 学 A ・ B	た 田	はら 原	しゅん 俊	じ 司	2 単 位
					2～3 年
					前期・後期

本講義は、1）生徒の諸問題（非行、校内暴力、「いじめ」、不登校、高校中退、薬物乱用など）の現状と特徴、2）諸問題を引き起こすに際して生徒に生じる心理的メカニズム、3）諸問題に対する取り組みの基本的視点、4）具体的指導方法・対策の検討を通じて、生徒の精神発達のメカニズム・発達段階を理解することを目指している。

評 価 方 法：レポート試験を実施の予定である。

テキスト名：『いじめ相談室ーベテラン教師からのメッセージ』田原 俊司（編著），八千代出版

教 育 行 政 学	おか 岡	ばやし 林	たかし 隆	2 単 位
				2 ～ 4 年
				前期・隔週

現代の社会は、法律がもとになって動いている。一見関係がないように思われる教育でも、その背景には、法律、行政の制度があって毎日の教育活動が行われている。これらについて基本的な知識を身につけて初めて良き教育者となることが出来る。そこに教育行政や教育法規を学ぶ必要性が出てくる。

講義では、学校教育に必要な基礎的な法律、制度の仕組みを中心に、体罰、いじめ、学校事故など、具体的な問題にも触れ、教育行政についての体系的な知識の修得を目指すことにする。

第一回目の講義において、最終回までの講義スケジュールを示す予定。必ず4/12の授業時に下記のテキストを購入の上、持参すること。

評価方法：期末試験として、予め出題する小論文問題と択一・穴埋め問題の計2題を出題する。

日程は、4/12・26・5/10・24・6/7・21・7/5の計7回

テキスト名：『必携学校小六法』（'98年度版）森 隆夫編著 協同出版 定価1,600円

なお、必要に応じてプリントを配付する。

教 育 社 会 学	あら 荒	い 井	てる 昭	お 雄	2 単 位
					2 ～ 4 年
					後 期

教育社会学の基礎理論を学び、現代教育の諸問題を教育社会学の視点と方法で分析し、教育の社会的使命と役割について考えさせたい。

講義内容としては、教育社会学とは、学校教育の発達と拡大、学歴社会、問われている学校教育、教師たちの現在、現代家族と子どもの教育、現代社会の中の青少年、教育改革の方向－生涯学習論を中心に－、を考えている。

講義と課題研究、発表、討議を併用する。

評価方法：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率を考慮して評定する。

テキスト名：『教育社会学』新堀通也・加野芳正著，玉川大学出版部

教 育 工 学	ぬま 沼	の 野	いち 一	お 男	2 単 位
					2 ～ 4 年
					後 期

現代の科学と技術の進歩は、さまざまな新しい教育の方法とそれに利用される多様な教育メディアを生み出している。この授業では教授工学の理論を紹介するとともに、それに基づく授業設計の理論、授業の展開、教育メディア、教育におけるコンピュータの利用、教育の評価等を取り上げる。

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配付するが、授業はテキストによる自学と教室におけるVTRの視聴および質疑応答を重視するので、意欲のある学生の受講を希望する。

評価方法：期末試験は行わない。評価は質問票、レポートなどの提出物および授業への参加度による。

テキスト名：『教育の方法・技術』沼野 一男他，学文社

教 材 開 発 論	ぬま の いち お 沼 野 一 男	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配付するが、この授業では授業設計の目的、意義、技術について学ぶ。また、具体的な授業を想定して授業目標の明確化、目標行動の論理分析、コースアウトラインの決定、教授フローチャートの作成等の演習を行う。

・ 演習は2～4名のグループで行うが、希望するグループはCAIのコースウェアのスクリプト（台本）の作成に挑戦することもできる。実践的な興味のある学生の受講を希望する。

評 価 方 法：期末試験は行わない。評価は質問票、レポート、グループ演習の結果、および授業への参加度による。

テキスト名：『教育の方法・技術』沼野 一男他，学文社
『情報化社会と教師の仕事』沼野 一男，国土社

コンピュータの教育利用A・B	た はら しゅん じ 田 原 俊 司	2 単 位
		2 ～ 4 年
		前期・後期

本講義は、第1にパソコンについての基本的知識の習得を目的とする。具体的には、Windowsの操作法、英語・日本語ワープロ、表計算ソフト、e-mailの使用法について習得する。第2に推測したり予測したりする統計的方法について検討し、データをパソコンを用いて解析し、それを小論文としてまとめることを目指す。

評 価 方 法：レポート。

テキスト名：『パソコンによるデータ解析』新村 秀一，講談社

英語科教育法A・B・C・D・E	さ さ き て る お 佐々木 輝 雄	4 単 位
		3 年
		通 年

前期は、主に我が国の英語科教育課程の歴史を追いながら英語教育の変遷を理解し、これからの英語教育の在り方を探る。後期は、指導の背景の理論を大切にしながら、より実践的な学習指導を考える。そのため、中学校及び高等学校別に実際の教科書に基づいて学習指導案を作成し、模擬授業を中心に具体的に考える。前期後期を通じて各種の理論に基づいて具体的な指導を体験的に理解し、英語教育の将来を展望する。

評 価 方 法：学習指導案などのレポートを主とし、模擬授業、出席なども考慮し、後期定期テストで総括的試験を行う。

テキスト名：『新旧学習指導要領の対比と考察』佐々木 輝雄，明治図書出版株式会社
『高等学校学習指導要領解説・外国語編・英語編』文部省，教育出版社株式会社
『中学校指導書・外国語編』文部省，開隆堂出版株式会社

中国語科教育法	こ 児 だ ま け い こ 子	4 単 位
		3 年
		通 年

本講義では、高等学校の生徒に対する中国語科目の講義のあり方について模索し、実際に教職を希望する皆さんと、前期は教師として必要な言語学的な理論に重点を置き、後期は模擬授業等を通して、実際の教室運営を想定した講義を行います。学習内容は、以下の順序です。

1. 中国語教育の環境
(世界に於ける中国語教育、中国の地理・歴史・文化・教育制度・政治等)
2. 日本に於ける中国語教育の歴史と中国語教育法の変遷
3. 入門期の中国語テキストと言語学
4. 中国語学習のストラテジー (外国語習得理論とメソッド等)
5. 中国語教育の目標と課題
6. 中国語について
 - ① 発 音
 - ② 語 彙
 - ③ 文 法
 - ④ 文型等
7. 教材と教材研究 (日本に於ける現行テキストの問題点、教材研究の実際)
8. 各種のテスト、評価及び測定
9. 「学習指導要領」と学習指導案
10. 学習指導案作成
11. 模擬演習

評 価 方 法：講義時にシラバスを配付するので、それに沿ってプレゼンテーションを行う。必要に応じて、レポート等の課題提出があり、指導案、口頭発表等を総合的に評価する。

テキスト名：プリントと参考資料のリストを講義時に配付します。

スペイン語科教育法	ほ ん だ せ い じ 本 田 誠 二	4 単 位
		3 年
		通 年

高校のスペイン語課程の授業を担当する能力を養うことを目的とする科目である。スペイン語を教える際の方法と、比較言語学的側面（日本語、英語との比較）を重視して教授する。授業は前期においてスペイン語教授法の理論的な枠組みについて、後期においては実践的取り組み方を検討する。具体的には、千野栄一著『外国語上達法』等を手がかりとしてスペイン語教育の理想的方法を探り、また各自に割りあてられた文法項目に基づき、授業方針を定めて模擬授業を行なう。

評 価 方 法：ゼミ形式の討論による発表と、学年末のレポート。

テキスト名：『外国語上達法』千野 栄一，岩波新書

韓 国 語 科 教 育 法	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	4 単 位
			3 年
			通 年

本講義は、高等学校の韓国語授業を行なう際に必要となる能力を養うことを目的として、主に以下のことがらを行なう。

1) 日本における韓国語教育の歴史と現状、2) 「朝鮮語の入門」の教師用マニュアルの概説、3) さまざまな教育法（アプローチ・メソッド・ストラテジー）の検討、4) 模擬授業による実際の教室運営、5) 試験問題の作成法。

評 価 方 法：レポート、プレゼンテーション、出席状況を総合して評価する。

テキスト名：『朝鮮語の入門』、プリント

道 徳 教 育 の 研 究 A ・ C	あずま 東	とし 敏	のり 徳	2 単 位
				2 ～ 3 年
				前 期 ・ 後 期

道徳は人間が「人間らしく」生きようになるとともに発生してきた。そして、道徳は人々により思索され、吟味され、次の世代に引き継がれていく。なぜなら道徳教育は私たちがより善い社会を構成し、その中で一人ひとりがより善く生きていくためには不可欠であるからである。ではどのような道徳教育がこのために必要なのか。

この問いに答えるために、授業では道徳教育に関わる具体的問題を取り上げる。そして、その問題についての討議の中で様々な立場の主張を提示し、その吟味を行うことによって、道徳教育の本質や、その実践を考える。

評 価 方 法：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：『教育って何だろう 改訂版』東 敏徳，ユージン・伝

道 徳 教 育 の 研 究 B	あら 荒	い 井	てる 昭	お 雄	2 単 位
					2 ～ 3 年
					前 期

学校における道徳教育の現状は、必ずしも十分ではないと批判されている。子どもの健全な発達を阻害する深刻な教育状況の分析の上に立ち、学校における道徳教育をどう進めたらよいかを、国際社会に生きる日本人としての在り方、人間としての生き方の問題として捉え、学生諸君と共に追究していきたい。

テキストの内容を各人が分担して研究し、発表授業、質疑応答、更に補足講義で理解を深めさせる。

※中学校教育職員免許状取得希望者は必修。

評 価 方 法：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：『これからの道徳教育』村田 昇・大谷 光長編，東信堂

特 別 活 動 論 A ・ B	あら 荒井昭雄	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

非行、いじめ、不登校等々、様々の深刻な問題をかかえる現在の学校において、特別活動は極めて重要な役割を果たす、教育課程の一領域となっている。それは特別活動では生徒が受身的立場ではなく、自分で計画を立て、活動を組織し、実行するという、自主的・実践的態度の育成にねらいがあるからである。

本講義では、特別活動の各分野の指導の原理や方法を究明し、学校の活性化を図るために、特別活動の課題を明らかにしていきたい。

テキストの各項目を分担研究し、発表・討議を主体に、講義で補足する。

評 価 方 法：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：『特別活動－学校の活性化をめざす特別活動－』柴田 義松編著，ぎょうせい

特 別 活 動 論 C ・ D	いし 石岡久美	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

非行、いじめ、登校拒否等々様々の深刻な問題をかかえる現在の学校において、「特別活動」は極めて重要な役割を果たす教育課程上の一領域となっている。特別活動では生徒が受身的立場ではなく、自分で計画を立て、活動を組織し、実行するという自主的・実践的態度の育成にねらいがあるからである。

本講義では、特別活動の各分野（ホームルーム・生徒会・クラブ・学校行事等）の指導の原理や方法を究明し、学校の活性化を図るための特別活動の課題を明らかにしていきたい。

講義とグループ発表・討議等を併用する。

評 価 方 法：中間テスト・期末テスト・課題レポートの評点及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：『特別活動－学校の活性化をめざす特別活動』柴田 義松編著，ぎょうせい

生 徒 指 導 論 A ・ B	あら 荒井昭雄	2 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

学校教育は、インストラクションとガイダンスを車の両輪として運転されてこそ、その成果が期待できる。しかし現実には受験体制に押され、とかくガイダンスが軽視されたり、あるいは、管理主義的な生徒指導に陥っている傾向もみられる。

生徒指導とは本来、生徒の可能性を引き出し、自己指導力を育成することにある。そのような意味において、生徒指導・進路指導・教育相談に関する基本的問題について、理論と実践の両面から究明し、教員になるための資質を育成していきたい。

課題を分担して研究・発表させ、講義で補足していく。

評 価 方 法：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：『生徒指導－生き方と進路の探求－』仙崎 武 編著，ぎょうせい

生 徒 指 導 論 C ・ D	いし おか ひさ み 石 岡 久 美	2 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

学校教育は、インストラクションとガイダンスを車の両輪として運転されてこそ、その成果が期待できる。しかるに現実には受験体制に押され、とかくガイダンスが軽視されたり、あるいは管理主義的な生徒指導に陥っている傾向もみられる。

生徒指導は、本来生徒の可能性を引き出し、自己指導力を育成することにある。そのような意味において、生徒指導、進路指導、教育相談に関する基本的問題について理論と実践の両面から究明し、教員としての基礎的資質を育成したい。

講義とグループ発表・討議を併用する。

評 価 方 法：中間テスト・期末テスト・課題レポートの評点及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：『生徒指導－生き方と進路の探求－』仙崎 武 編著，ぎょうせい

教 育 実 習 I	あらいてるお たはらしゅんじ 荒井昭雄・田原俊司 いしおかひさ み 石岡久美	1 単 位
		3 年
		後 期

「教育実習Ⅰ」は、学校の現場実習に臨むための準備をし、心構えを育成する事前指導である。本学の教職課程担当者が指導に当たるほか、千葉県及び千葉市教育委員会、中学・高校の校長・教諭の先生方をお招きし、以下のような内容について、講義と演習を行う。

教育実習の意義・目的と心構え、中・高の教育課程の理解、英語科の学習指導、望まれる教師像、生徒指導の実際、カウンセリングの方法と実際等。

評 価 方 法：3 年次後期の土曜日午後、2 コマ特別の時間を設定して実施し、出席率及び実習日誌のまとめ方で評定を行う。

教 育 実 習 II		2 単 位
		4 年

「教育実習Ⅱ」は、教職課程の履修の総まとめとして、中学校・高等学校において行われる現場実習である。「教育実習Ⅱ」には、現場実習が開始される前に開催される教育実習Ⅱ直前講義・実習、千葉県及び千葉市教育委員会の先生方をお招きしての本年度の教員採用試験説明会、教育実習終了後（後期）に実施される教育実習Ⅱ事後指導が含まれる。

評 価 方 法：実習校の評定、及び実習日誌の点検による評価等を総合して、合議により評定を行う。

4. 自由科目

特 別 英 語 演 習 A	ウ ェ ン デ ィ ー ウ ィ イ タ カ WENDY WHITACRE	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

This is an integrated course combining reading, writing and Spoken English. The first semester will focus on reading and writing skills. The reading component will involve reading, selecting, and analyzing an American play or movie script. The writing component will involve play evaluation and character analysis.

The second semester will focus on listening and speaking skills, students will memorize, rehearse and perform a scene from an American play or movie. Other aspects of theater production, including set design, costume and make up design, and creation of publicity materials, will be introduced. Evaluation will be based on class participation and final performance.

評 価 方 法 : Class participation : 50%
Final performance : 50%

テ キ ス ト 名 : No textbook

特 別 英 語 演 習 B	ふ く だ け い こ 福 田 恵 子	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

The aim of this course is to help students to develop the four major skills for understanding English. The course in the first semester will be focused on the development of speaking and listening skills. Students will be expected to do some oral presentations and make an argument about them. The focus of the second semester will be placed on the development of reading and writing skills. Students will be requested to read some short stories and summarise them. Students will be also assigned to write essays on that subject. Reading materials (photocopies) will be provided by instructor in each class.

評 価 方 法 : Grades will be based on attendance, participation and essays.

テ キ ス ト 名 : To be selected

特 別 英 語 演 習 C	さい とう さ なえ 齊 藤 早 苗	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

This is a course for integrated English as a second language. The focus of the course will be placed on the development of listening comprehension skills to follow an English content oriented class in which all the instruction is conducted in English. Students will practice listening comprehension using tapes and videos which offer current topics from all over the world. They are encouraged to answer some questions to check their listening comprehension. They may also exchange opinions concerning the topic with their teacher and their classmates in order to understand the topic more fully.

The aim of the second course in the second semester is to strengthen student self-expression. The course will be divided into two parts. In the first part, students will be encouraged to do discussion on certain topics. In the second half, individuals or groups will choose their own projects, and make class presentation. The focus will be on topical research and oral presentations skills. We'll also use videos to stimulate discussion.

The focus is not simply on listening and speaking, but on developing a general ability of students to express themselves, not only orally, but also in reading and writing.

A more detailed syllabus clarifying the class schedule, class activities and evaluation procedures will be provided at the first meeting.

評価方法：1st Term

The grade for the course will be determined based on the following

1. Class attendance and participation: 20%
2. Class exercises, assignments in listening activities: 30%
3. Final exam: 50%

2nd Term

1. Class attendance and participation: 20%
2. Class performances in an oral presentation and discussion sessions: 30%
3. Final exam: 50%

テキスト名：To be selected

特 別 英 語 演 習 D	メリリーデ MEREDITH	ヘイゼリッグ HAZELRIGG	2 単 位
			3 ~ 4 年
			通 年

This intensive, year-long course is recommended for students who expect to continue their education by taking regular courses at the college level in English speaking countries. It is designed to overcome old English-usage habits resulting from traditional preparation for "Examination English" by replacing them with new habits. These are specific to get past the "interlanguage" caused by the interference of the Japanese language and translation-learning habits. It consequently requires a strong desire to actually think English and the discipline to do daily exercises requiring 20-30 minutes every day, including vacation periods. (How else can habits be changed?) By concentrating on producing natural English in both speaking and writing, students will strengthen their comprehension skills as well.

INSTRUCTIONS TO STUDENTS :

The ultimate content and pace of this course is determined by the class as a whole. Little or no time will be spent on anything mastered by 70% of the class and no new point will be pursued until 70% of the class show 70% or better mastery of previous points. Such mastery is demonstrated by preparedness, quizzes and exercises. All students are responsible for their own mastery, even if a class is missed, so it is essential to have questions ready for the initial review portion of the class (first 20-30 minutes) and the summary portion (final 20-30 minutes) and to find out anything that was missed due to whatever cause. (See grading, below.)

Advance notice of absence will allow for alternative participation and is essential for anyone doing practice teaching or going for job interviews. Unannounced absence will be judged as accidental and only participation points need be lost. Late arrival loses participation points according to degree of tardiness. There are no exams, but that scheduled period can be used for make-up opportunities.

GRADING : Grades are determined as follows:

- 50% class participation (attendance and preparedness, about 2 points for each session);
- 25% from pop-20-minute quizzes (best three of five from each term for a total of 6 out of 10; each counted quiz is a maximum of 4.17 points while there are no make-up opportunities for missed quizzes).
- 25% from exercises (10% quantity, 15% quality).

テキスト名 : *English Sound and Sense for International Communication* M. Hazelrigg, Allegan Education Foundation

『ビン・バン・ブン英語発音上達本+tapeアルク』アンクル・エベニーザー, (Required Supplementary text with cassette)

特 別 英 語 演 習 E	ジョセフ ウォーレン ポールシャック JOSEPH WARREN POULSHOCK	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

A subtitle for this course is: The Lyrics of Modern Music. The goal is to help students understand and enjoy the lyrics of popular songs. The text is listed here, but another text may be chosen. Actual texts in this class will be the songs that students interact with through various activities. The activities will be based on Maley's 12 principles for using short texts for language learning. These principles will give students a wide variety of interesting ways to interact with the song-texts. Moreover, the 12 principles may be helpful for future teachers to learn how use short texts in language classes to increase motivation. In short, students will improve listening, speaking, reading, and writing skills by understanding and responding to the lyrical and musical content of popular songs.

評価方法：Grading will be determined by the following criteria.

1. Participation : 15%
2. Attendance : 15%
3. Quizzes : 25%
4. Journal : 25%
5. Final-exam : 20%

テキスト名：The Complete Beatles Lyrics (Or a similar text, depending on availability) The Hal Leonard Pub Corp

フ ラ ン ス 語 Ⅲ	ふじ た と も こ 藤 田 知 子	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

本年度は「異文化としてのフランス」を取り上げます。言語と文化は密接に結びついて切り離すことができないのは言うまでもありません。このクラスでは、随時プリントを配付しながら、ビデオ、映画、雑誌、新聞等を資料に使い、以下のテーマを取り上げる予定です。

1. フランス人にとってフランス語とは
2. フランス語のリズム
3. フランスの街並み
4. ヴァカンスの歴史
5. フランス料理の歴史
6. ファッションの歴史
7. テニスの歴史
8. 現代フランス映画の旗手
9. EU（ヨーロッパ連合）の未来とフランスの未来

この授業は自由科目ですから、これまでのフランス語の授業を通してフランスの文化と言語に興味をもった人が受講してほしい。授業は演習形式で行うことになるでしょう。資料を読み、発表してもらうこともあります。

評価方法：未定

テキスト名：プリント配付

ド イ ツ 語 Ⅲ	し が な み 志 賀 浪	ゆう 優 子	2 単 位
			3 ～ 4 年
			前 期

今年度の「ドイツ語Ⅲ」は週2回、前期のみの開講です。授業の内容は受講生と相談して決定しますが、新聞を読んだり、テレビのニュース番組を見たりして、現在のドイツを紹介したいと考えています。なお、4年生に配慮して、いつからでも参加できるように、1回の授業をその回で終えるつもりです。

評 価 方 法：レポート及び口頭発表

テキスト名：必要に応じてプリントを配付する。

ス ペ イ ン 語 Ⅲ	アナ マリア デ ミゲール ANA MARIA DE MIGUEL	2 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

<前期>

EL objetivo del curso es continuar en la labor de capacitación del estudiante para comunicarse con hispano-hablantes. Para ello se trabajará la segunda parte del libro de texto. Se incluyen aspectos gramaticales, nociofuncionales y discursivos, junto con información sociocultural. EL material auditivo utilizado en clase recoge muestras reales de diálogos. Se trabajarán las cuatro destrezas, con realce de la interacción oral.

<後期>

<前期>1. Ambitos 5, 6.

<後期>2. Ambitos 7, 8.

評 価 方 法：La calificación dependerá de：

1. Asistencia, ejercicios, participación：40%
2. Examen oral：60%

テキスト名：Intercambio 1. MIQUEL, L. Y SANS, N., Difusión. Barcelona. España

日 本 語 学 概 論 A	いな 稲 がき 垣 しげ 滋 こ 子	4 単 位
		1 ～ 4 年
		集中講義

日本語を世界の中の言語としてとらえ、音声、音韻、文字、歴史、形態、統語、意味、語用、方言について概観する。日常何気なく使っている日本語を体系づけていく過程を通して、日本語の構造や使用状況を理解することを目的とする。

評 価 方 法：小テスト5回と試験1回を行う。

テキスト名：『日本語概説』加藤 彰彦・佐治 圭三・森田 良行，おうふう

日 本 語 学 概 論 B	いの 井 うえ 上 まさる 優	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

「日本語学」とは「日本語言語学」のことである。本概論では、日本語を対象にして、言語学の基本的な考え方、ならびに言語学の研究領域、（音声、文法、意味（地理的・社会的・歴史的）バリエーションなど）について解説をおこなう。受講者は、自分の専攻言語と日本語とを関連づけながら、自分の頭で「言語」について考えてもらいたい。

テキスト名：『はじめての人の言語学』上山 あゆみ，くろしお出版 2300円

日 本 語 表 現 法 I	いでのけんじ 出野憲司	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前期・隔週

日本語の文章表現力を高め、論文・レポートを書くための基本的な知識と技術を身につけることを目的とする。

事実と意見とを明確に区別し、順序よく、明快・簡潔に記述することを繰り返し練習する。

評価方法：授業時のレポート及び定期試験により評価する。

参考図書：授業時に指示する。

※ 原則として第2・4週に授業を行なう。

日 本 語 表 現 法 II	いでのけんじ 出野憲司	2 単 位
		1 ～ 4 年
		後期・隔週

自分が専攻する分野で、論文・レポートを書けるようになることを目的とする。

資料収集や、参考文献調査の方法を学び、論文・レポートの構成法を体得する。

評価方法：授業時のレポート及び定期試験により評価する。

参考図書：授業時に指示する。

※ 原則として第2・4週に授業を行なう。

平成 9 年度 学生便覧
(平成 6 年度以前入学者用)

平成 9 年 4 月 1 日発行

編集・発行 神田外語大学 教務課

〒261 千葉市美浜区若葉1-4-1
電話番号 043-273-1233



神田外語大学

千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1